

平成30年7月3日(火) 開催

平成30年度

司法修習生指導担当者協議会（第1回）出席者名簿

※ 外字を含む氏名の方につき、一般的な漢字の表記にさせていただきました。御了承ください。

司法研修所

庁 名	官職	担当	氏 名	フリガナ	備 考
東京地方裁判所	判 事	民事	本 間 健 裕	ホンマ ケンユウ	40期
〃	〃	民事	梅 本 圭一郎	ウメモト ケイイチロウ	42期
〃	〃	刑事	島 田 一	シマダ ハジメ	41期
〃	〃	刑事	佐々木 一 夫	ササキ カズオ	45期
東京地方裁判所立川支部	〃	民事	三 浦 隆 志	ミウラ タカシ	42期
〃	〃	刑事	宮 本 孝 文	ミヤモト タカフミ	40期
東京地方検 察 庁	検 事		大 山 邦 士	オオヤマ クニオ	48期
〃	〃		岡 村 佳 明	オカムラ ヨシアキ	53期
東京地方検察庁立川支部	〃		乙 部 竜 夫	オトベ タツオ	49期
東京 弁 護 士 会	弁 護 士		鈴 木 道 夫	スズキ ミチオ	43期
第一東京弁護士会	〃		本 山 正 人	モトヤマ マサト	47期
第二東京弁護士会	〃		柏 原 智 行	カシハラ トモユキ	53期
東京三弁護士会多摩支部(二弁)	〃		松 浦 信 平	マツウラ シンペイ	47期
横浜地方裁判所	判 事	民事	大 竹 優 子	オオタケ ユウコ	40期
〃	〃	刑事	景 山 太 郎	カゲヤマ タロウ	45期
横浜地方検 察 庁	検 事		本 村 行 広	モトムラ ユキヒロ	62期
神奈川県弁護士会	弁 護 士		佐 藤 正 知	サトウ マサトモ	54期
さいたま地方裁判所	判 事	民事	岡 部 純 子	オカベ ジュンコ	43期
〃	〃	刑事	河 村 俊 哉	カワムラ トシヤ	45期
さいたま地方検 察 庁	検 事		橋 本 千恵子	ハシモト チエコ	46期
埼玉 弁 護 士 会	弁 護 士		松 本 輝 夫	マツモト テルオ	37期
千葉地方裁判所	判 事	民事	小 濱 浩 庸	コハマ ヒロノブ	44期
〃	〃	刑事	金 子 武 志	カネコ タケシ	39期
千葉地方検 察 庁	検 事		大 極 俊 紀	ダイゴク トシキ	57期
千葉県弁護士会	弁 護 士		村 上 典 子	ムラカミ ノリコ	42期
水戸地方裁判所	判 事	民事	岡 田 伸 太	オカダ ノブヒロ	45期
〃	〃	刑事	寺 澤 真由美	テラサワ マユミ	47期
水戸地方検 察 庁	検 事		芦 沢 和 貴	アシザワ カズヨシ	60期
茨城県弁護士会	弁 護 士		亀 田 哲 也	カメダ テツヤ	50期
宇都宮地方裁判所	判 事	民事	河 本 晶 子	カワモト アキコ	44期
〃	〃	刑事	二 宮 信 吾	ニノミヤ シンゴ	44期
宇都宮地方検 察 庁	検 事		眞 田 寿 彦	サナダ トシヒコ	47期
栃木県弁護士会	弁 護 士		近 藤 峰 明	コンドウ ミネアキ	49期
前橋地方裁判所	判 事	民事	菅 家 忠 行	カンケ タダユキ	43期
〃	〃	刑事	國 井 恒 志	クニイ コウシ	46期
前橋地方検 察 庁	検 事		寺 尾 智 子	テラオ トモコ	54期
群馬 弁 護 士 会	弁 護 士		紺 正 行	コン マサユキ	49期
静岡地方裁判所	判 事	民事	関 口 剛 弘	セキグチ タケヒロ	42期
〃	〃	刑事	伊 東 顕	イトウ アキラ	43期
静岡地方検 察 庁	検 事		大 串 雅 里	オオグシ マサノリ	46期
静岡県弁護士会	弁 護 士		杉 田 直 樹	スギタ ナオキ	46期
甲府地方裁判所	判 事	民事	峯 俊 之	ミネ トシユキ	38期
〃	〃	刑事	丸 山 哲 巳	マルヤマ テツミ	49期
甲府地方検 察 庁	検 事		堀 内 伸 浩	ホリウチ ノブヒロ	47期
山梨県弁護士会	弁 護 士		小 澤 義 彦	オザワ ヨシヒコ	38期
長野地方裁判所	判 事	民事	田 中 芳 樹	タナカ ヨシキ	46期
〃	〃	刑事	室 橋 雅 仁	ムロハシ マサヒト	49期

庁 名	官職	担当	氏 名	フリガナ	備 考
長野地方検察庁	検 事		干 川 亜 紀	ホシカワ アキ	47期
長野県弁護士会	弁 護 士		田 下 佳 代	タシタ カヨ	42期
新潟地方裁判所	判 事	民事	今 井 弘 晃	イマイ ヒロアキ	46期
〃	〃	刑事	山 崎 威	ヤマザキ タケシ	49期
新潟地方検察庁	検 事		片 岡 純	カタオカ ジュン	64期
新潟県弁護士会	弁 護 士		伊 藤 秀 夫	イトウ ヒデオ	45期
名古屋地方裁判所	判 事	刑事	神 田 大 助	カンダ ダイスケ	47期
名古屋地方検察庁	検 事		川 瀬 雅 彦	カワセ マサヒコ	46期
愛知県弁護士会	弁 護 士		山 下 勇 樹	ヤマシタ イサキ	39期
岐阜地方裁判所	判 事	民事	池 町 知佐子	イケマチ チサコ	45期
〃	〃	刑事	鈴 木 芳 胤	スズキ ヨシタネ	43期
岐阜地方検察庁	検 事		小 島 健	コジマ ケン	52期
岐阜県弁護士会	弁 護 士		安 藤 友 人	アンドウ トモヒト	33期
金沢地方裁判所	判 事	民事	加 島 滋 人	カシマ シゲヒト	44期
〃	〃	刑事	田 中 聖 浩	タナカ キョヒロ	46期
金沢地方検察庁	検 事		森 博 英	モリ ヒロヒデ	50期
金沢弁護士会	弁 護 士		宮 西 香	ミヤニシ カオル	43期
富山地方裁判所	判 事	民事	和久田 道雄	ワクダ ミチオ	44期
〃	〃	刑事	大 村 泰 平	オオムラ タイヘイ	50期
富山地方検察庁	検 事		和 田 文 彦	ワダ フミヒコ	50期
富山県弁護士会	弁 護 士		串 田 光 成	クシタ ミツナリ	65期
仙台地方裁判所	判 事	民事	村 主 隆 行	スグリ タカユキ	48期
〃	〃	刑事	江 口 和 伸	エグチ カズノブ	50期
仙台地方検察庁	検 事		児 嶋 隆 司	コジマ タカシ	49期
仙台弁護士会	弁 護 士		金 成 有 祐	カナリ ユウスケ	新63期
福島地方裁判所	判 事	民事	遠 藤 東 路	エンドウ トウル	47期
〃	〃	刑事	柴 田 雅 司	シバタ マサシ	50期
福島地方検察庁	検 事		望 月 栄里子	モチツキ エリコ	50期
福島県弁護士会	弁 護 士		横 裕 康	マキ ヒロヤス	55期
山形地方裁判所	判 事	民事	貝 原 信 之	カイハラ ノブユキ	41期
〃	〃	刑事	児 島 光 夫	コジマ ミツオ	51期
山形地方検察庁	検 事		鵜野澤 亮	ウノサワ リョウ	49期
山形県弁護士会	弁 護 士		及 川 善 大	オイカワ ヨシヒロ	64期
盛岡地方裁判所	判 事	民事	中 村 恭	ナカムラ キョウ	45期
〃	〃	刑事	中 島 経 太	ナカジマ ケイタ	47期
盛岡地方検察庁	検 事		吉 武 斉 彦	ヨシタケ ナオヒコ	54期
岩手弁護士会	弁 護 士		榊 田 裕 之	マスダ ヒロユキ	49期
秋田地方裁判所	判 事	民事	網 島 公 彦	ツナシマ キミヒコ	45期
〃	〃	刑事	杉 山 正 明	スギヤマ マサアキ	48期
秋田地方検察庁	検 事		大 前 裕 之	オオマエ ヒロユキ	52期
秋田弁護士会	弁 護 士		伊 勢 昌 弘	イセ マサヒロ	42期
青森地方裁判所	判 事	民事	飯 畑 勝 之	イイハタ カツユキ	45期
〃	〃	刑事	古 玉 正 紀	コダマ マサノリ	52期
青森地方検察庁	検 事		吉 武 恵美子	ヨシタケ エミコ	54期
青森県弁護士会	弁 護 士		竹 本 真 紀	タケモト マサキ	51期
札幌地方裁判所	判 事	民事	武 部 知 子	タケベ トモコ	48期
〃	〃	刑事	島 戸 純	シマト ジュン	48期
札幌地方検察庁	検 事		小 出 幹	コイデ モトキ	47期

庁 名	官職	担当	氏 名	フリガナ	備 考
札幌弁護士会	弁護士		荒 木 健 介	アラキ ケンスケ	50期
函館地方裁判所	判 事	民事	布 施 雄 士	フセ ユウジ	51期
〃	〃	刑事	橋 本 健	ハシモト タケシ	50期
函館地方検察庁	検 事		小 島 健 太	コジマ ケンタ	53期
函館弁護士会	弁護士		高 橋 維 新	タカハシ イシン	66期
旭川地方裁判所	判 事	民事	湯 川 克 彦	ユカワ カツヒコ	48期
〃	〃	刑事	佐 藤 英 彦	サトウ ヒデヒコ	48期
旭川地方検察庁	検 事		神 谷 雄一郎	カミヤ ユウイチロウ	53期
旭川弁護士会	弁護士		飯 塚 正 浩	イイツカ マサヒロ	58期
釧路地方裁判所	判 事	民事	鈴 木 紀 子	スズキ ノリコ	51期
〃	〃	刑事	小 林 謙 介	コバヤシ ケンスケ	52期
釧路地方検察庁	検 事		中 川 知 三	ナカガワ トモミ	53期
釧路弁護士会	弁護士		簗 島 弘 幸	ミノシマ ヒロユキ	57期

参列者

日本弁護士連合会 (第一東京弁護士会)	日弁連司法修習 委員会 委員	岩 崎 晃	イワサキ アキラ	44期
------------------------	-------------------	-------	----------	-----

司法研修所

所 長		永 野 厚 郎	ナガノ アツオ	35期
教 官 ( 判 事 )	民事裁判担当	松 本 利 幸	マツモト トシユキ	42期
〃	〃	徳 増 誠 一	トクマス セイイチ	49期
〃	刑事裁判担当	細 田 啓 介	ホソダ ケイスケ	40期
〃	〃	佐 藤 弘 規	サトウ ヒロノリ	48期
教 官 ( 検 事 )	検察担当	石 山 宏 樹	イシヤマ ヒロキ	46期
〃	〃	渡 邊 ゆ り	ワタナベ ユリ	48期
教 官 ( 弁 護 士 )	民事弁護担当	大 瀧 敦 子	オオタキ アツコ	46期
〃	〃	兼 川 真 紀	カネカワ マキ	48期
〃	刑事弁護担当	高 橋 俊 彦	タカハシ トシヒコ	52期
〃	〃	原 琢 己	ハラ タクミ	52期
事 務 局 長		染 谷 武 宣	ソメヤ タケノブ	46期
事 務 局 次 長		大 澤 賢 次	オオサワ ケンジ	
事 務 局 所 付		住 田 知 也	スミタ トモヤ	新61期



平成30年7月6日（金） 開催

平成30年度

司法修習生指導担当者協議会（第2回）出席者名簿

※ 外字を含む氏名の方につき、一般的な漢字の表記にさせていただきました。御了承ください。

司法研修所

庁 名	官職	担当	氏 名	フリガナ	備 考
大 阪 地 方 裁 判 所	判 事	民事	倉 地 真寿美	クラチ マスミ	43期
〃	〃	刑事	長 瀬 敬 昭	ナガセ タカアキ	46期
大 阪 地 方 検 察 庁	検 事		川 越 弘 毅	カワゴシ ヒロシ	48期
大 阪 弁 護 士 会	弁 護 士		伴 城 宏	バンジョウ ヒロシ	50期
京 都 地 方 裁 判 所	判 事	民事	島 崎 邦 彦	シマザキ クニヒコ	48期
〃	〃	刑事	齋 藤 正 人	サイトウ マサト	40期
京 都 地 方 検 察 庁	検 事		山 上 真由美	ヤマガミ マユミ	48期
京 都 弁 護 士 会	弁 護 士		日下部 和 弘	クサカベ カズヒロ	44期
神 戸 地 方 裁 判 所	判 事	民事	山 口 浩 司	ヤマグチ コウジ	42期
〃	〃	刑事	川 上 宏	カワカミ ヒロシ	47期
神 戸 地 方 検 察 庁	検 事		鈴 木 建 俊	スズキ タクトシ	57期
兵 庫 県 弁 護 士 会	弁 護 士		新 井 大 介	アライ ダイスケ	58期
奈 良 地 方 裁 判 所	判 事	民事	島 岡 大 雄	シマオカ ヒロオ	45期
〃	〃	刑事	西 川 篤 志	ニシカワ アツシ	48期
奈 良 地 方 検 察 庁	検 事		太 田 玲 子	オオタ レイコ	46期
奈 良 弁 護 士 会	弁 護 士		石 黒 良 彦	イシグロ ヨシヒコ	54期
大 津 地 方 裁 判 所	判 事	民事	西 岡 繁 靖	ニシオカ シゲヤス	48期
〃	〃	刑事	伊 藤 寛 樹	イトウ ヒロキ	50期
大 津 地 方 検 察 庁	検 事		高 橋 和 人	タカハシ マサト	46期
滋 賀 弁 護 士 会	弁 護 士		中 井 陽 一	ナカイ ヨウイチ	57期
和 歌 山 地 方 裁 判 所	判 事	民事	中 山 誠 一	ナカヤマ セイイチ	46期
〃	〃	刑事	武 田 正	タケダ タダシ	49期
和 歌 山 地 方 検 察 庁	検 事		藤 川 浩 司	フジカワ ヒロシ	46期
和 歌 山 弁 護 士 会	弁 護 士		田 邊 和 喜	タナベ カズキ	52期
名 古 屋 地 方 裁 判 所	判 事	民事	桃 崎 剛	モモサキ ツヨシ	48期
津 地 方 裁 判 所	判 事	民事	鈴 木 幸 男	スズキ ユキオ	47期
〃	〃	刑事	田 中 伸 一	タナカ シンイチ	49期
津 地 方 検 察 庁	検 事		小 島 達 朗	コジマ タツアキ	50期
三 重 弁 護 士 会	弁 護 士		板 垣 謙太郎	イタガキ ケンタロウ	49期
福 井 地 方 裁 判 所	判 事	民事	武 宮 英 子	タケミヤ ヒデコ	48期
〃	〃	刑事	渡 邊 史 朗	ワタナベ シロウ	54期
福 井 地 方 検 察 庁	検 事		中 山 博 晴	ナカヤマ ヒロハル	51期
福 井 弁 護 士 会	弁 護 士		神 田 芳 和	カンダ ヨシカズ	59期
広 島 地 方 裁 判 所	判 事	民事	高 島 義 行	タカシマ ヨシユキ	49期
〃	〃	刑事	安 藤 範 樹	アンドウ ノリキ	44期
広 島 地 方 検 察 庁	検 事		横 山 繁 夫	ヨコヤマ シゲオ	47期
広 島 弁 護 士 会	弁 護 士		大 松 洋 二	オオマツ ヨウジ	45期
山 口 地 方 裁 判 所	判 事	民事	福 井 美 枝	フクイ ミエ	44期
〃	〃	刑事	井 野 憲 司	イノ ケンジ	52期
山 口 地 方 検 察 庁	検 事		雲 野 晴 久	ウンノ ハルヒサ	51期
山 口 県 弁 護 士 会	弁 護 士		猪 俣 俊 雄	イノマタ トシオ	35期
岡 山 地 方 裁 判 所	判 事	民事	横 溝 邦 彦	ヨコミノ クニヒコ	40期
〃	〃	刑事	後 藤 有 己	ゴトウ ユウキ	53期
岡 山 地 方 検 察 庁	検 事		柴 田 真	シバタ シン	47期
岡 山 弁 護 士 会	弁 護 士		的 場 真 介	マトバ シンスケ	36期
鳥 取 地 方 裁 判 所	判 事	民事	藤 澤 裕 介	フジサワ ユウスケ	51期
〃	〃	刑事	荒 木 未 佳	アラキ ミカ	51期
鳥 取 地 方 検 察 庁	検 事		向 洋 伸	ムカイ ヒロノブ	53期
鳥 取 県 弁 護 士 会	弁 護 士		森 祥 平	モリ ショウヘイ	57期

庁 名	官職	担当	氏 名	フリガナ	備 考
松 江 地 方 裁 判 所	判 事	民事	堀 部 亮 一	ホリベ リョウイチ	49期
〃	〃	刑事	本 村 暁 宏	モトムラ アキヒロ	53期
松 江 地 方 検 察 庁	検 事		関 口 真 美	セキグチ マミ	52期
島 根 県 弁 護 士 会	弁 護 士		熱 田 雅 夫	アツタ マサオ	46期
福 岡 地 方 裁 判 所	判 事	民事	倉 澤 守 春	クラサワ モリハル	45期
〃	〃	刑事	平 塚 浩 司	ヒラツカ コウジ	44期
福 岡 地 方 検 察 庁	検 事		長 田 守 弘	オサダ モリヒロ	47期
福 岡 県 弁 護 士 会	弁 護 士		井 上 正 義	イノウエ マサヨシ	50期
佐 賀 地 方 裁 判 所	判 事	民事	達 野 ゆ き	タツノ ユキ	50期
〃	判 事	刑事	吉 井 広 幸	ヨシイ ヒロユキ	43期
佐 賀 地 方 検 察 庁	検 事		奥 野 博	オクノ ヒロシ	54期
佐 賀 県 弁 護 士 会	弁 護 士		福 田 恵 巳	フクダ エミ	53期
長 崎 地 方 裁 判 所	判 事	民事	武 田 瑞 佳	タケダ ミカ	49期
〃	〃	刑事	小松本 卓	コマツモト タク	48期
長 崎 地 方 検 察 庁	検 事		岡 田 馨之朗	オカダ ケイシロウ	50期
長 崎 県 弁 護 士 会	弁 護 士		梶 村 龍 太	カジムラ リュウタ	51期
大 分 地 方 裁 判 所	判 事	民事	佐 藤 重 憲	サトウ シゲノリ	46期
〃	〃	刑事	有 賀 貞 博	アリガ サダヒロ	50期
大 分 地 方 検 察 庁	検 事		中 田 光 治	ナカタ コウジ	51期
大 分 県 弁 護 士 会	弁 護 士		玉 木 正 明	タマキ マサアキ	60期
熊 本 地 方 裁 判 所	判 事	民事	小野寺 優 子	オノデラ ユウコ	47期
〃	〃	刑事	溝 國 禎 久	ミゾクニ ヨシヒサ	44期
熊 本 地 方 検 察 庁	検 事		江 口 昌 英	エグチ マサヒデ	50期
熊 本 県 弁 護 士 会	弁 護 士		辻 上 友 男	ツジガミ トモオ	64期
鹿 児 島 地 方 裁 判 所	判 事	民事	日 景 聡	ヒカゲ サトシ	49期
〃	〃	刑事	岩 田 光 生	イワタ ミツオ	47期
鹿 児 島 地 方 検 察 庁	検 事		遠 藤 裕 介	エンドウ ユウスケ	51期
鹿 児 島 県 弁 護 士 会	弁 護 士		山 口 大 観	ヤマグチ ヒロミ	新62期
宮 崎 地 方 裁 判 所	判 事	民事	小田島 靖 人	オダジマ ヤスト	46期
〃	〃	刑事	岡 崎 忠 之	オカザキ タダユキ	53期
宮 崎 地 方 検 察 庁	検 事		久 家 健 志	クガ タケシ	50期
宮 崎 県 弁 護 士 会	弁 護 士		西 田 隆 二	ニシダ リュウジ	43期
那 覇 地 方 裁 判 所	判 事	民事	釧 持 淳 子	ケンモツ ジュンコ	50期
〃	〃	刑事	柴 田 寿 宏	シバタ トシヒロ	46期
那 覇 地 方 検 察 庁	検 事		白 井 智 之	シライ トモユキ	48期
沖 縄 弁 護 士 会	弁 護 士		高 良 誠	タカラ マコト	59期
高 松 地 方 裁 判 所	判 事	民事	森 實 将 人	モリザネ マサト	42期
〃	〃	刑事	三 上 孝 浩	ミカミ タカヒロ	48期
高 松 地 方 検 察 庁	検 事		今 村 智 仁	イマムラ トモヒト	48期
香 川 県 弁 護 士 会	弁 護 士		白 井 一 郎	シライ イチロウ	45期
徳 島 地 方 裁 判 所	判 事	民事	川 畑 公 美	カワバタ クミ	43期
〃	〃	刑事	坂 本 好 司	サカモト コウジ	50期
徳 島 地 方 検 察 庁	検 事		町 田 聡	マチダ サトシ	53期
徳 島 弁 護 士 会	弁 護 士		山 本 啓 司	ヤマモト ケイジ	51期
高 知 地 方 裁 判 所	判 事	民事	西 村 修	ニシムラ オサム	51期
〃	〃	刑事	山 田 裕 文	ヤマダ ヒロフミ	51期
高 知 地 方 検 察 庁	検 事		石 井 寛 也	イシイ ヒロヤ	53期
高 知 弁 護 士 会	弁 護 士		西 森 やよい	ニシモリ ヤヨイ	53期

庁 名	官職	担当	氏 名	フリガナ	備 考
松 山 地 方 裁 判 所	判 事	民事	久保井 恵 子	クボイ ケイコ	46期
〃	〃	刑事	末 弘 陽 一	スエヒロ ヨウイチ	49期
松 山 地 方 検 察 庁	検 事		蜂須賀 三紀雄	ハチスカ ミキオ	51期
愛 媛 弁 護 士 会	弁 護 士		高 橋 直 人	タカハシ ナオト	50期

参列者

日 本 弁 護 士 連 合 会 (第一東京弁護士会)	日 弁 連 司 法 修 習 員 委 員 会 委 員	岩 崎 晃	イワサキ アキラ	44期
-------------------------------	------------------------------	-------	----------	-----

司法研修所

所 長		永 野 厚 郎	ナガノ アツオ	35期
教 官 ( 判 事 )	民事裁判担当	松 本 利 幸	マツモト トシユキ	42期
〃	〃	徳 増 誠 一	トクマス セイイチ	49期
〃	刑事裁判担当	細 田 啓 介	ホソダ ケイスケ	40期
〃	〃	佐 藤 弘 規	サトウ ヒロノリ	48期
教 官 ( 検 事 )	検察担当	石 山 宏 樹	イシヤマ ヒロキ	46期
〃	〃	渡 邊 ゆ り	ワタナベ ユリ	48期
教 官 ( 弁 護 士 )	民事弁護担当	大 瀧 敦 子	オオタキ アツコ	46期
〃	〃	兼 川 真 紀	カネカワ マキ	48期
〃	刑事弁護担当	高 橋 俊 彦	タカハシ トシヒコ	52期
〃	〃	原 琢 己	ハラ タクミ	52期
事 務 局 長		染 谷 武 宣	ソメヤ タケノブ	46期
事 務 局 次 長		大 澤 賢 次	オオサワ ケンジ	
事 務 局 所 付		住 田 知 也	スミタ トモヤ	新61期

## 協 議 事 項

### 1 導入修習と分野別実務修習の連携等について

(出題理由及び協議事項)

導入修習については、第68期以降4期分が実施され、修習開始段階で司法修習生に不足している実務的知識・能力に気付かせ、かつ、より効果的・効率的な分野別実務修習が円滑に行えるようにするという二つの目的に照らして、一定の成果が上がっているものと考えられるところである。もっとも、司法修習生に対するアンケート結果や昨年度までの協議によれば、導入修習において自己の知識等の不足に気付きながらも、その気付きが実務修習期間中の指導や自学自修に十分生かされていないのではないかという指摘があり、この問題への対処として、第71期司法修習生からは、導入修習時に「導入修習チェックシート」を作成させ、これを実務修習地の配属庁会に配布したところである。そこで、まず、導入修習チェックシートの分野別実務修習における指導に当たっての活用の実情について伺い、効果的と考えられた活用例や、活用に当たっての隘路等について協議したい。

また、今期の活用状況等を踏まえ、導入修習チェックシートの記載項目等について、要望があれば伺いたい。

### 2 分野別実務修習の実情及び充実方策について

(出題理由及び協議事項)

これまでの協議等によれば、実務修習ガイドラインの周知、同ガイドラインに沿った指導の実現が順次進んでいるものと考えられ、各分野とも、同ガイドラインで求められている数値目標自体については、概ね達成できていたり、達成に向

けた改善が見られるところであるが、今後は、これを前提としつつ、更なる質の向上に向け、指導上の工夫を図っていく必要がある。そこで、昨年度に引き続き、分野別実務修習の質を更に向上させるための方策等について協議したい。

### 3 選択型実務修習の実情及び充実方策について

(出題理由及び協議事項)

- (1) 選択型実務修習の一層の充実を図るため、各庁会において、個別修習プログラムの提供方法（実施日数・方法等）を工夫したり、実施時期を調整するなどの取組がされているところであるが、プログラムによっては応募者数が少ないなどの指摘も見られる。そこで、昨年度に引き続き、選択型実務修習の実情、問題点の解決や修習内容の充実を図るための工夫等を伺いたい。
- (2) ホームグラウンド修習の実施の在り方について

以 上

## 資 料 目 録

### (事務局長説明関係)

- 1 第70期集合修習A班カリキュラムの概要
- 2 第70期集合修習B班カリキュラムの概要
- 3 第71期修習日程
- 4 第71期導入修習カリキュラムの概要
- 5 第71期A班集合修習日程予定表
- 6 第71期B班集合修習日程予定表
- 7 導入修習に関するアンケート集計結果(第71期)
- 8 導入修習チェックシート(第71期)
- 9 修習結果簿(71期第1クール:民事裁判修習)集計結果
- 10 修習結果簿(71期第1クール:刑事裁判修習)集計結果
- 11 修習結果簿(71期第1クール:検察修習)集計結果
- 12 修習結果簿(71期第1クール:弁護修習)集計結果
- 13 選択型実務修習 全国プログラム集計(第71期)
- 14 司法修習生が取り扱う弁護修習関連の情報のセキュリティ対策について(依頼)
- 15 司法修習生の情報セキュリティ対策について(事務連絡)

(平成30・2・20)

## 第70期集合修習A班カリキュラムの概要

司法研修所



## は し が き

平成28年度（第70期）司法修習生のうち、A班（実務修習地が東京、立川、横浜、さいたま、千葉、大阪、京都、神戸、奈良、大津、和歌山である者）を対象とする集合修習のカリキュラムは、13クラス編成で平成29年8月14日に開始され、同年9月25日に終了した（その後、各実務修習地等において選択型実務修習が実施された。）。

第70期A班の集合修習のカリキュラムの概要は、この資料及び別添「平成28年度（第70期）司法修習生A班集合修習日程予定表」のとおりである。

集合修習のカリキュラム策定に当たっては、法科大学院において修得した学識及び実務の基礎的素養等並びに分野別実務修習の成果を踏まえて「幅広い法曹の活動に共通して必要とされる法的問題の解決のための基本的かつ汎用的な技法と思考方法」（司法修習生指導要綱（甲）第1章第1）を修得させる観点から、実務修習を補完し、司法修習生全員に、実務の標準的な知識、技法の教育を受ける機会を与えるとともに、体系的で汎用性のある実務知識や技法を修得させることを旨としている（要綱（甲）第3章第1）。

このような趣旨を踏まえ、第70期A班においても、修習記録を用いて司法修習生に文書を起案させ、討論、講評を行うことを指導の中心としつつ（同第4の1）、従来の司法修習で要求していたような法律書面の全体を形式面も含めて起案させることにはこだわらず、より実質的に、書面の内容の根底をなす思考過程を明らかにさせることを重視する方法で出題がされているほか、ロールプレイングも含めた民事・刑事の様々な講義、演習、問題研究や法曹倫理、国際人権等に関する演習、講演なども実施された。

司法修習生指導担当者各位におかれては、本資料を今後の実務修習における指導の参考としていただきたい。

## 第 1 民事関係科目

### I 民事裁判

#### 1 講義

集合修習の冒頭に、集合修習に向けてのガイダンスをし、集合修習における民事裁判科目及び民事共通科目の修習内容を説明してその意義を理解させ、今後の学修方法に関する指導を行うことで集合修習への動機付けを行った。

#### 2 起案

##### (1) 総説

##### (2) 起案 1

##### ア 事案の概要

--	--	--

イ 起案事項等

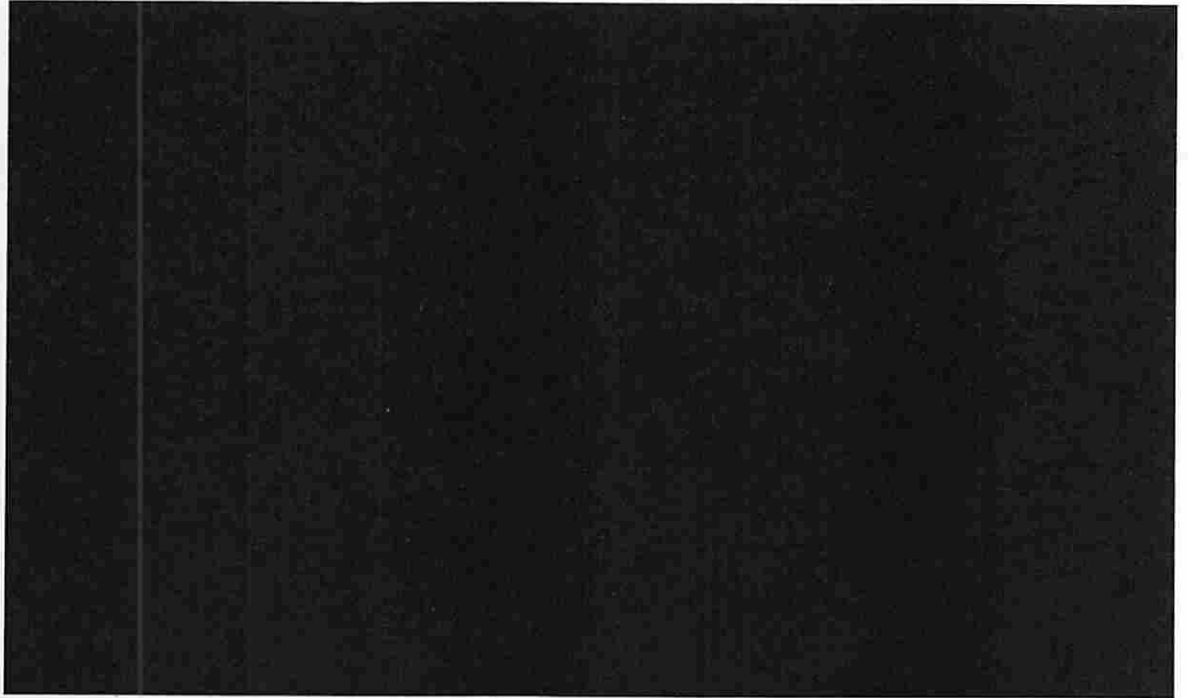
--	--	--

(3) 起案 2

ア 事案の概要

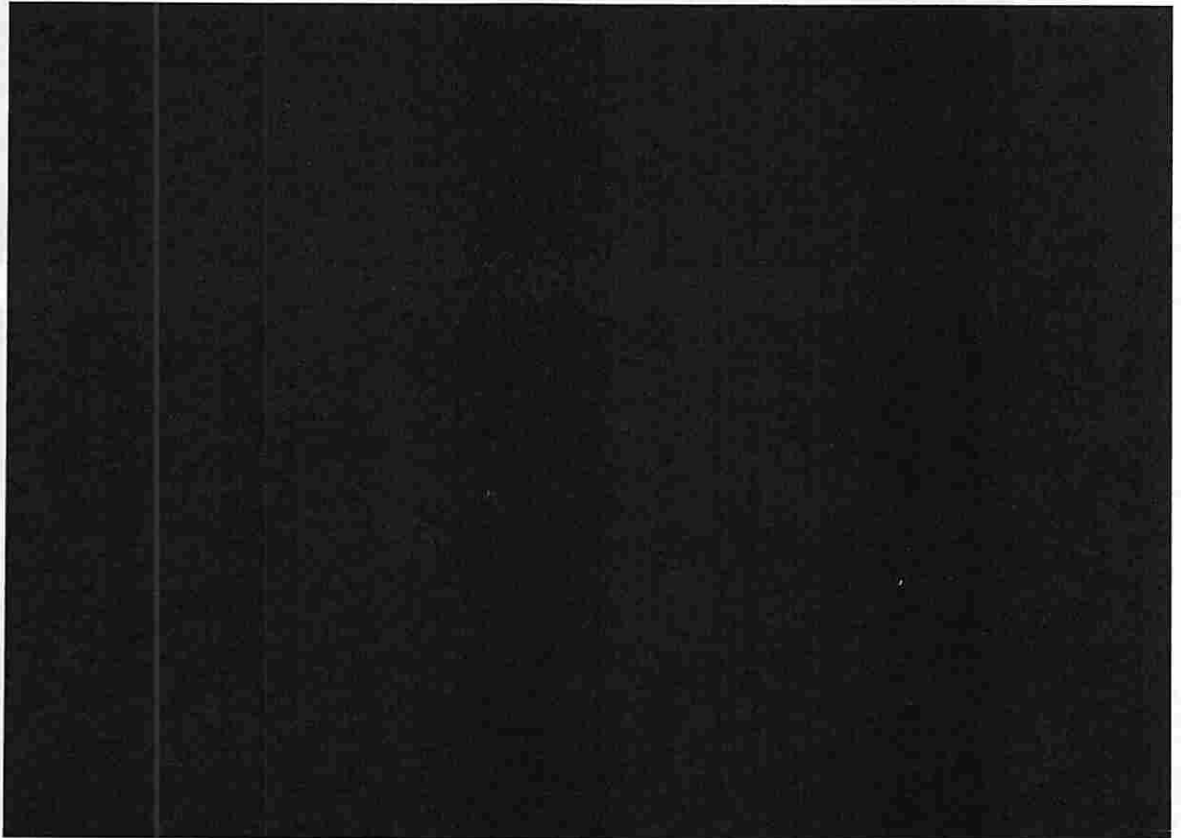
--	--	--

イ 起案事項等



3 演習（争点整理）

(1) 総説



(2) 事案の概要

--	--	--

(3) 演習内容等

--	--	--

--	--

このように，本カリキュラムは，実務家としての基礎的かつ実践的な思考力，状況に応じた紛争解決能力の培養を目的とするものであり，法曹としての実際の活動との架橋を意識したものである。

## Ⅱ 民事弁護

### 1 問題研究-1，2

#### (1) 実施内容

--	--	--	--

#### (2) 事案の概要

--	--	--	--

#### (3) 研究事項等

--	--	--	--

### 2 起案

#### (1) 起案1

ア 事案の概要

--	--	--

イ 起案事項等

--	--	--

(2) 起案 2

ア 事案の概要

--	--	--

--	--	--

イ 起案事項等

--	--	--

3 講義（和解条項）

(1) 実施の概要

--	--	--

(2) 講義の目的

--	--	--

4 演習（法律相談）

(1) 実施の概要



(2) 演習の目的

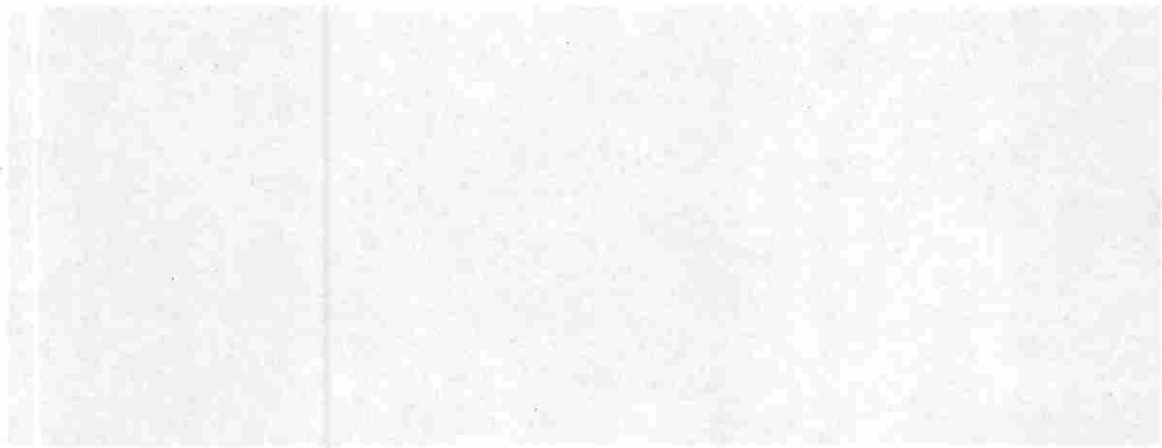
法律相談は、受任に先立つ行為として、受任の可否、事案解決の見込み、処理方針などを判断し、かつ、依頼者に対して、事案処理方針の説明、報酬等の説明をした上で、弁護士委任契約の締結などを行う重要なステージである。また、依頼者から適切に事案の本質を聴き出し、かつ、依頼者との信頼関係を醸成する重要な場でもある。

(3) 事案の概要

ア ケース 1

イ ケース 2

(4) 実施内容



### Ⅲ 民事共通

#### 1 民事共通演習 1 から 4 まで

##### (1) 総説

###### ア 趣旨

--	--	--

###### イ 事案の概要

--	--	--

##### (2) 民事共通演習 1（口頭弁論）

###### ア 課題及び実演等

--	--	--

###### イ 講評

--	--	--

(3) 民事共通演習 2 (弁論準備手続期日)

ア 課題及び実演等



イ 講評等



(4) 民事共通演習 3 (交互尋問)

ア 趣旨



イ 事前準備等



ウ 交互尋問等



エ 講評等



(ア) 外部講師 (裁判所職員総合研修所教官) による講評



(イ) 教官による講評



(ウ) 事実認定討論



--	--	--

(5) 民事共通演習 4 (判決)

ア 判決

--	--	--

イ 講評

--	--	--

2 民事共通問題研究 (和解)

--	--	--

--	--	--

--	--	--

--	--	--

--	--	--

--	--	--

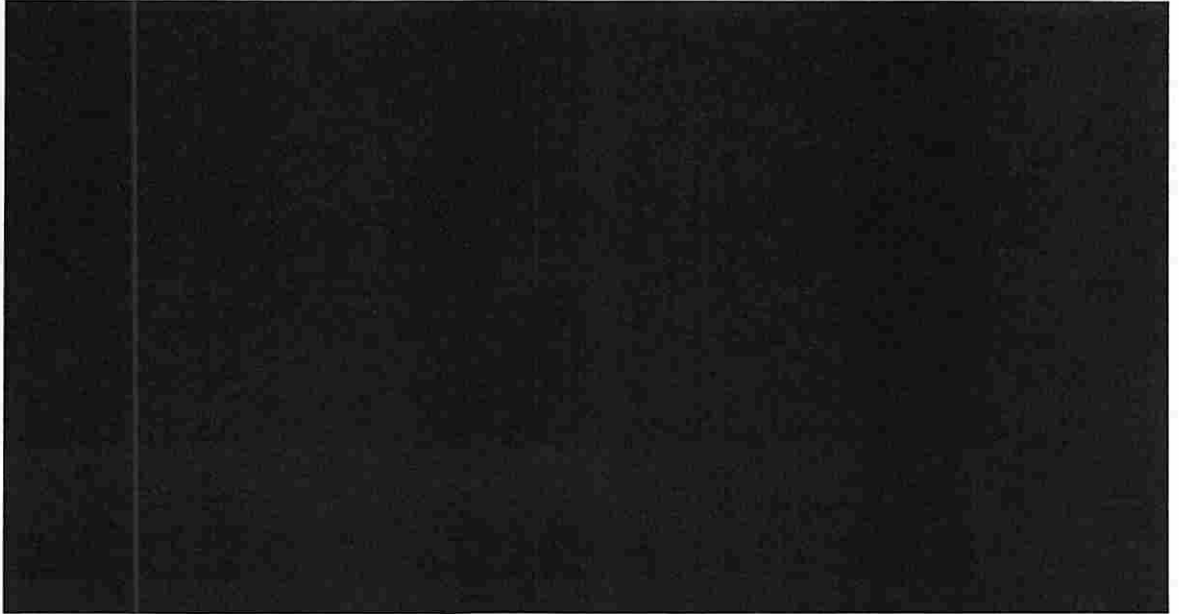
--	--	--

## 第2 刑事関係科目

### I 刑事裁判

#### 1 起案

##### (1) 総説



なお、いずれの設問についても、書式、形式等を要求するものではないし、単なる知識を問うものでもなく、新司法修習における指導理念に対応した、法曹としての活動に共通して必要となる汎用性のある基礎的な能力を修得させることに重点を置いて出題している。

##### (2) 起案1

###### ア 事案の概要



###### イ 起案事項



--	--

ウ 講評

--	--

(3) 起案 2

ア 事案の概要

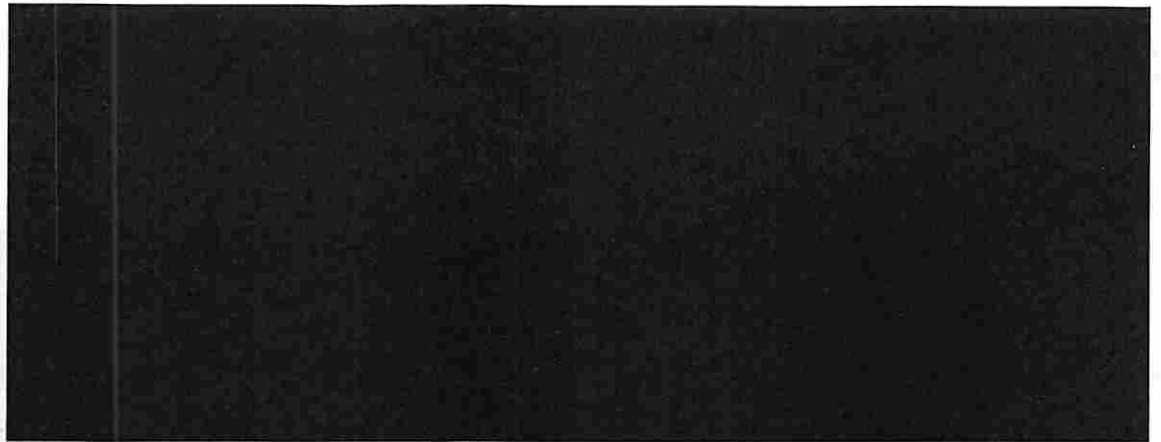
--	--

イ 起案事項

--	--

ウ 講評

--	--



## 2 問題研究

### (1) 指導目標



### (2) 実施内容





## Ⅱ 検 察

### 1 起案

#### (1) 検察起案の概要

--	--	--

司法修習における指導理念に対応し、法曹としての汎用性のある基礎的な能力を修得させることに重点を置いた出題であり、刑事手続に関する問題についても、単に法的知識を問うだけではなく、修習記録中に現れた具体的な事実関係を正確に把握しなければ正解に達し得ない問題を出題するように配慮した。

#### (2) 起案 1

##### ア 事案の概要

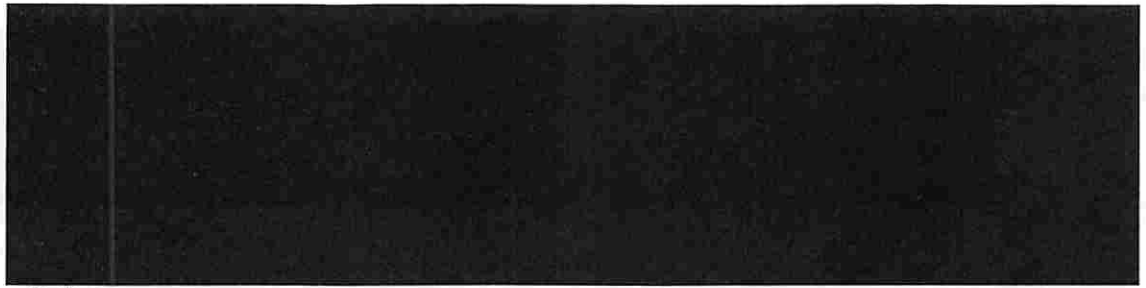
--	--	--

##### イ 起案事項等

--	--	--

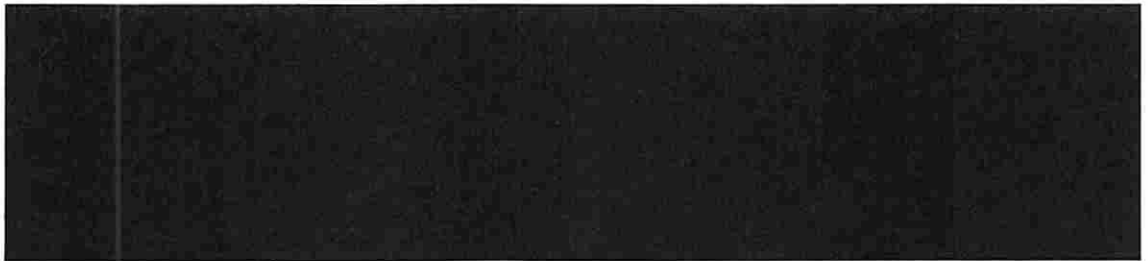
##### ウ 講評

--	--	--



(3) 起案 2

ア 事案の概要



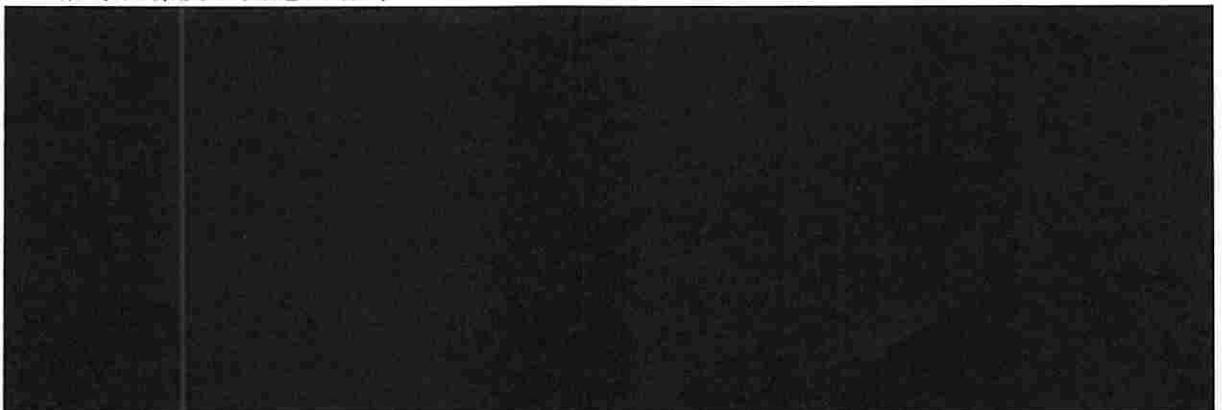
イ 起案事項等



ウ 講評



2 問題研究（被害者保護）  
指導目標及び実施内容等



[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

### Ⅲ 刑事弁護

#### 1 起案

##### (1) 総説

刑事弁護教官室は、修習生に対して、具体的な刑事事件に基づきケース・セオリー（弁護人の求める結論が正しいことを導く論拠）を確立する弁護活動の基本を指導し、弁護人が行うべき最善の努力を尽くした活動とは何かを考えさせることにより、弁護人としての基本的な能力・技術、さらには、法曹の活動に共通して必要とされる基本的かつ汎用的な能力を修得させるとともに、法曹資格取得後の自己研鑽への意識付けをさせることを指導方針としている。

##### (2) 起案 1

###### ア 事案の概要

###### イ 起案事項

--	--

ウ 講評

--	--

(3) 起案 2

ア 事案の概要

--	--

イ 起案事項

--	--

ウ 講評

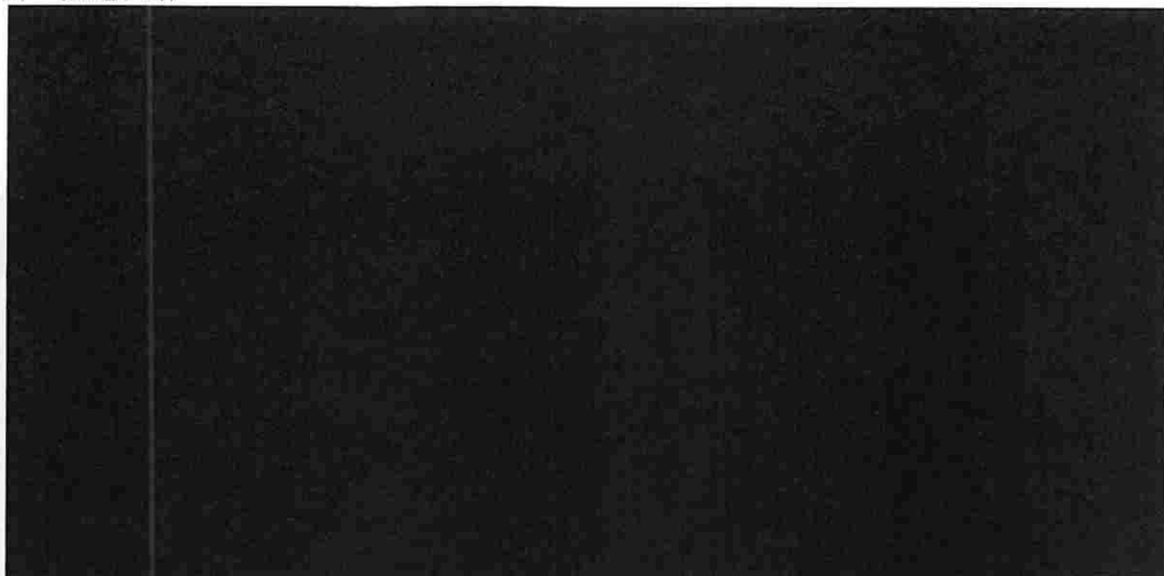
--	--

2 問題研究（取調べ対応，示談交渉）

(1) 指導目標

--	--

(2) 実施内容



#### IV 刑事共通

##### 1 刑事共通演習

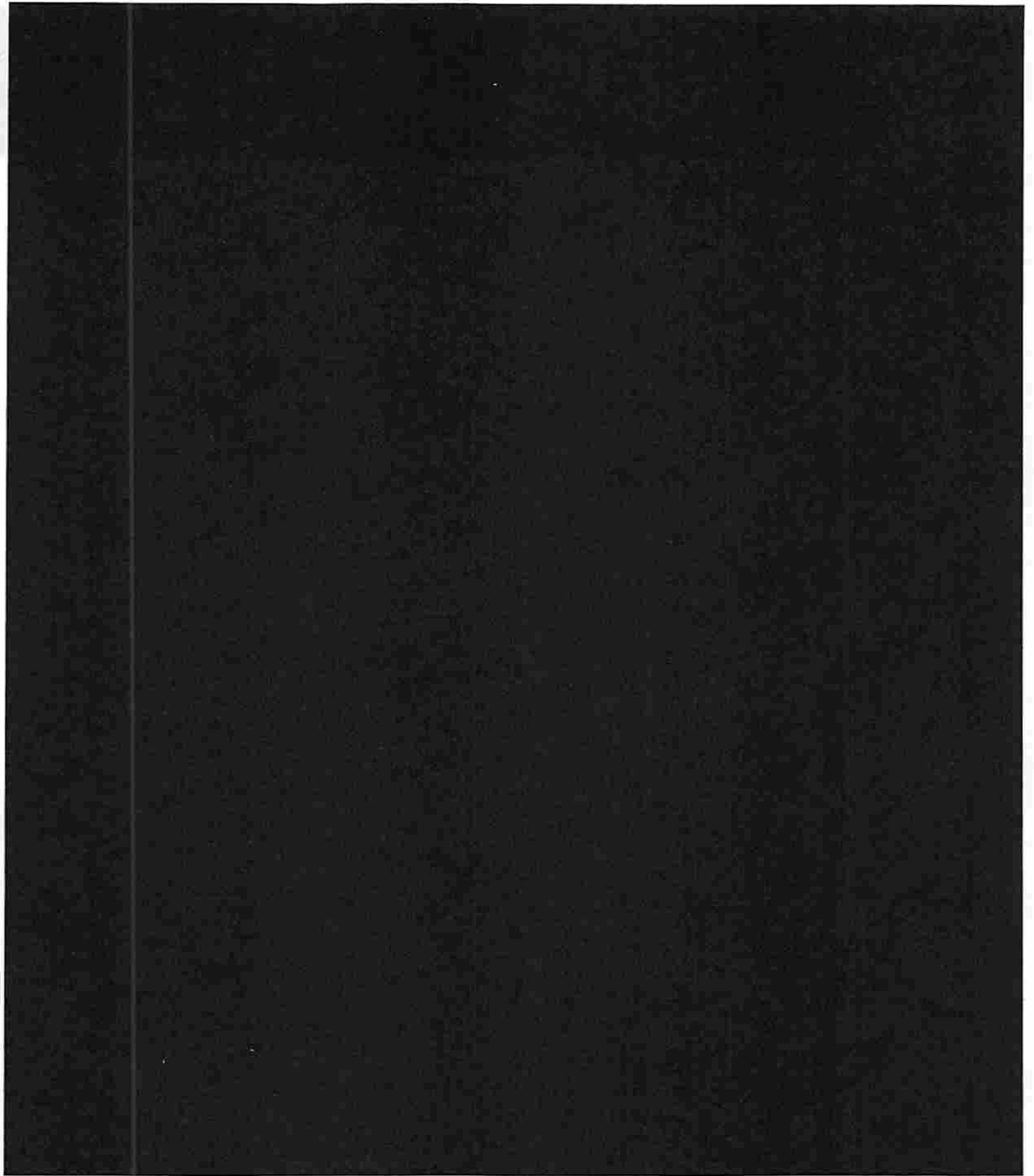
###### (1) 指導目標

--	--

これらの演習を通じ、的確な争点整理を行う上での必要な視点を提供し、これにより、法曹としての活動に共通して必要とされる汎用性のある基礎的な能力を修得させるよう努めた。

###### (2) 実施内容

--	--



## 2 刑事共通問題研究

### (1) 指導目標



### (2) 実施内容







### 第3 その他の共通科目等

#### I 全科目共通

特別講義「国際人権法の形成と実施」

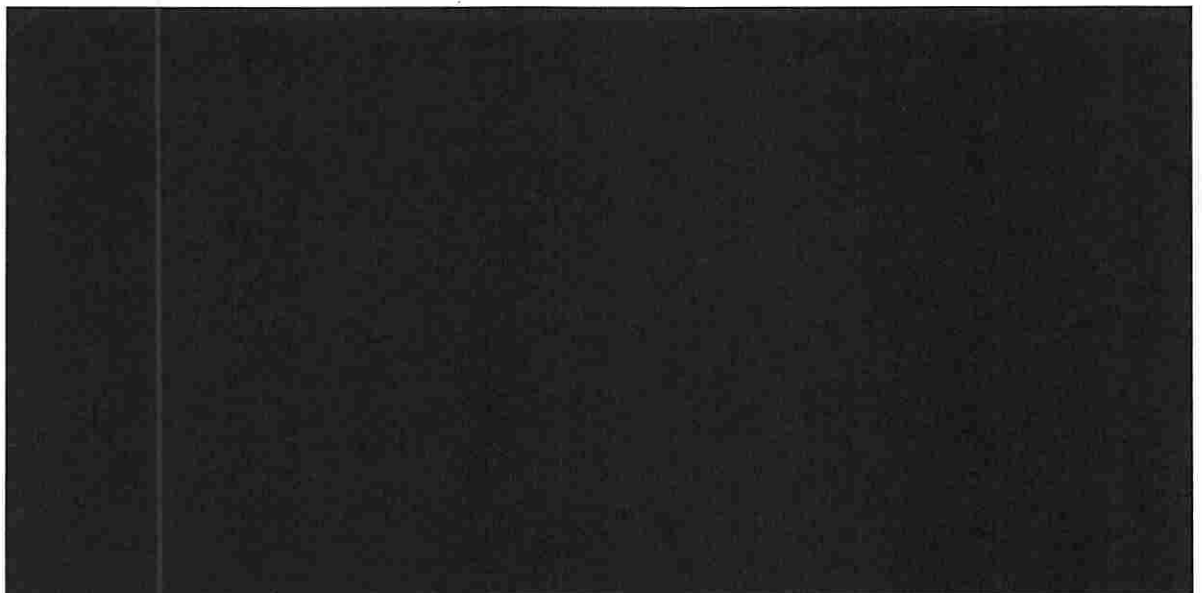
講 師 弁護士（第一東京弁護士会） 上 柳 敏 郎 氏

国際人権については、その重要性に鑑み、各期において全科目共通特別講義という形式で国際人権全般にわたって講演を行ってきた。

第70期においても、同様の趣旨に基づき、講師が、国際人権の重要性や、国際人権法の国内的・国際的实施、国際NGOの活動等について、ロールプレイ及び講演を行った。

#### II 弁護共通

演習「弁護士倫理」



平成28年度（第70期）司法修習生

## A班 集合修習日程予定表

（注） 本表は予定であって、確定日程ではない。  
確定日程は、毎週最終登庁日に配布する。

平成28年度(第70期)司法修習生

## A班 集合修習日程予定表

(注) 本表は予定であって、確定日程ではない。  
確定日程は、毎週最終登庁日に配布する。

月 日	曜	1限目 (9:50~11:40)	2限目 (12:40~14:30)	3限目 (14:45~16:35)	月 日	曜	1限目 (9:50~11:40)	2限目 (12:40~14:30)	3限目 (14:45~16:35)	
28	月	民裁起案1講評			25	月	民共演習4 (判決・講評)	民弁起案2講評		
29	火	刑弁起案1講評		刑共演習(証拠開示等)	 選択型実務修習 					
30	水	刑共演習(争点整理等)								
31	木	刑共演習(尋問)								
9 / 1	金	民裁起案2(即日)								
4	月	刑弁起案2(即日)								
5	火	刑裁起案1講評		検察起案1講評						
6	水	検察起案1講評	民共演習2(弁論準備手続期日)							
7	木	刑裁起案2(即日)								
8	金	検察起案2(即日)			11 / 17	金	考試			
11	月	弁共演習(弁護士倫理)	民弁起案1講評		20	月	考試			
12	火	刑共問題研究 (情状・量刑)	検察問題研究 (被害者保護)	民共問題研究(和解)	21	火	考試			
13	水	民弁起案2(即日)			22	水	考試			
14	木	民共演習3準備	民裁演習(争点整理)		23	木	勤労感謝の日			
15	金	民裁演習(争点整理)		刑弁問題研究	24	金	考試			
18	月	敬老の日			<div>凡例</div> <div>民裁・・・民事裁判 刑裁・・・刑事裁判 民弁・・・民事弁護 刑弁・・・刑事弁護 (即日)・・・即日起家</div> <div>民共・・・民事共通 刑共・・・刑事共通 全共・・・全科共通 弁共・・・弁護共通 (29.3.13 司研企二印)</div>					
19	火	民裁起案2講評								
20	水	民共演習3(交互尋問)								
21	木	刑弁起案2講評		刑裁起案2講評						
22	金	刑裁起案2講評	検察起案2講評							

選択型実務修習

### 凡例

民裁・・・民事裁判	民共・・・民事共通
刑裁・・・刑事裁判	刑共・・・刑事共通
民弁・・・民事弁護	全共・・・全科共通
刑弁・・・刑事弁護	弁共・・・弁護共通
	(即日)・・・即日授業

(29.3.13 司研企二印)

(平成30・2・20)

## 第70期集合修習B班カリキュラムの概要

司 法 研 修 所

## は し が き

平成28年度（第70期）司法修習生のうち、B班（実務修習地が東京、立川、横浜、さいたま、千葉、大阪、京都、神戸、奈良、大津、和歌山以外である者）を対象とする集合修習のカリキュラムは、12クラス編成で平成29年10月3日に開始され、同年11月15日に終了した。

第70期B班の集合修習のカリキュラムの概要は、この資料及び別添「平成28年度（第70期）司法修習生B班集合修習日程予定表」のとおりである。

集合修習のカリキュラム策定に当たっては、法科大学院において修得した学識及び実務の基礎的素養等並びに実務修習の成果を踏まえて「幅広い法曹の活動に共通して必要とされる法的問題の解決のための基本的かつ汎用的な技法と思考方法」（司法修習生指導要綱（甲）第1章第1）を修得させる観点から、実務修習を補完し、司法修習生全員に、実務の標準的な知識、技法の教育を受ける機会を与えるとともに、体系的で汎用性のある実務知識や技法を修得させることを旨としている（要綱（甲）第3章第1）。

このような趣旨を踏まえ、第70期B班においても、修習記録を用いて司法修習生に文書を起案させ、討論、講評を行うことを指導の中心としつつ（同第4の1）、従来の司法修習で要求していたような法律書面の全体を形式面も含めて起案させることにはこだわらず、より実質的に、書面の内容の根底をなす思考過程を明らかにさせることを重視する方法で出題がされているほか、ロールプレイングも含めた民事・刑事の様々な講義、演習、問題研究や法曹倫理、国際人権等に関する演習、講演なども実施された。

司法修習生指導担当者各位におかれては、本資料を今後の実務修習における指導の参考としていただきたい。

## 第1 民事関係科目

### I 民事裁判

#### 1 講義

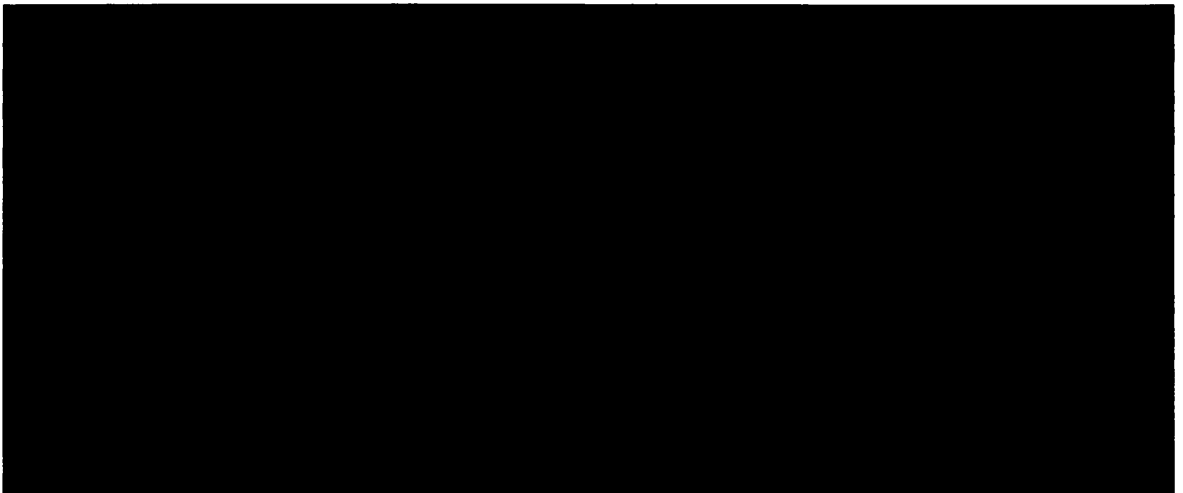
集合修習の冒頭に，集合修習に向けてのガイダンスをし，集合修習における民事裁判科目及び民事共通科目の修習内容を説明してその意義を理解させ，今後の学修方法に関する指導を行うことで集合修習への動機付けを行った。

#### 2 起案

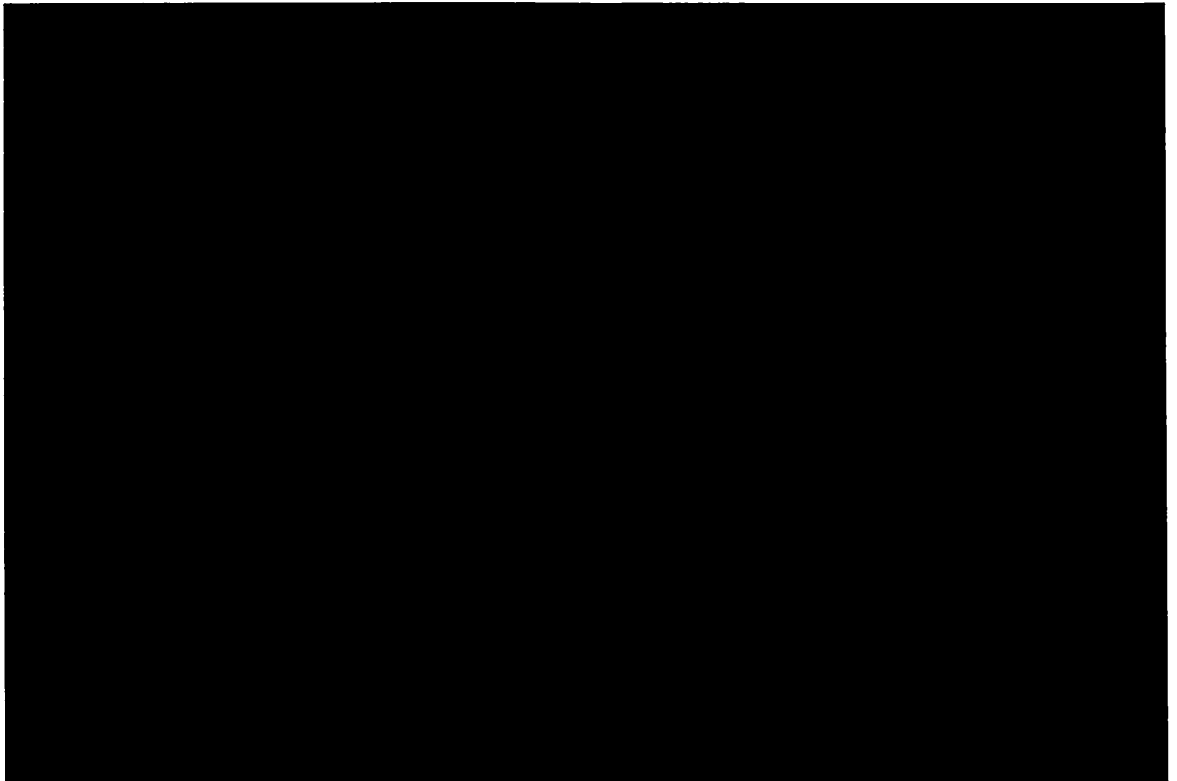
##### (1) 総説

##### (2) 起案1

##### ア 事案の概要

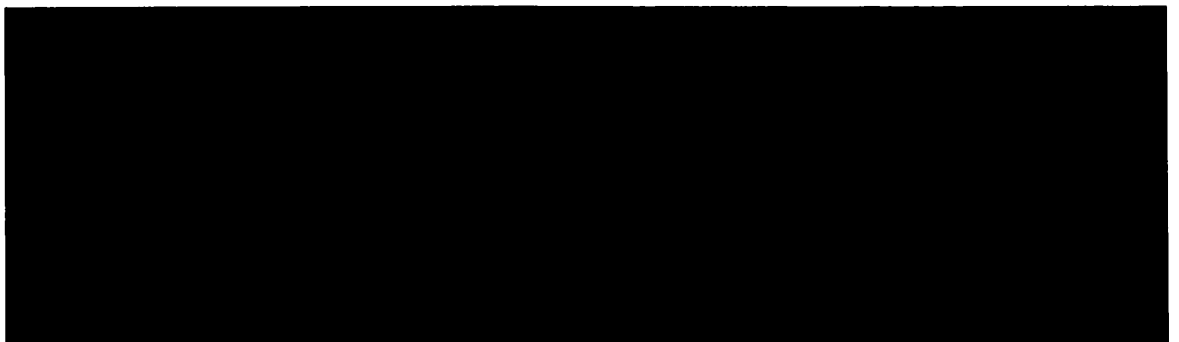


イ 起案事項等



(3) 起案 2

ア 事案の概要





イ 起案事項等

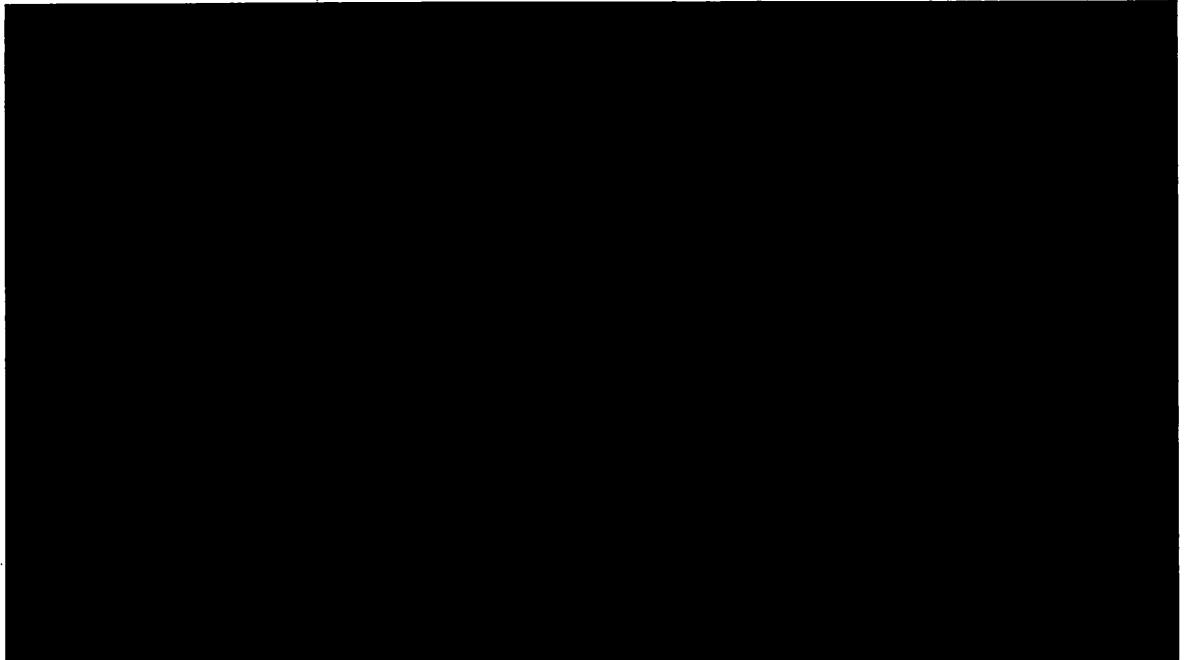


3 演習（争点整理）

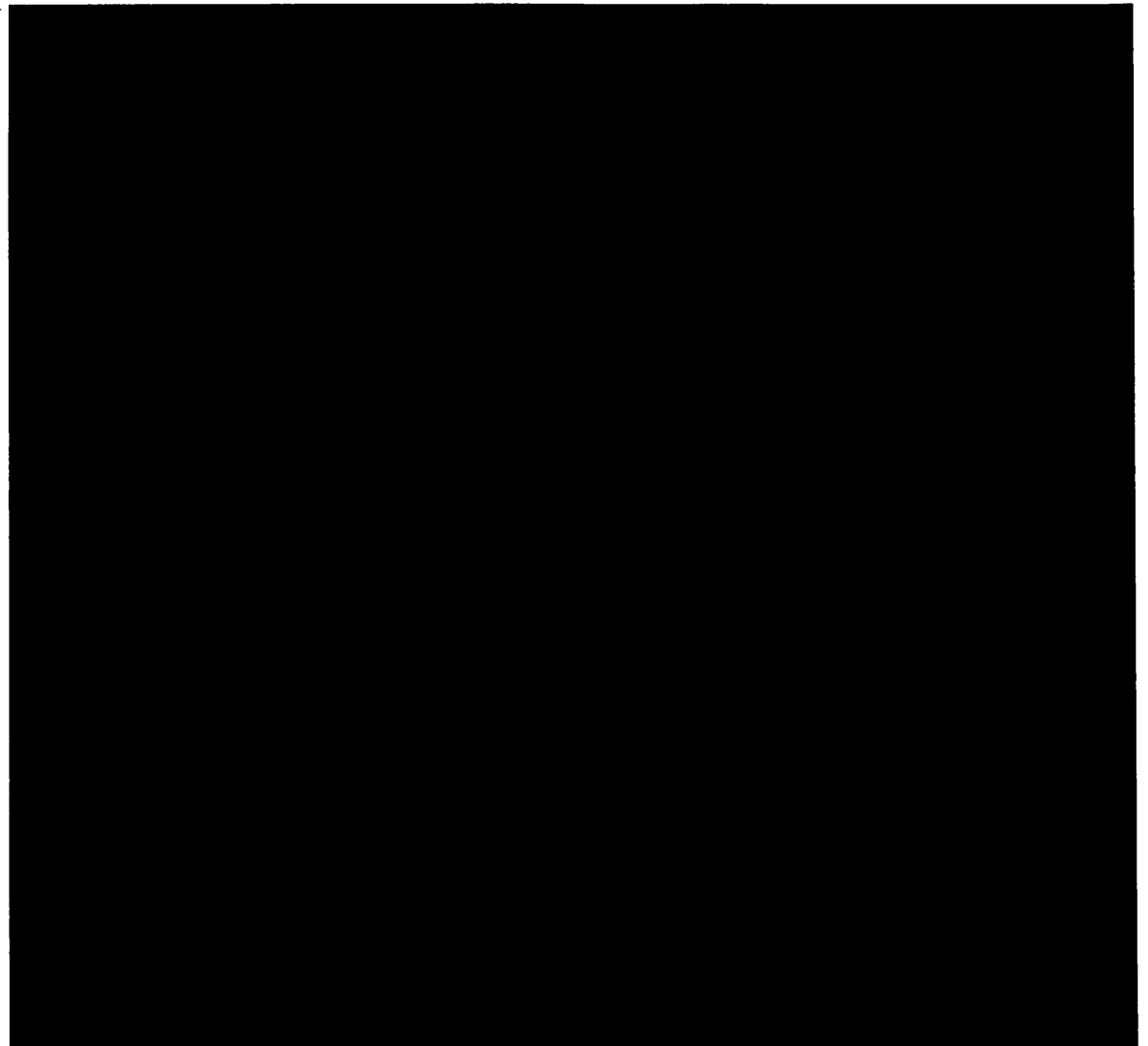
(1) 総説



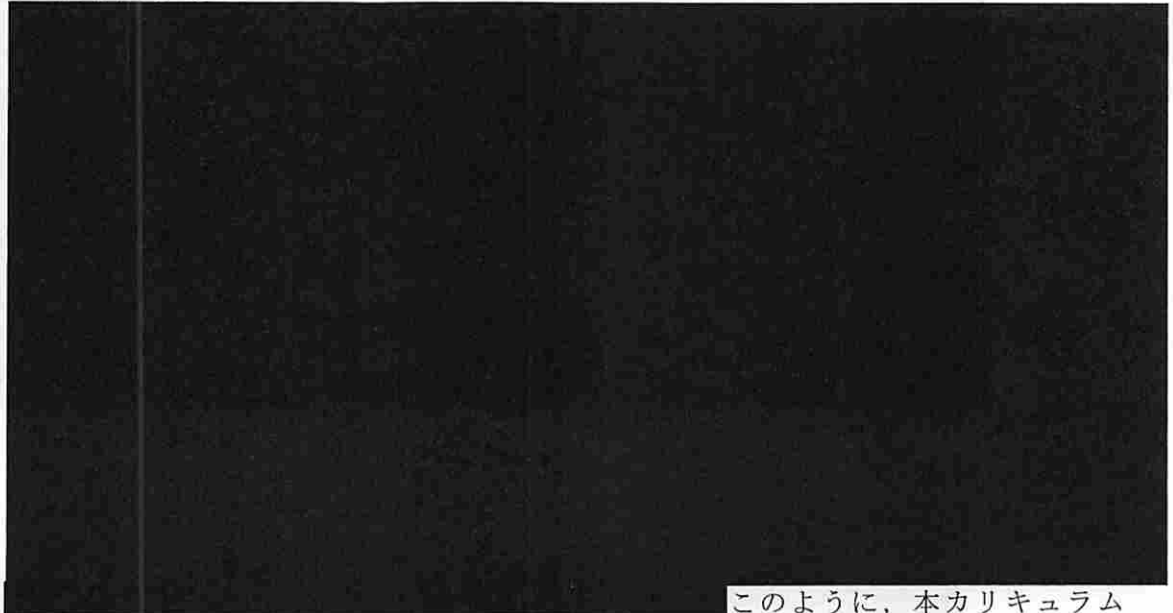




(2) 事案の概要



(3) 演習内容等

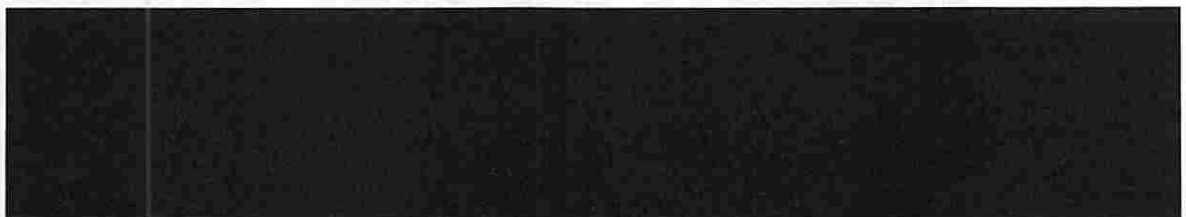


このように，本カリキュラムは，実務家としての基礎的かつ実践的な思考力，状況に応じた紛争解決能力の培養を目的とするものであり，法曹としての実際の活動との架橋を意識したものである。

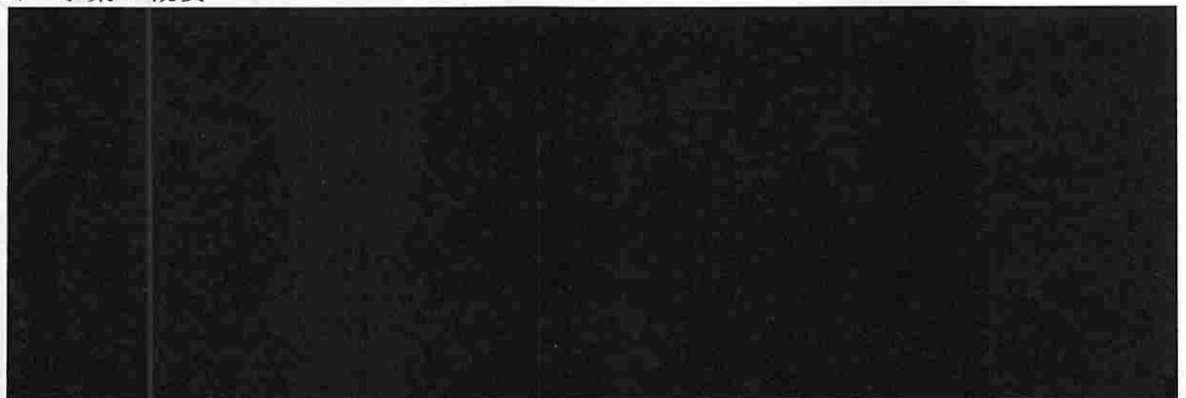
Ⅱ 民事弁護

1 問題研究 1, 2

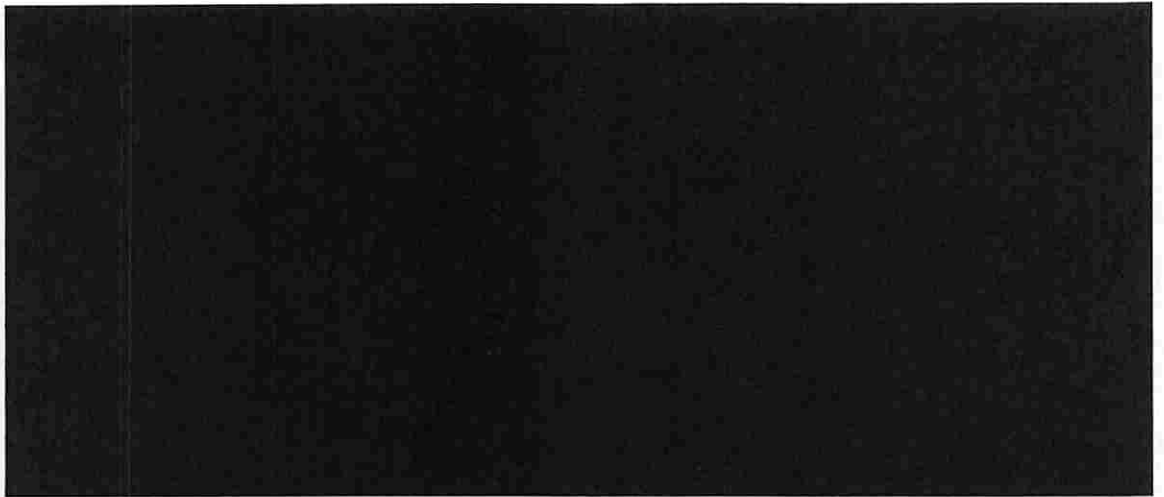
(1) 実施内容



(2) 事案の概要



(3) 研究事項等



## 2 起案

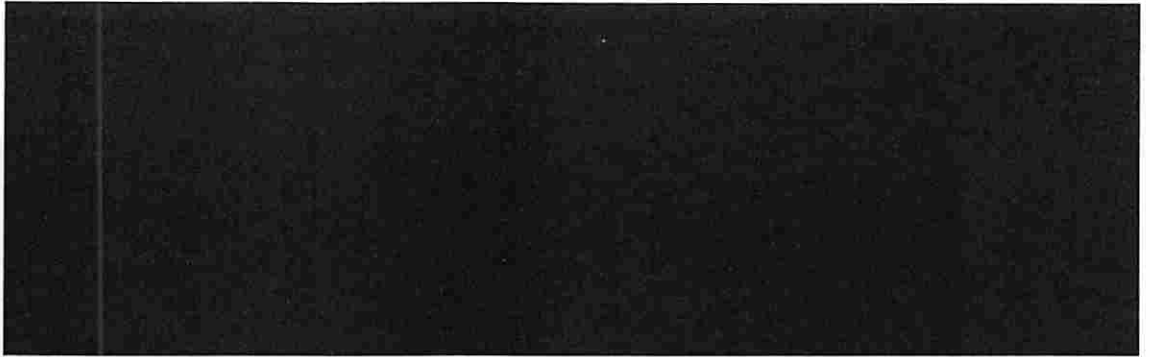
### (1) 起案 1

#### ア 事案の概要



#### イ 起案事項等



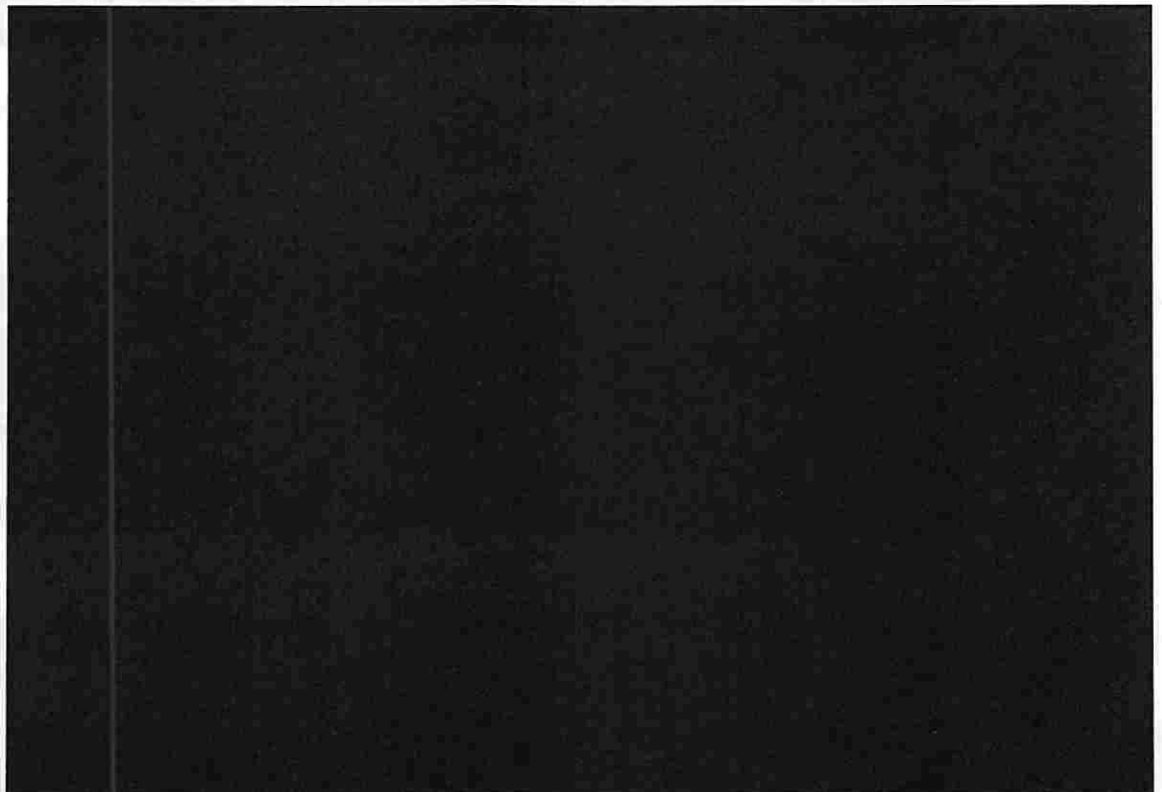


(2) 起案 2

ア 事案の概要

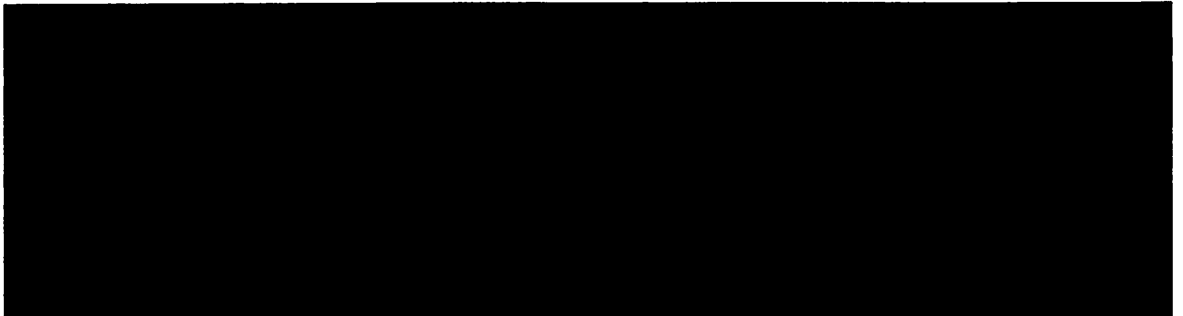


イ 起案事項等



### 3 講義（和解条項）

#### (1) 実施の概要

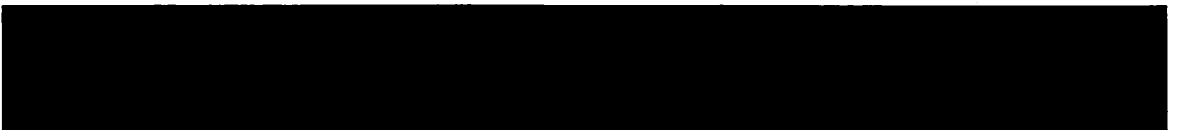


#### (2) 講義の目的



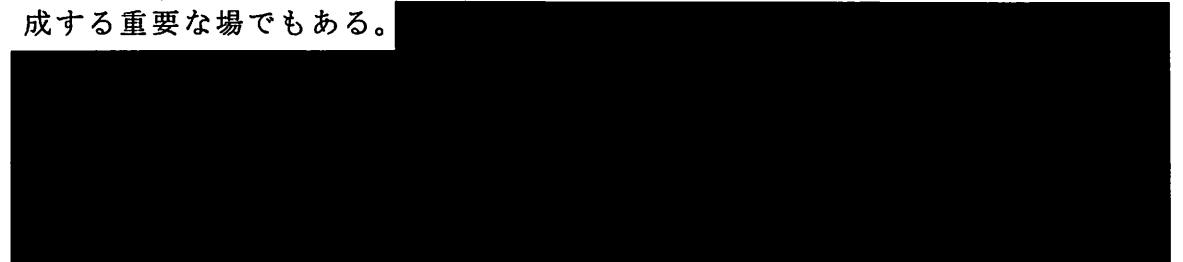
### 4 演習（法律相談）

#### (1) 実施の概要



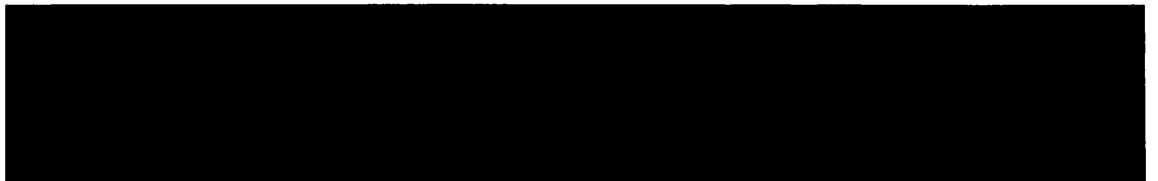
#### (2) 演習の目的

法律相談は、受任に先立つ行為として、受任の可否、事案解決の見込み、処理方針などを判断し、かつ、依頼者に対して、事案処理方針の説明、報酬等の説明をした上で、弁護士委任契約の締結などを行う重要なステージである。また、依頼者から適切に事案の本質を聴き出し、かつ、依頼者との信頼関係を醸成する重要な場でもある。



#### (3) 事案の概要

##### ア ケース 1



[Redacted]

イ ケース 2

[Redacted]

(4) 実施内容

[Redacted]

Ⅲ 民事共通

1 民事共通演習 1 から 4 まで

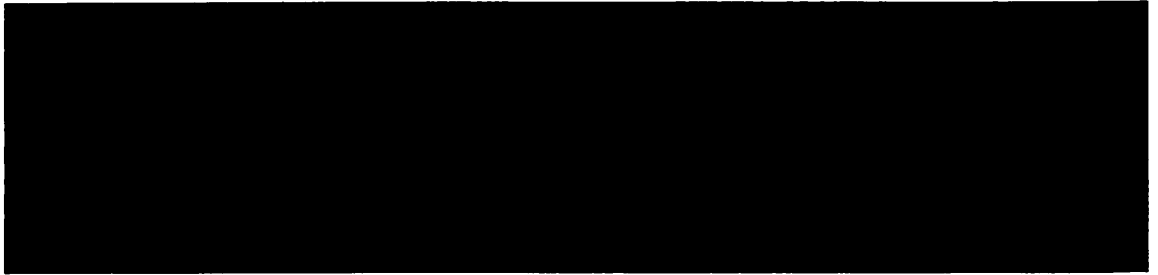
(1) 総説

ア 趣旨

[Redacted]

イ 事案の概要

[Redacted]



(2) 民事共通演習 1 (口頭弁論)

ア 課題及び実演等



イ 講評



(3) 民事共通演習 2 (弁論準備手続期日)

ア 課題及び実演等

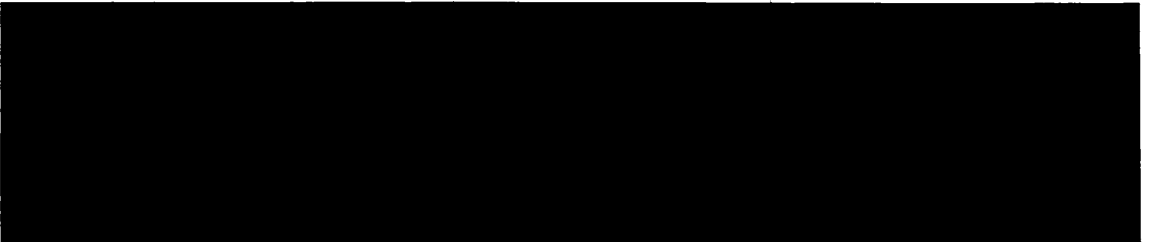


イ 講評等



(4) 民事共通演習 3 (交互尋問)

ア 趣旨



イ 事前準備等

ウ 交互尋問等

エ 講評等

(ア) 外部講師（裁判所職員総合研修所教官）による講評

(イ) 教官による講評

(ウ) 事実認定討論

(5) 民事共通演習 4（判決）

ア 判決

イ 講評

2 民事共通問題研究（和解）

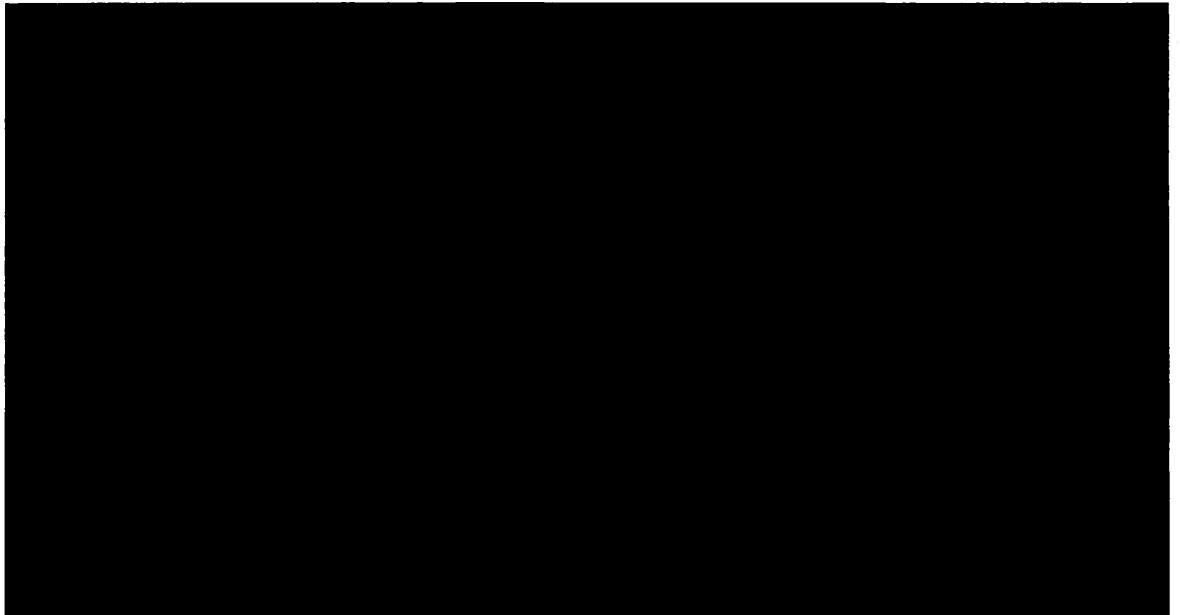


## 第2 刑事関係科目

### I 刑事裁判

#### 1 起案

##### (1) 総説



なお、いずれの設問についても、書式、形式等を要求するものではないし、単なる知識を問うものでもなく、新司法修習における指導理念に対応した、法曹としての活動に共通して必要となる汎用性のある基礎的な能力を修得させることに重点を置いて出題している。

##### (2) 起案1

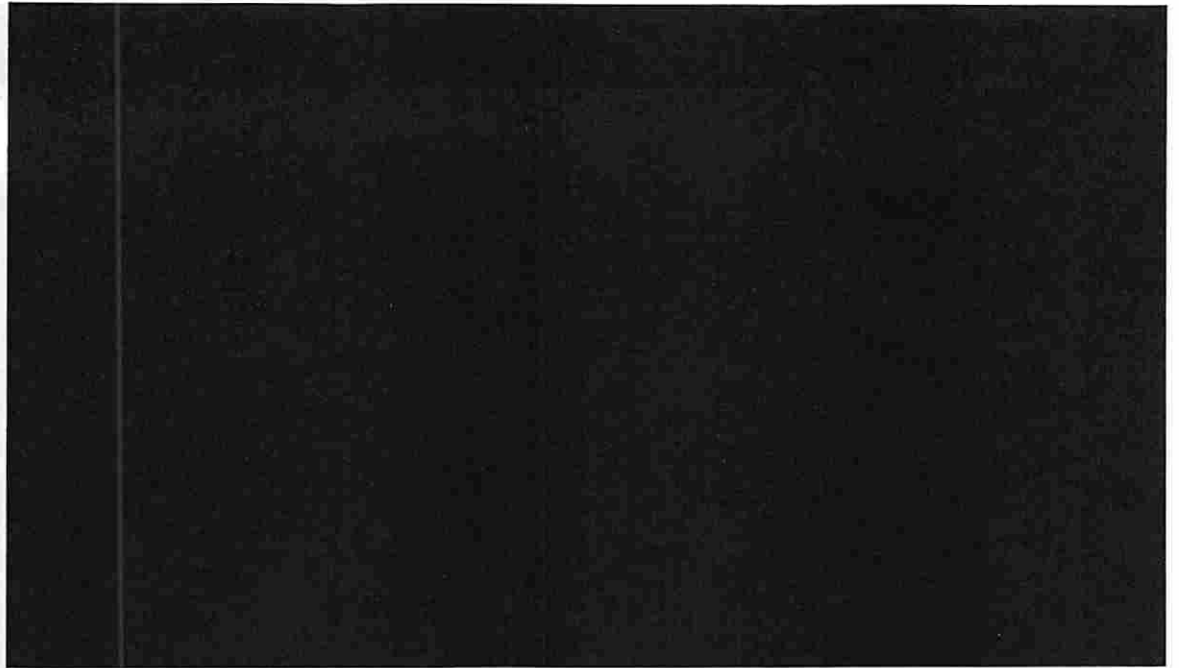
###### ア 事案の概要



###### イ 起案事項



###### ウ 講評

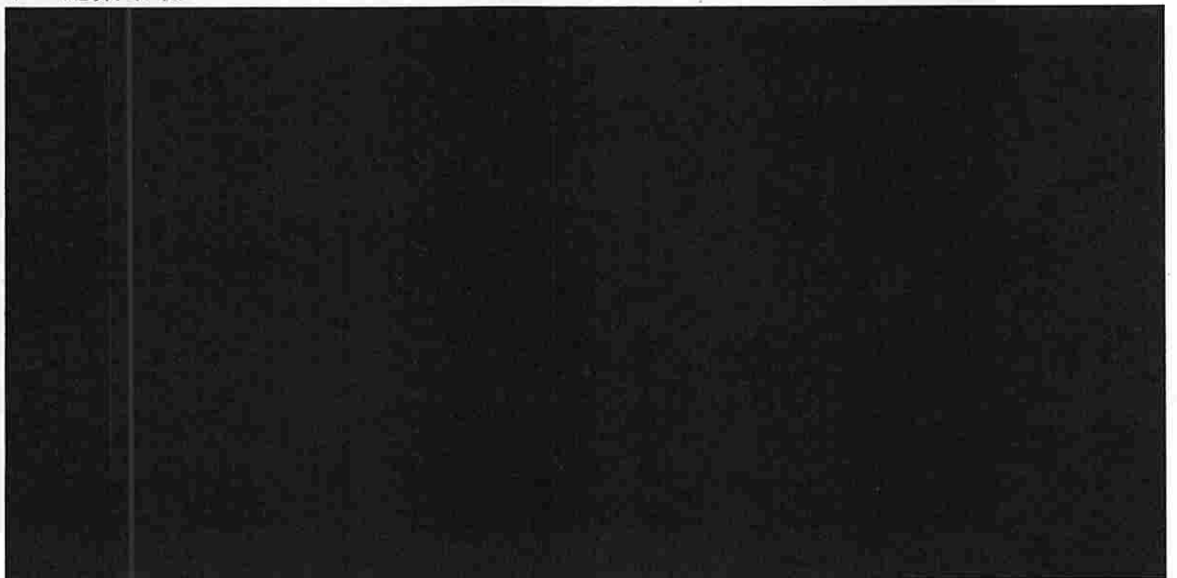


(3) 起案 2

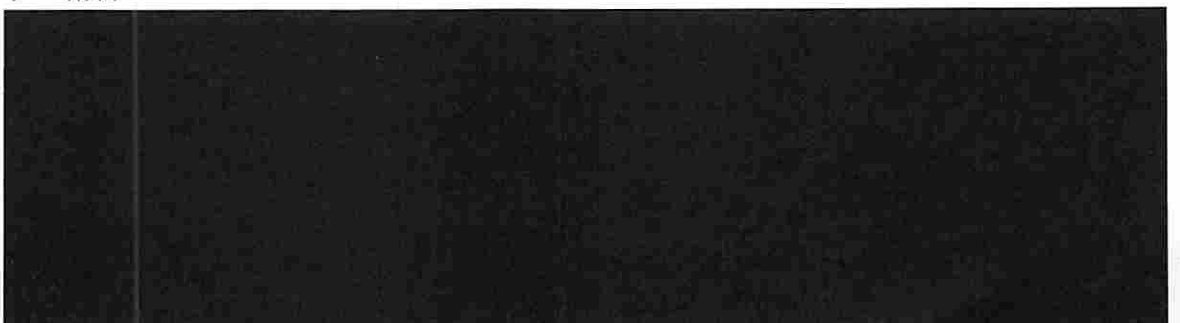
ア 事案の概要



イ 起案事項



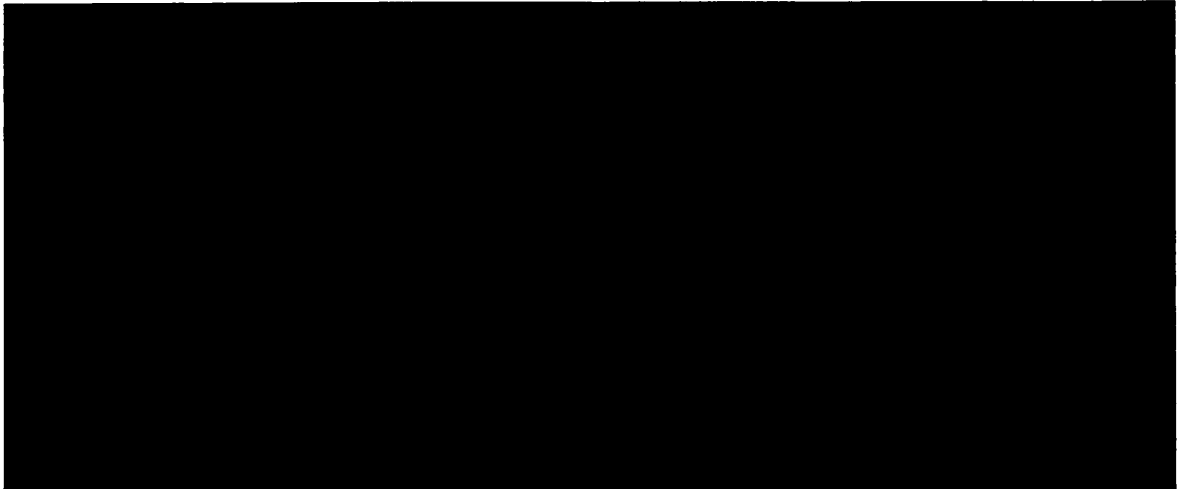
ウ 講評



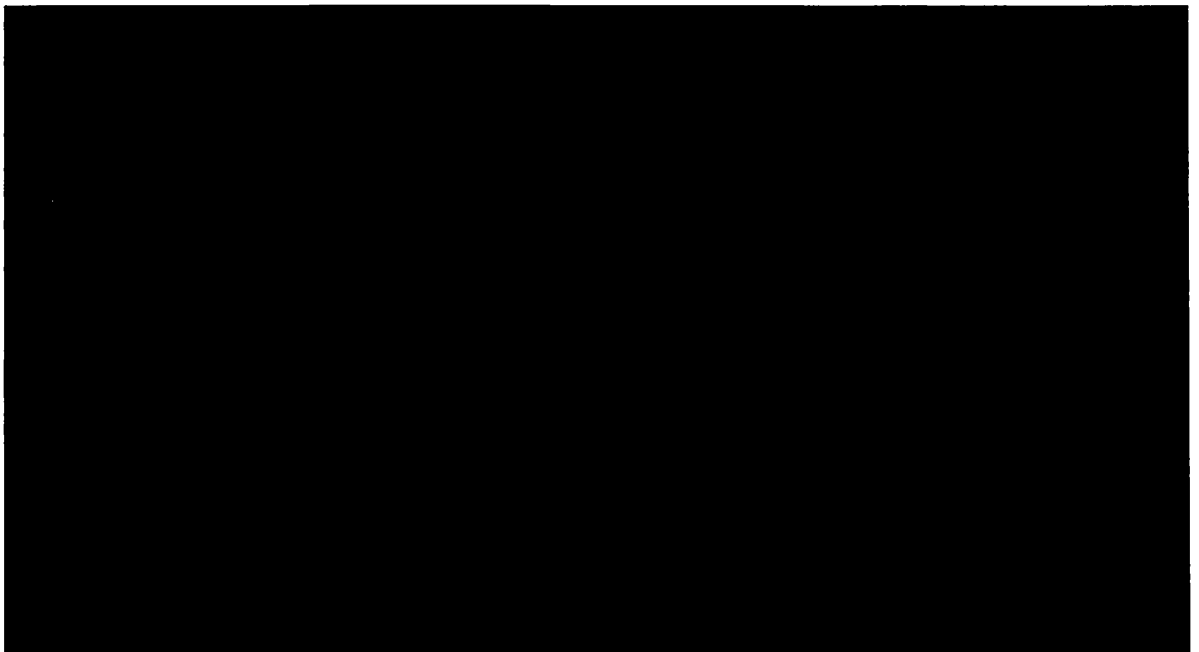


## 2 問題研究

### (1) 指導目標



### (2) 実施内容



## Ⅱ 検 察

### 1 起案

#### (1) 検察起案の概要

--	--

司法修習における指導理念に対応し、法曹としての汎用性のある基礎的な能力を修得させることに重点を置いた出題であり、刑事手続に関する問題についても、単に法的知識を問うだけではなく、修習記録中に現れた具体的な事実関係を正確に把握しなければ正解に達し得ない問題を出題するように配慮した。

#### (2) 起案 1

##### ア 事案の概要

--	--

##### イ 起案事項等

--	--

##### ウ 講評

--	--

[Redacted]

(3) 起案 2

ア 事案の概要

[Redacted]

イ 起案事項等

[Redacted]

ウ 講評

[Redacted]

2 問題研究（被害者保護）

指導目標及び実施内容等

[Redacted]

### Ⅲ 刑事弁護

#### 1 起案

##### (1) 総説

刑事弁護教官室は、修習生に対して、具体的な刑事事件に基づきケース・セオリー（弁護人の求める結論が正しいことを導く論拠）を確立する弁護活動の基本を指導し、弁護人が行うべき最善の努力を尽くした活動とは何かを考えさせることにより、弁護人としての基本的な能力・技術、さらには、法曹の活動に共通して必要とされる基本的かつ汎用的な能力を修得させるとともに、法曹資格取得後の自己研鑽への意識付けをさせることを指導方針としている。

##### (2) 起案 1

###### ア 事案の概要

###### イ 起案事項

[Redacted]

ウ 講評

[Redacted]

(3) 起案 2

ア 事案の概要

[Redacted]

イ 起案事項

[Redacted]

ウ 講評

[Redacted]

2 問題研究（取調べ対応，示談交渉）

(1) 指導目標

[Redacted]

(2) 実施内容

--	--

--	--

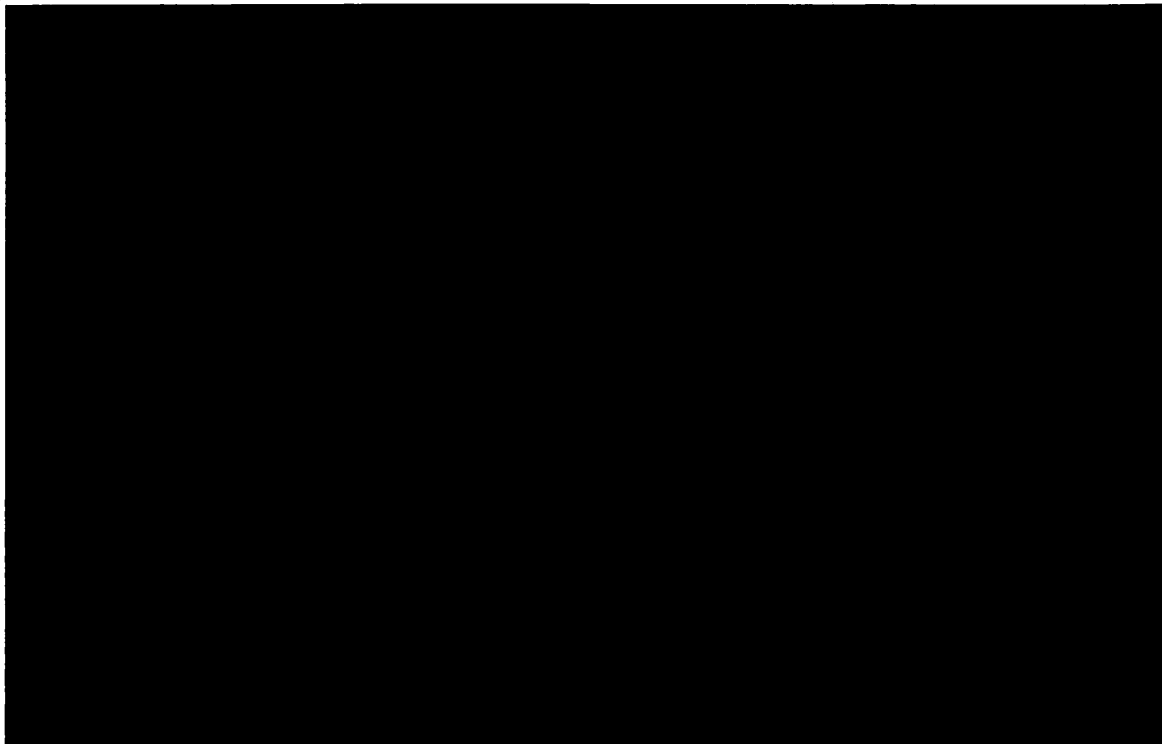
--	--



#### IV 刑事共通

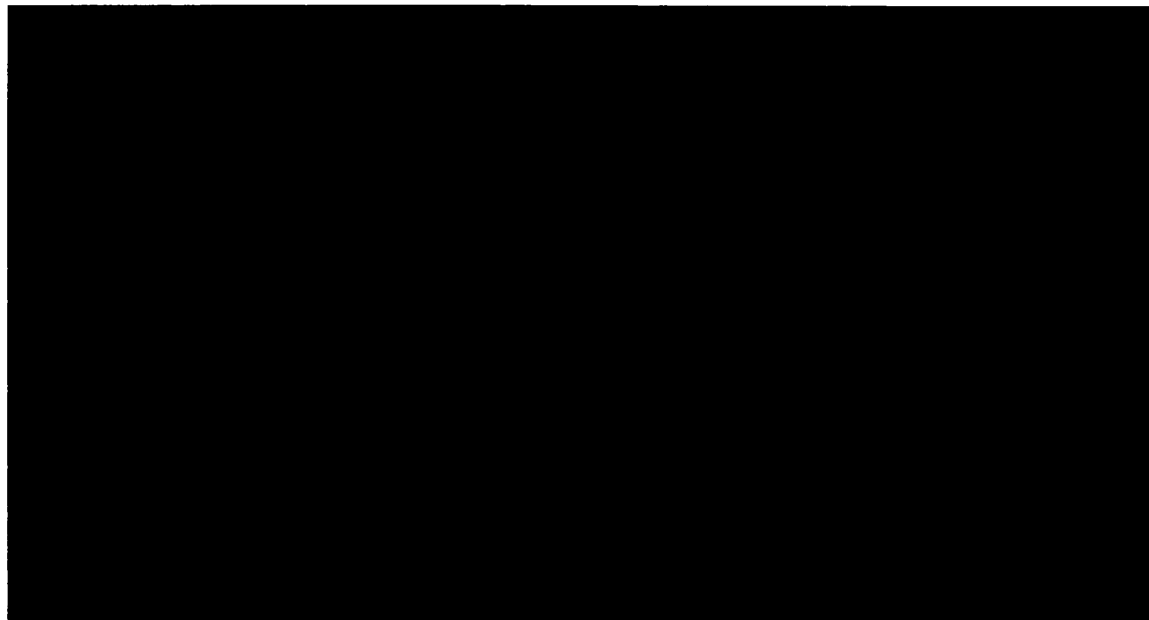
##### 1 刑事共通演習

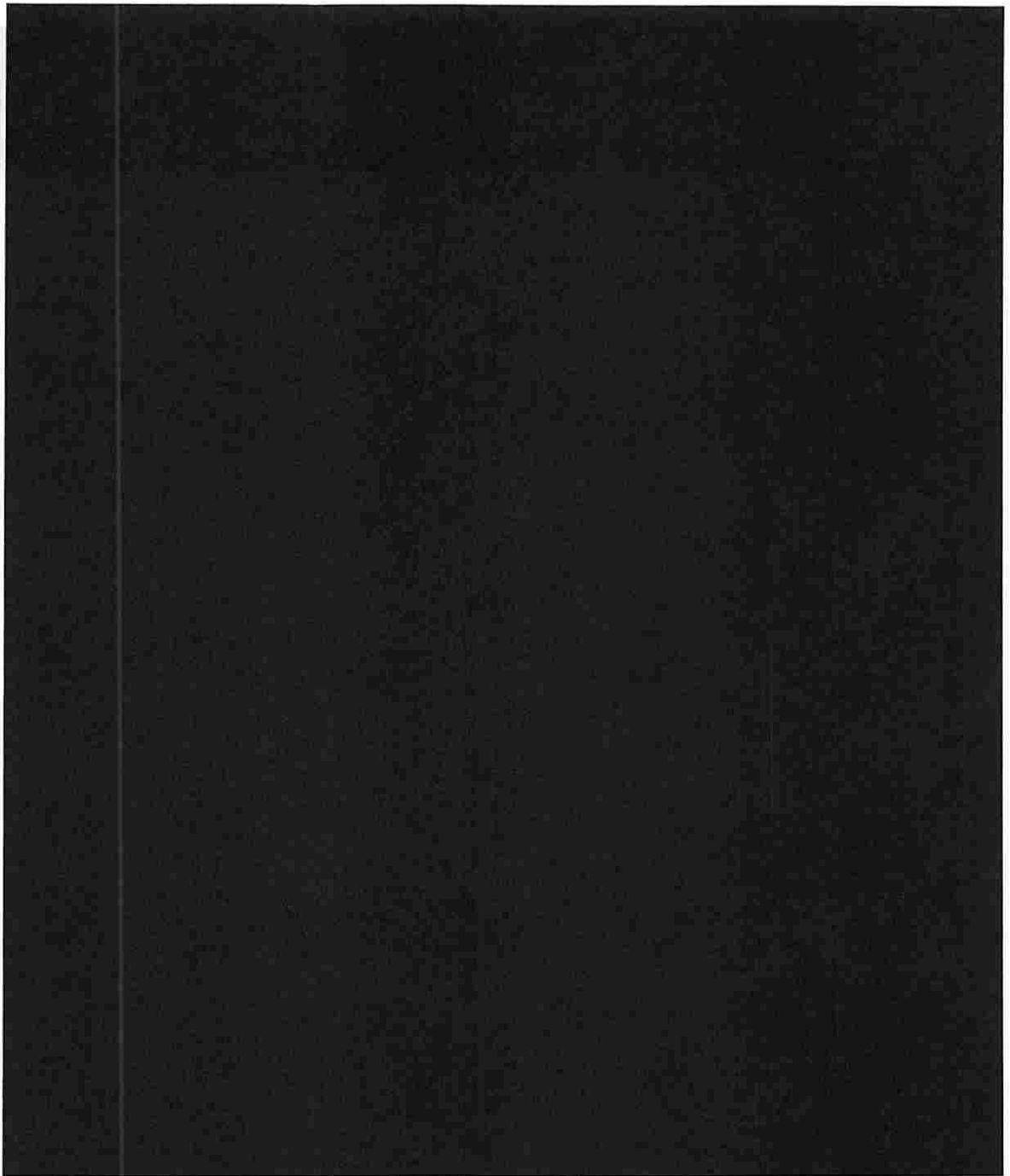
###### (1) 指導目標



これらの演習を通じ，的確な争点整理を行う上での必要な視点を提供し，これにより，法曹としての活動に共通して必要とされる汎用性のある基礎的な能力を修得させるよう努めた。

###### (2) 実施内容





## 2 刑事共通問題研究

### (1) 指導目標



### (2) 実施内容



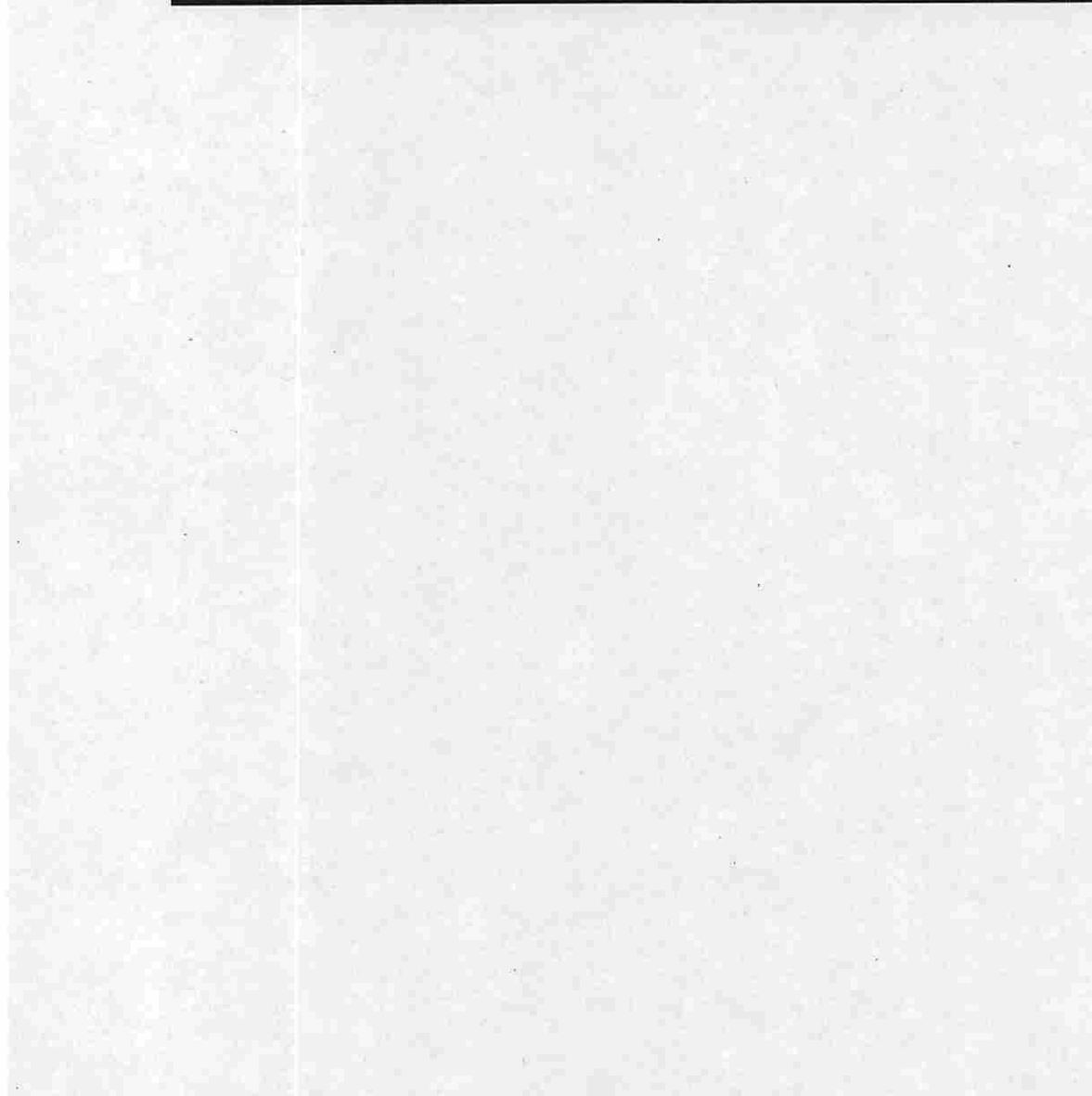


Figure 1



### 第3 その他の共通科目等

#### I 全科目共通

特別講義「国際人権法の形成と実施」

講 師 弁護士（第一東京弁護士会） 上 柳 敏 郎 氏

国際人権については、その重要性に鑑み、各期において全科目共通特別講義という形式で国際人権全般にわたって講演を行ってきた。

第70期においても、同様の趣旨に基づき、講師が、国際人権の重要性や、国際人権法の国内的・国際的实施、国際NGOの活動等について、ロールプレイ及び講演を行った。

#### II 弁護共通

演習「弁護士倫理」



平成28年度（第70期）司法修習生

## B班 集合修習日程予定表

（注） 本表は予定であって、確定日程ではない。  
確定日程は、毎週最終登庁日に配布する。

平成28年度（第70期）司法修習生  B班 集合修習日程予定表  (注) 本表は予定であって、確定日程ではない。 確定日程は、毎週最終登庁日に配布する。					月 日	曜	1限目 (9:50~11:40)	2限目 (12:40~14:30)	3限目 (14:45~16:35)	月 日	曜	1限目 (9:50~11:40)	2限目 (12:40~14:30)	3限目 (14:45~16:35)		
					16	月	民弁講義（和解条項）	民弁演習（法律相談）			13	月	刑弁起案2講評		刑裁起案2講評	
					17	火	民裁起案1講評			14	火	刑裁起案2講評	検察起案2講評			
					18	水	刑裁問題研究	刑弁起案1講評			15	水	民弁演習4 (判決・講評)	民弁起案2講評		
					19	木	民共演習1（口頭弁論期日）			刑共演習（証拠開示等）	16	木	自由研究日			
					20	金	刑共演習（争点整理等）			17	金	考試				
					23	月	刑共演習（尋問）			20	月	考試				
					24	火	民裁起案2（即日）			21	火	考試				
					25	水	刑弁起案2（即日）			22	水	考試				
					26	木	刑裁起案1講評			検察起案1講評	23	木	勤労感謝の日			
27	金	検察起案1講評	民共演習2（弁論準備手続期日）			24	金	考試								
月 日	曜	1限目 (9:50~11:40)	2限目 (12:40~14:30)	3限目 (14:45~16:35)	30	月	刑裁起案2（即日）			<div>凡例</div> <div>民裁・・・民事裁判 刑裁・・・刑事裁判 民弁・・・民事弁護 刑弁・・・刑事弁護 (即日)・・・即日起案</div> <div>民共・・・民事共通 刑共・・・刑事共通 全共・・・全科共通 弁共・・・弁護共通</div> <div>(29.3.13 司研企二印)</div>						
10 / 3	火	民裁講義		検察問題研究 (被害者保護)	31	火	民共問題研究(和解)	民弁起案1講評								
4	水	民裁起案1（即日）			11 / 1	水	検察起案2（即日）									
5	木	民弁問題研究1			2	木	民弁起案2（即日）									
6	金	刑弁起案1（即日）			3	金	文化の日									
9	月	体育の日			6	月	民共演習3準備	民裁演習(争点整理)								
10	火	刑裁起案1（即日）			7	火	民裁演習（争点整理）		刑共問題研究 (情状・量刑)							
11	水	検察起案1（即日）			8	水	全共特別講義	刑弁問題研究	弁共演習(弁護士倫理)							
12	木	民共演習1準備		民弁問題研究2	9	木	民裁起案2講評									
13	金	民弁起案1（即日）			10	金	民共演習3(交互尋問)									

## 第71期 修習日程

修習区分		A班			B班		
		修習期間		移動日	修習期間		移動日
導入修習				29. 11. 27(月)～ 29. 12. 3(日)※7日			29. 11. 27(月)～ 29. 12. 3(日)※7日
		開始日	29. 12. 4(月)		開始日	29. 12. 4(月)	
		終了日	29. 12. 22(金)		終了日	29. 12. 22(金)	
		実日数	15		実日数	15	
				29. 12. 23(土)～ 29. 12. 28(木)※6日			29. 12. 23(土)～ 29. 12. 28(木)※6日
分野別 実務修習	第1クール	開始日	30. 1. 4(木)		開始日	30. 1. 4(木)	
		終了日	30. 2. 28(水)		終了日	30. 2. 28(水)	
		実日数	38		実日数	38	
	第2クール	開始日	30. 3. 1(木)		開始日	30. 3. 1(木)	
		終了日	30. 4. 24(火)		終了日	30. 4. 24(火)	
		実日数	38		実日数	38	
	第3クール	開始日	30. 4. 25(水)		開始日	30. 4. 25(水)	
		終了日	30. 6. 19(火)		終了日	30. 6. 19(火)	
		実日数	37		実日数	37	
	第4クール	開始日	30. 6. 20(水)		開始日	30. 6. 20(水)	
		終了日	30. 8. 10(金)		終了日	30. 8. 10(金)	
		実日数	37		実日数	37	
選択型 実務修習 及び 集合修習				30. 8. 11(土)～ 30. 8. 13(月)※3日			
		集合修習 開始日	30. 8. 14(火)		選択型修習 開始日	30. 8. 11(土)	
		終了日	30. 9. 26(水)		終了日	30. 9. 28(金)	
		実日数	30		実日数	33	
				30. 9. 27(木)～ 30. 9. 30(日)※4日			30. 9. 29(土)～ 30. 10. 2(火)※4日
		選択型修習 開始日	30. 10. 1(月)		集合修習 開始日	30. 10. 3(水)	
		終了日	30. 11. 14(水)		終了日	30. 11. 14(水)	
		実日数	32		実日数	30	
		自由研究日	30. 11. 15(木)		自由研究日	30. 11. 15(木)	

※ なお、A班の選択型実務修習及びB班の集合修習のカリキュラム終了後、5科目の筆記試験が行われる予定である。

(平成30・3・23)

## 第71期導入修習カリキュラムの概要

司法研修所

## は し が き

導入修習は、修習開始段階で司法修習生に不足している実務基礎知識・能力に気付かせ、かつ、より効果的、効率的な分野別実務修習が円滑に行えるようにすることを目的としている。

第71期司法修習においても、この導入修習の目的に沿った教育効果を上げることを企図してカリキュラムを策定し、実施した。その概要は、本資料及び別添の「第71期導入修習日程予定表」のとおりである。

司法修習生指導担当者各位におかれては、本資料を分野別実務修習における司法修習生の指導の参考としていただきたい。



## 第1 民事関係科目

### I 民事裁判

#### 1 即日起案・解説

##### (1) 目的

##### (2) 事案の概要

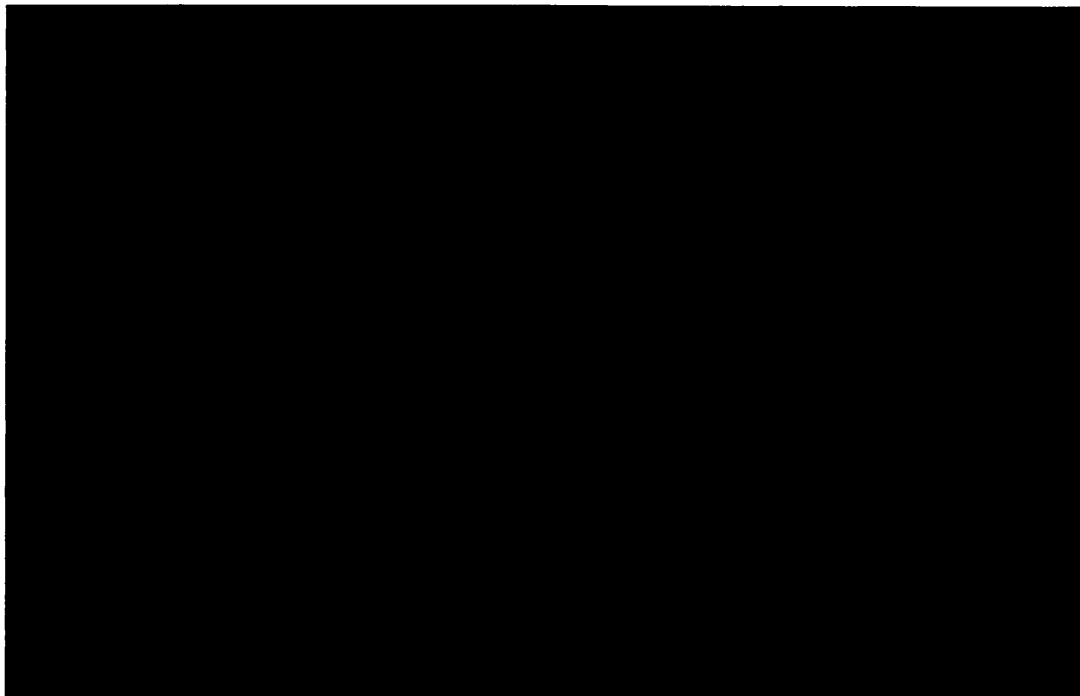
##### (3) 起案事項

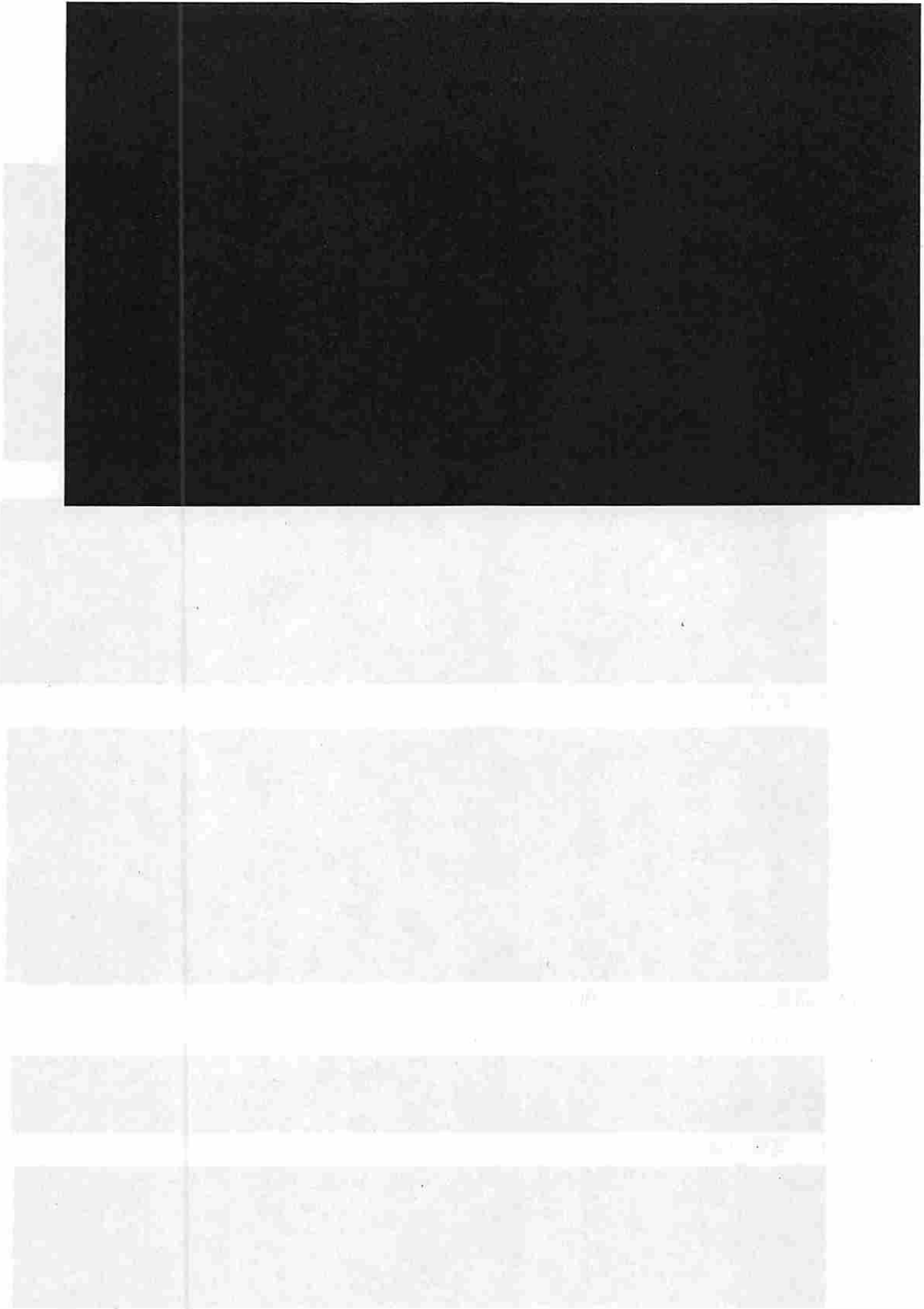
##### (4) 講評等

## 2 民事事実認定の手法と解説



## 3 裁判修習に向けて（刑事裁判と共通）



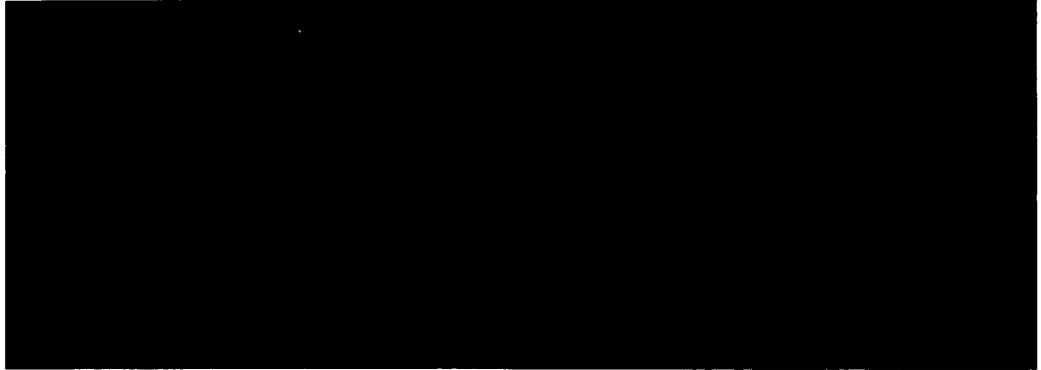


## Ⅱ 民事弁護

### 1 講義

#### (1) 講義1（民事保全・民事執行）

##### ア 実施の概要



##### イ DVD教材の内容



##### ウ 設問内容

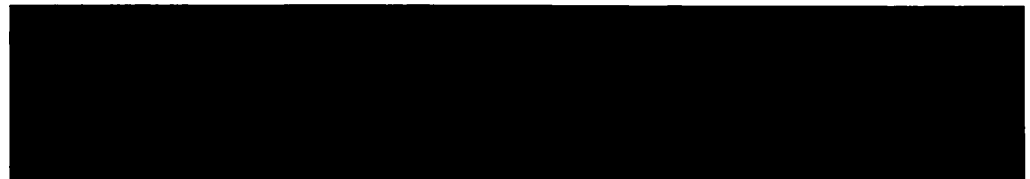


#### (2) 講義2（弁護士倫理・職責等）

##### ア 目的

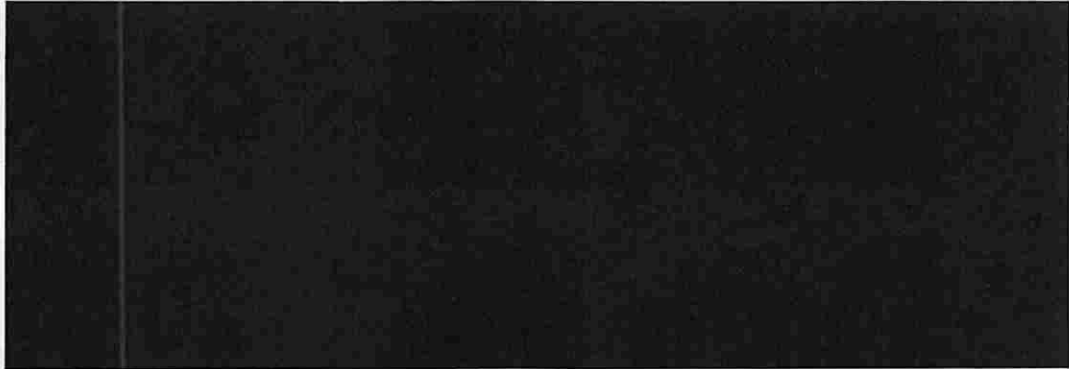


##### イ 実施の概要



## 2 問題研究（即日起案等）

### (1) 実施の概要



### (2) 事案の概要



### (3) 実施内容

#### ア 問題研究 1（事情聴取記録に基づく訴状作成及び訴訟戦略の検討）



#### イ 問題研究 2（即日起案）



#### ウ 問題研究 3（講評）



## 3 演習

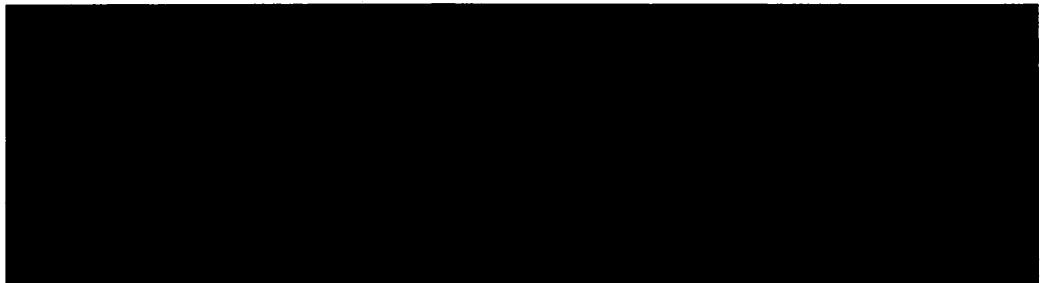
### (1) 演習 1（立証）

#### ア 実施の概要



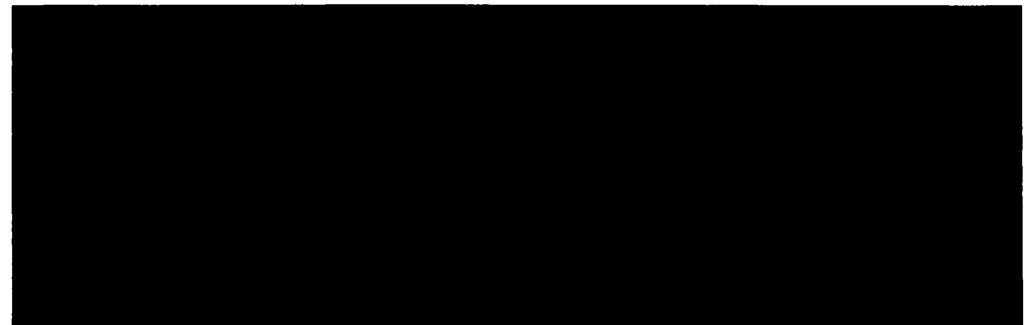


イ 設問内容

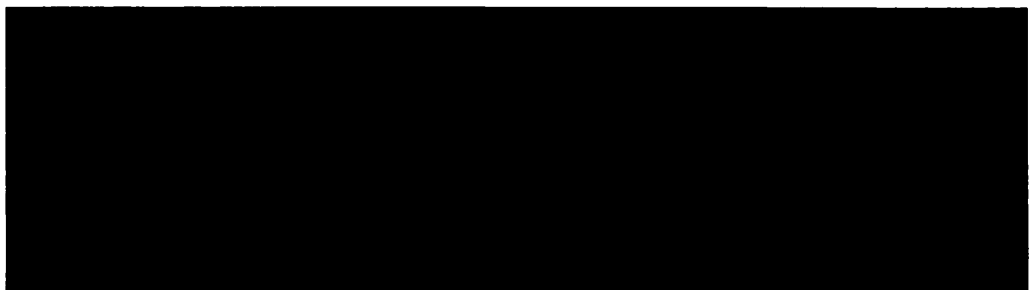


(2) 演習 2 (和解条項)

ア 実施の概要

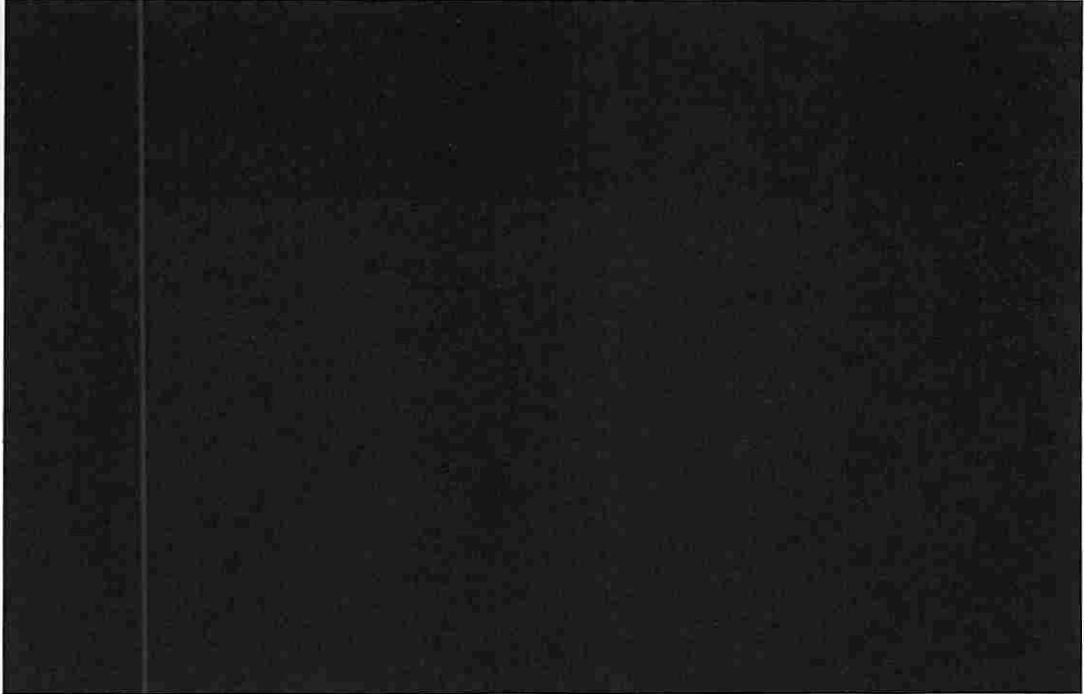


イ 設問内容



### Ⅲ 民事共通

#### 1 民事第一審手続の概説（講義）



#### 2 民事総合1・2



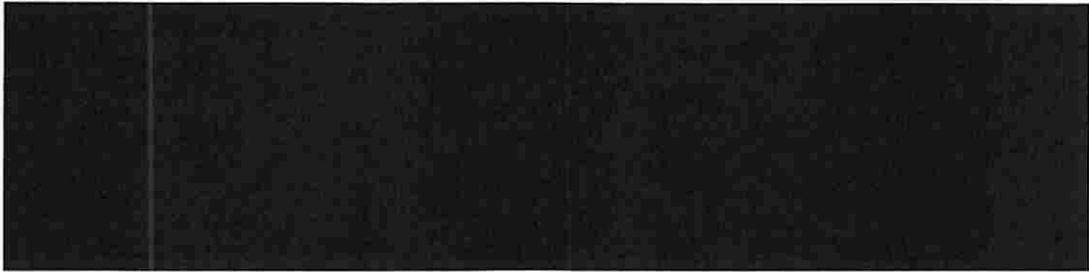




## 第2 刑事関係科目

### I 刑事裁判

#### 1 講義（事前課題解説等）




#### 2 即日起案・事前課題の解説

##### (1) 即日起案


###### ア 目的




###### イ 事案の概要




###### ウ 起案事項

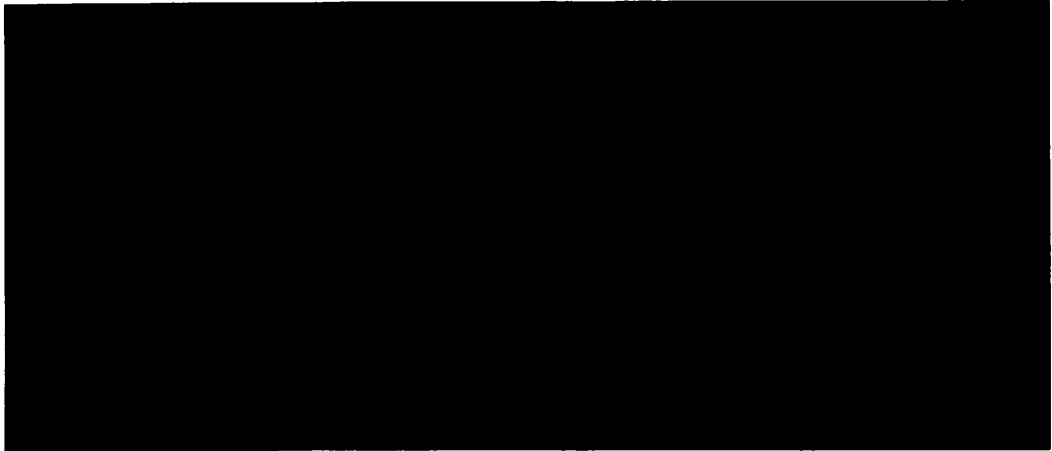


###### エ 解説



##### (2) 事前課題の解説等





- 3 裁判修習に向けて（民事裁判と共通）  
民事裁判の項参照

## Ⅱ 検察

### 1 導入講義



### 2 即日起案

#### (1) 目的



#### (2) 事案の概要



#### (3) 起案事項



### 3 捜査演習



### 4 即日起案講評＋検察官の心構え等





### Ⅲ 刑事弁護

#### 1 刑弁演習 1 (捜査弁護)

##### (1) 目的

[Redacted text]

##### (2) 事案の概要

[Redacted text]

##### (3) 実施内容

[Redacted text]

#### 2 刑弁演習 2 (即日起案の解説・否認事件)

##### (1) 目的

[Redacted text]

##### (2) 事案の概要

[Redacted text]

##### (3) 起案事項

[Redacted text]

##### (4) 講評等

[Redacted text]

### 3 刑弁演習 3 (量刑事件)

#### (1) 目的

[Redacted text]

#### (2) 事案の概要

[Redacted text]

#### (3) 実施内容

[Redacted text]

#### IV 刑事共通

##### 1 刑事問題研究（勾留）

###### (1) 目的

[Redacted text]

###### (2) 事案の概要

[Redacted text]

###### (3) 実施内容

[Redacted text]

##### 2 刑事共通演習基礎（公判前整理手続）

###### (1) 目的

充実した公判の審理を実現するためには、公判前整理手続において的確かつ迅速に争点整理を行うことが不可欠である。

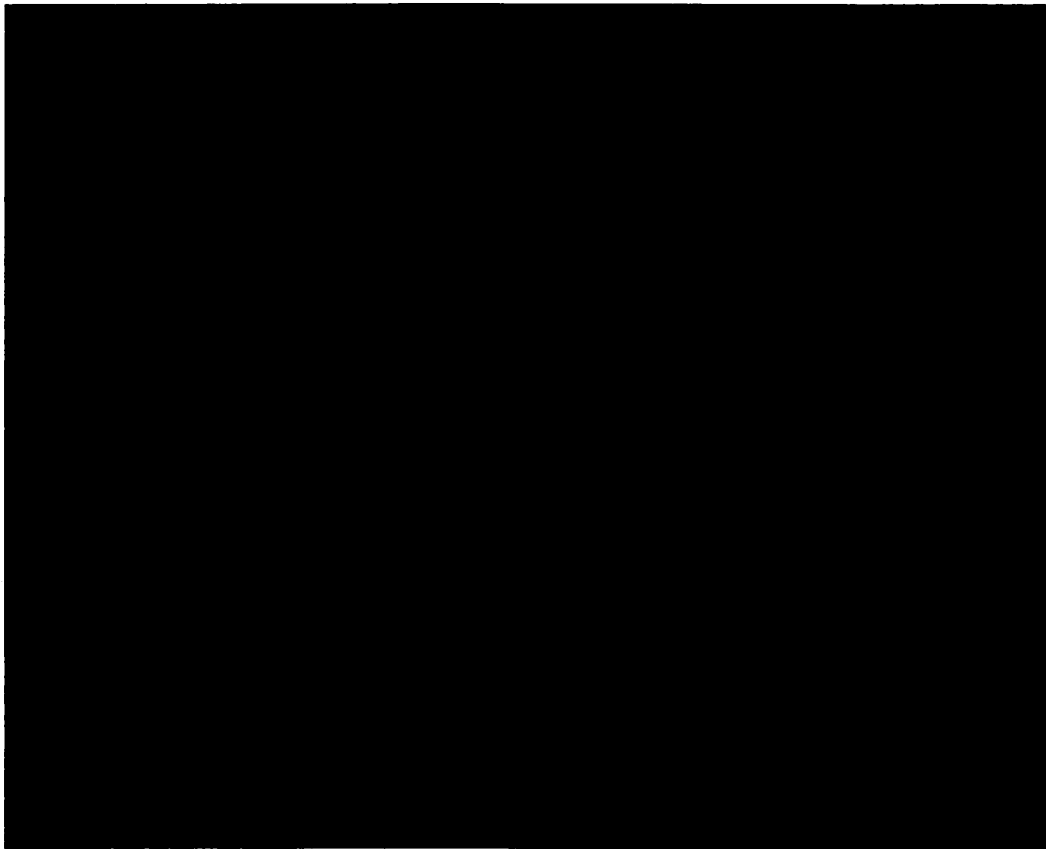
[Redacted text]

###### (2) 事案の概要

[Redacted text]



(3) 実施内容





第71期 導入修習日程予定表

月／日 曜		A班				B班					
12月4日	月	1限目(165分) (10:35～11:55, 12:45～14:10) 民事第1審手続の概説(講義) (民裁・民弁)		2限目(165分) (14:25～17:10) 民弁問題研究1(事案分析)		1限目(110分) (10:35～12:25) 刑裁講義(事前課題解説等)		2限目(110分) (13:15～15:05) 検察導入講義		3限目(110分) (15:20～17:10) 刑弁演習1(捜査弁護)	
12月5日	火	1限目(110分) (10:05～11:55) 刑裁講義(事前課題解説等)	2限目(110分) (12:55～14:45) 検察導入講義		3限目(110分) (15:00～16:50) 刑弁演習1(捜査弁護)		1限目(165分) (10:05～11:55, 12:55～13:50) 民事第1審手続の概説(講義) (民裁・民弁)		2限目(165分) (14:05～16:50) 民弁問題研究1(事案分析)		
12月6日	水	1限目(180分) (9:50～12:50) 民裁即日起案		2限目(180分) (14:00～17:00) 検察即日起案		1限目(180分) (9:50～12:50) 民裁即日起案		2限目(180分) (14:00～17:00) 検察即日起案			
12月7日	木	1限目(180分) (9:50～12:50) 民弁問題研究2(即日起案)		2限目(180分) (14:00～17:00) 刑裁即日起案		1限目(180分) (9:50～12:50) 民弁問題研究2(即日起案)		2限目(180分) (14:00～17:00) 刑裁即日起案			
12月8日	金	1限目(170分) (9:50～11:50, 12:50～13:40) 民弁演習1(立証)		2限目(170分) (14:00～16:50) 民弁講義1(民事保全・民事執行①)		(9:50～12:20, 13:20～16:50) 捜査演習 (検察)					
12月11日	月	1限目(85分) (9:50～11:15) 民事総合1 (民裁・民弁)	2限目(85分) (11:30～12:10, 13:10～13:55) 刑事問題研究(勾留) (刑裁・検察・刑弁)		3限目(180分) (14:10～17:10) 刑弁即日起案		1限目(85分) (9:50～11:15) 刑事問題研究(勾留) (刑裁・検察・刑弁)	2限目(85分) (11:30～12:10, 13:10～13:55) 民事総合1 (民裁・民弁)		3限目(180分) (14:10～17:10) 刑弁即日起案	
12月12日	火	(9:50～12:20, 13:20～16:50) 捜査演習 (検察)				1限目(170分) (9:50～11:50, 12:50～13:40) 民弁演習1(立証)		2限目(170分) (14:00～16:50) 民事総合2 (民裁・民弁)			
12月13日	水	1限目(170分) (9:50～11:50, 12:50～13:40) 民事総合2 (民裁・民弁)		2限目(170分) (14:00～16:50) 民弁演習2(和解条項)		(9:50～11:50, 12:50～16:50) 刑事共通演習基礎(公判前整理手続) (刑裁・検察・刑弁)					
12月14日	木	(9:50～11:50, 12:50～16:50) 民裁即日起案解説				(9:50～12:20, 13:20～16:50) 刑裁即日起案・事前課題の解説					
12月15日	金	1限目(170分) (9:50～11:50, 12:50～13:40) 民事事実認定の手法と留意点 (民裁)		2限目(170分) (14:00～16:50) 民弁問題研究3(主張書面)		(9:50～11:50, 12:50～16:50) 刑弁演習2(即日起案解説・否認事件)					
12月18日	月	(9:50～11:50, 12:50～16:50) 刑弁演習2(即日起案解説・否認事件)				(9:50～12:20, 13:20～16:50) 民裁即日起案解説					
12月19日	火	(9:50～12:20, 13:20～16:50) 刑裁即日起案・事前課題の解説				1限目(170分) (9:50～11:50, 12:50～13:40) 民弁講義1(民事保全・民事執行①)		2限目(170分) (14:00～16:50) 民弁演習2(和解条項)			
12月20日	水	(9:50～12:20, 13:20～16:50) 刑事共通演習基礎(公判前整理手続) (刑裁・検察・刑弁)				1限目(170分) (9:50～11:50, 12:50～13:40) 民事事実認定の手法と留意点 (民裁)		2限目(170分) (14:00～16:50) 民弁問題研究3(主張書面)			
12月21日	木	1限目(170分) (9:50～12:00, 13:00～13:40) 裁判修習に向けて (民裁・刑裁)		2限目(170分) (14:00～16:50) 検察即日起案講評+検察官の心構え等		1限目(170分) (9:50～11:40, 12:40～13:40) 検察即日起案講評+検察官の心構え等		2限目(170分) (14:00～16:50) 裁判修習に向けて (民裁・刑裁)			
12月22日	金	1限目(50分) (9:50～10:40) 民弁講義1(民事保全・民事執行②)	2限目(80分) (10:50～12:10) 民弁講義2 (弁護士倫理・職責等)	3限目(140分) (13:10～15:30) 刑弁演習3(量刑事件)	4限目(70分) (15:50～17:00) 留意事項 事務局長	1限目(140分) (9:50～12:10) 刑弁演習3(量刑事件)		2限目(70分) (13:10～14:20) 留意事項 事務局長	3限目(50分) (14:40～15:30) 民弁講義1(民事保全・民事執行②)	4限目(80分) (15:40～17:00) 民弁講義2 (弁護士倫理・職責等)	

平成29年度（第71期）司法修習生

## A班 集合修習日程予定表

（注） 本表は予定であって、確定日程ではない。  
確定日程は、毎週最終登庁日に配布する。

月 日	曜	1限目 (9:50~11:40)	2限目 (12:40~14:30)	3限目 (14:45~16:35)	月 日	曜	1限目 (9:50~11:40)	2限目 (12:40~14:30)	3限目 (14:45~16:35)
27	月	民裁起案1講評			24	月	秋分の日		
28	火	刑裁問題研究	民共演習1(口頭弁論期日)		25	火	刑共問題研究 (情状・量刑)	刑裁起案2講評	
29	水	刑弁起案1講評		刑共演習(証拠開示等)	26	水	民共演習4 (判決・講評)	民弁起案2講評	
30	木	刑共演習(争点整理等)			<div>↑</div> <div>選択型実務修習</div> <div>↓</div>				
31	金	刑共演習(尋問)							
9 / 3	月	民裁起案2(即日)							
4	火	刑弁起案2(即日)							
5	水	検察起案1講評		刑裁起案1講評					
6	木	刑裁起案1講評	民共演習2(弁論準備手続期日)						
7	金	検察起案2(即日)							
10	月	弁共演習(弁護士倫理)	民弁起案1講評				考試		
11	火	刑裁起案2(即日)					考試		
12	水	民弁起案2(即日)					考試		
13	木	民共演習3準備	民裁演習(争点整理)				考試		
14	金	民裁演習(争点整理)		民共問題研究(和解)			考試		
17	月	敬老の日			<div>凡例</div> <div>民裁・・・民事裁判 刑裁・・・刑事裁判 民弁・・・民事弁護 刑弁・・・刑事弁護</div> <div>民共・・・民事共通 刑共・・・刑事共通 全共・・・全科共通 弁共・・・弁護共通 (即日)・・・即日起案 司研企二印)</div>				
18	火	民裁起案2講評							
19	水	民共演習3(交互尋問)							
20	木	刑弁問題研究	刑弁起案2講評						
21	金	検察問題研究 (被害者保護)	検察起案2講評						

平成29年度（第71期）司法修習生

## B班 集合修習日程予定表

(注) 本表は予定であって、確定日程ではない。  
確定日程は、毎週最終登庁日に配布する。

<div>平成29年度（第71期）司法修習生</div> <div>B班 集合修習日程予定表</div> <div>(注) 本表は予定であって、確定日程ではない。 確定日程は、毎週最終登庁日に配布する。</div>					月 日	曜	1限目 (9:50~11:40)	2限目 (12:40~14:30)	3限目 (14:45~16:35)	月 日	曜	1限目 (9:50~11:40)	2限目 (12:40~14:30)	3限目 (14:45~16:35)	
					15	月	民弁起案1（即日）			12	月	刑共問題研究 (情状・量刑)	検察起案2講評		
					16	火	民裁起案1講評			13	火	検察問題研究 (被害者保護)	刑裁起案2講評		
					17	水	民弁講義（契約）	民弁演習（法律相談）		14	水	民共演習4 (判決・講評)	民弁起案2講評		
					18	木	民共演習1（口頭弁論期日）		刑裁問題研究	15	木	自由研究日			
					19	金	民裁起案2（即日）								
					22	月	弁共演習（弁護士倫理）	刑弁起案1講評				考試			
					23	火	検察起案1講評		刑共演習（証拠開示等）			考試			
					24	水	刑共演習（争点整理等）					考試			
					25	木	刑共演習（尋問）					考試			
					26	金	刑弁起案2（即日）					考試			
					29	月	民共演習2（弁論準備手続期日）		刑裁起案1講評	<div>凡例</div> <div>民裁・・・民事裁判 刑裁・・・刑事裁判 民弁・・・民事弁護 刑弁・・・刑事弁護 (即日)・・・即日起案</div> <div>民共・・・民事共通 刑共・・・刑事共通 全共・・・全科共通 弁共・・・弁護共通 司研企二印)</div>					
30	火	刑裁起案1講評	民弁起案1講評												
31	水	検察起案2（即日）													
11 / 1	木	刑裁起案2（即日）													
2	金	民弁起案2（即日）													
5	月	民共演習3準備	民裁演習（争点整理）												
6	火	民裁演習（争点整理）		民共問題研究（和解）											
7	水	刑弁問題研究	刑弁起案2講評												
8	木	民裁起案2講評													
9	金	民共演習3（交互尋問）													
10 / 3	水	民裁講義		民弁問題研究1											
4	木	民弁問題研究2		全共特別講義											
5	金	民裁起案1（即日）													
8	月	体育の日													
9	火	検察起案1（即日）													
10	水	刑弁起案1（即日）													
11	木	民共演習1準備		民弁問題研究3											
12	金	刑裁起案1（即日）													

### 凡例

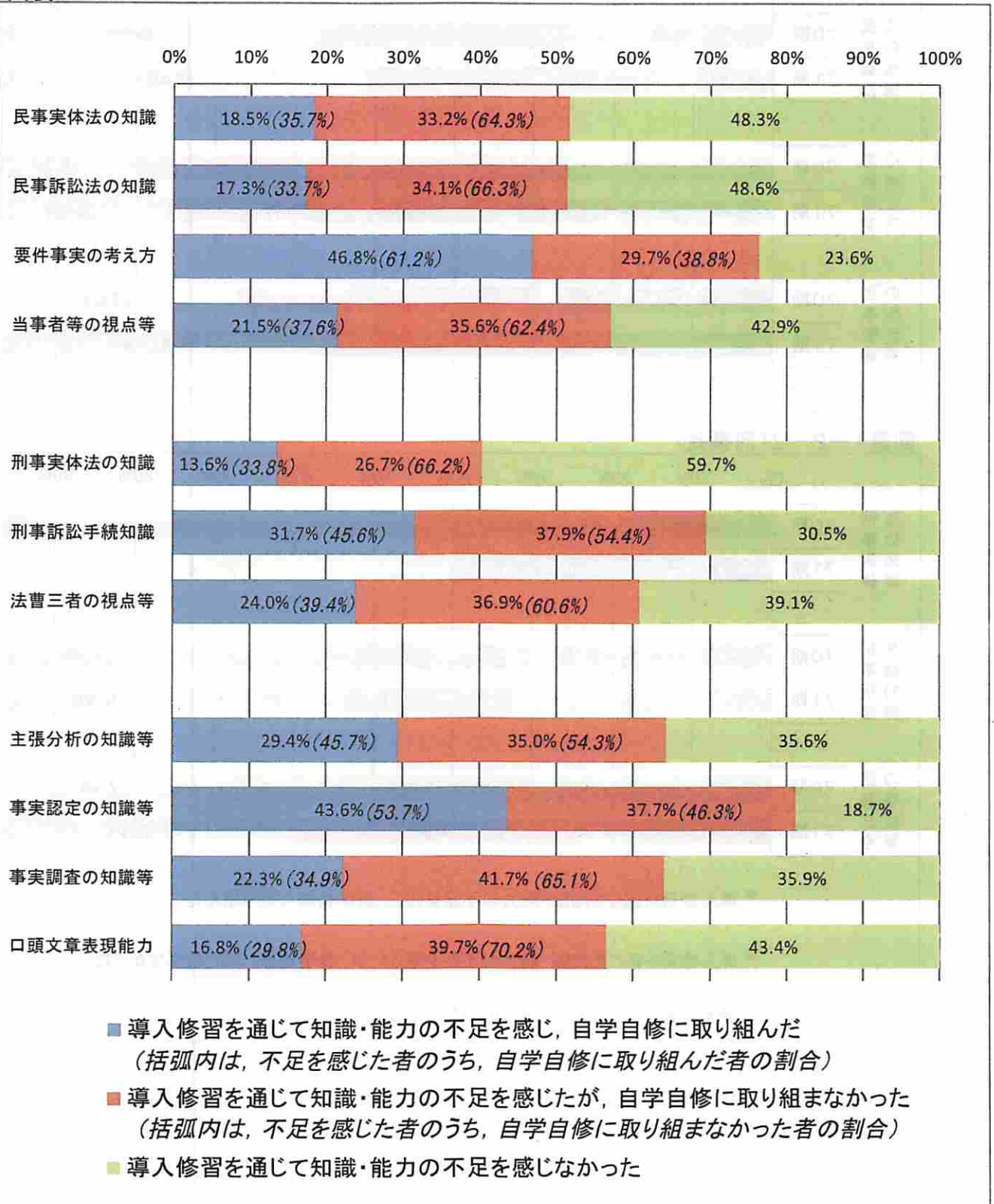
民裁・・・民事裁判	民共・・・民事共通
刑裁・・・刑事裁判	刑共・・・刑事共通
民弁・・・民事弁護	全共・・・全科共通
刑弁・・・刑事弁護	弁共・・・弁護共通
	(即日)・・・即日起家
	司研企二印)

## 導入修習に関するアンケート集計結果

○ 第71期の司法修習生に対し、導入修習終了時にアンケート調査を実施した。  
司法修習生1516人中1490人が回答(回答率98.28%)

○ 導入修習を通じて知識・能力の不足を感じた者と、導入修習中に自学自修に取り組んだ者の割合

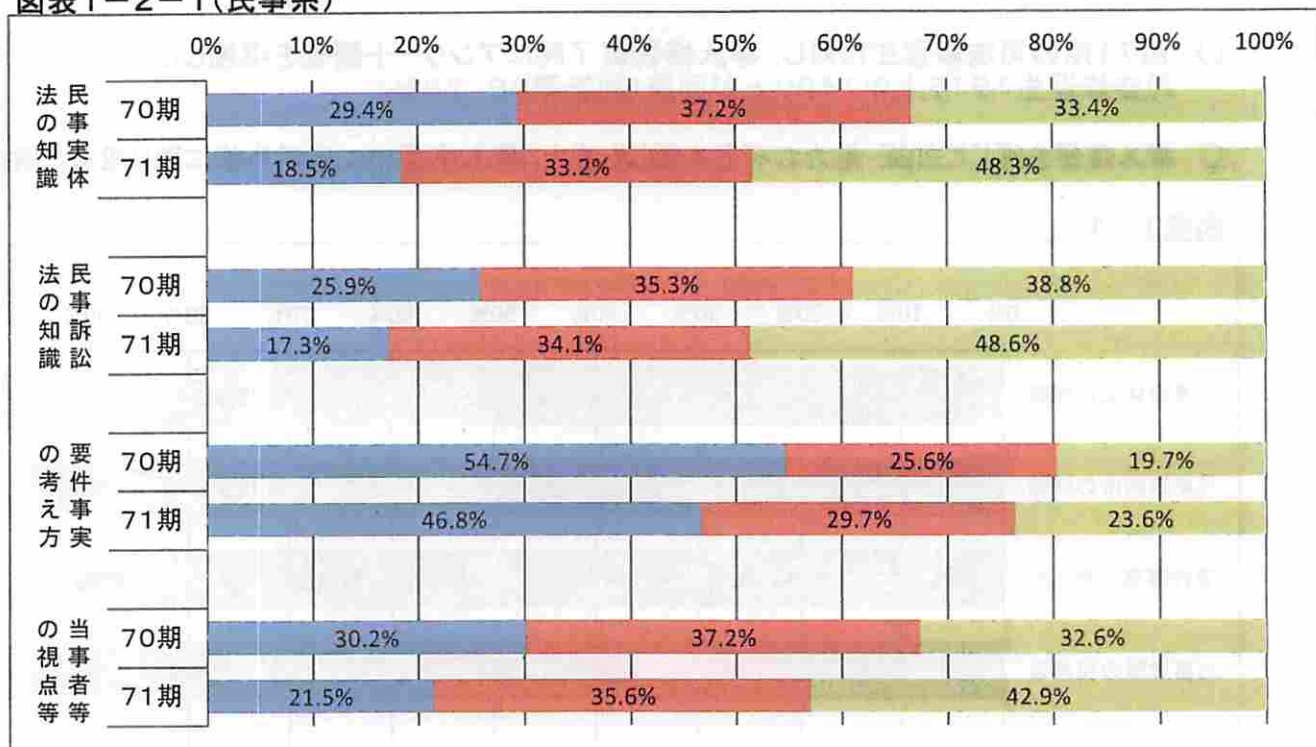
図表1-1



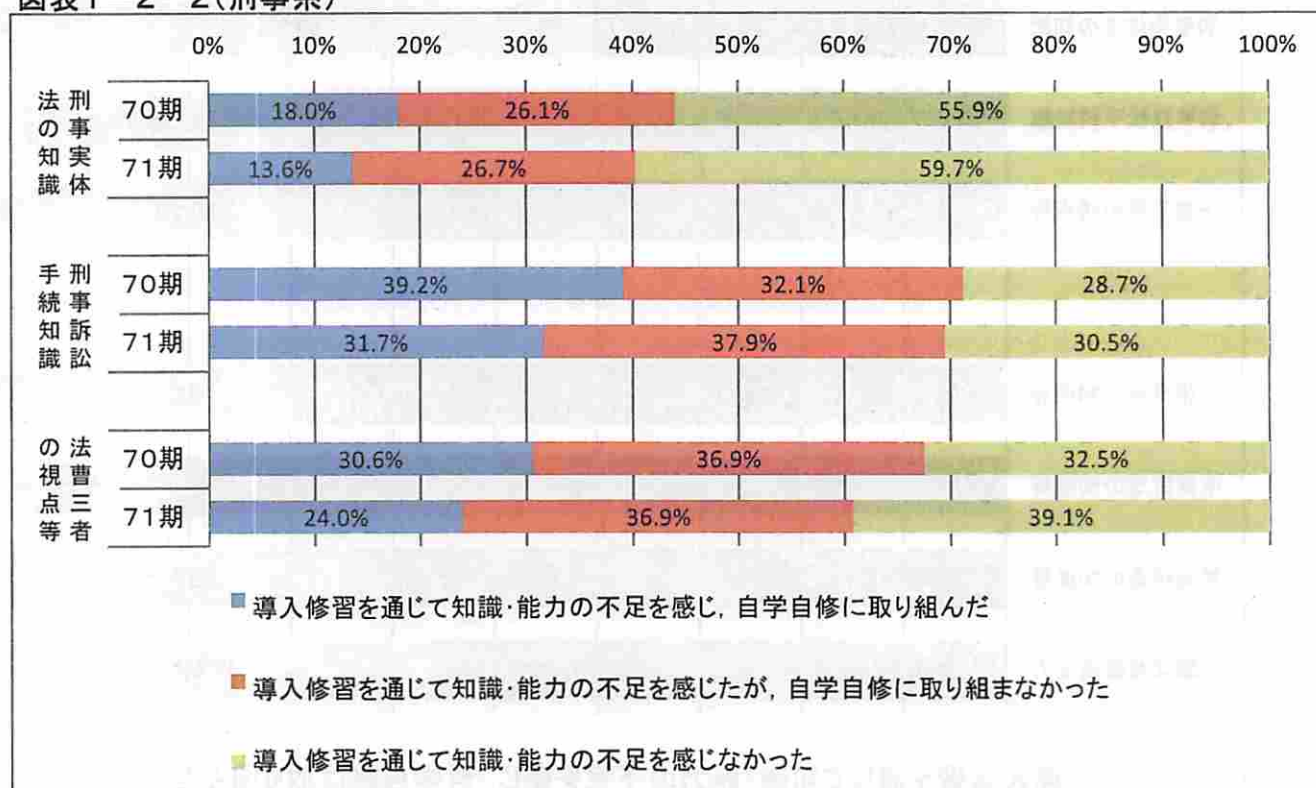


○ 70期との比較

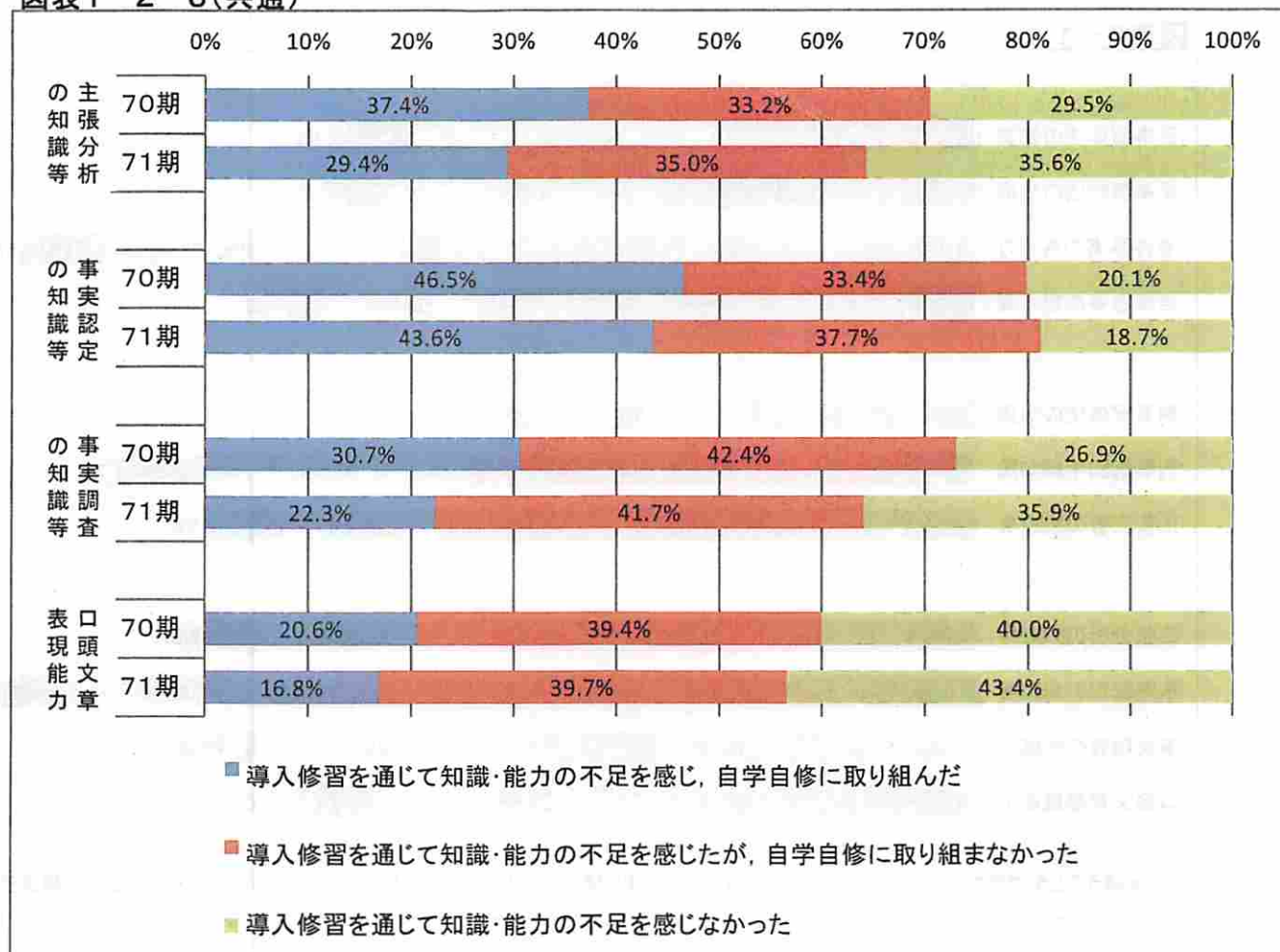
図表1-2-1(民事系)



図表1-2-2(刑事系)

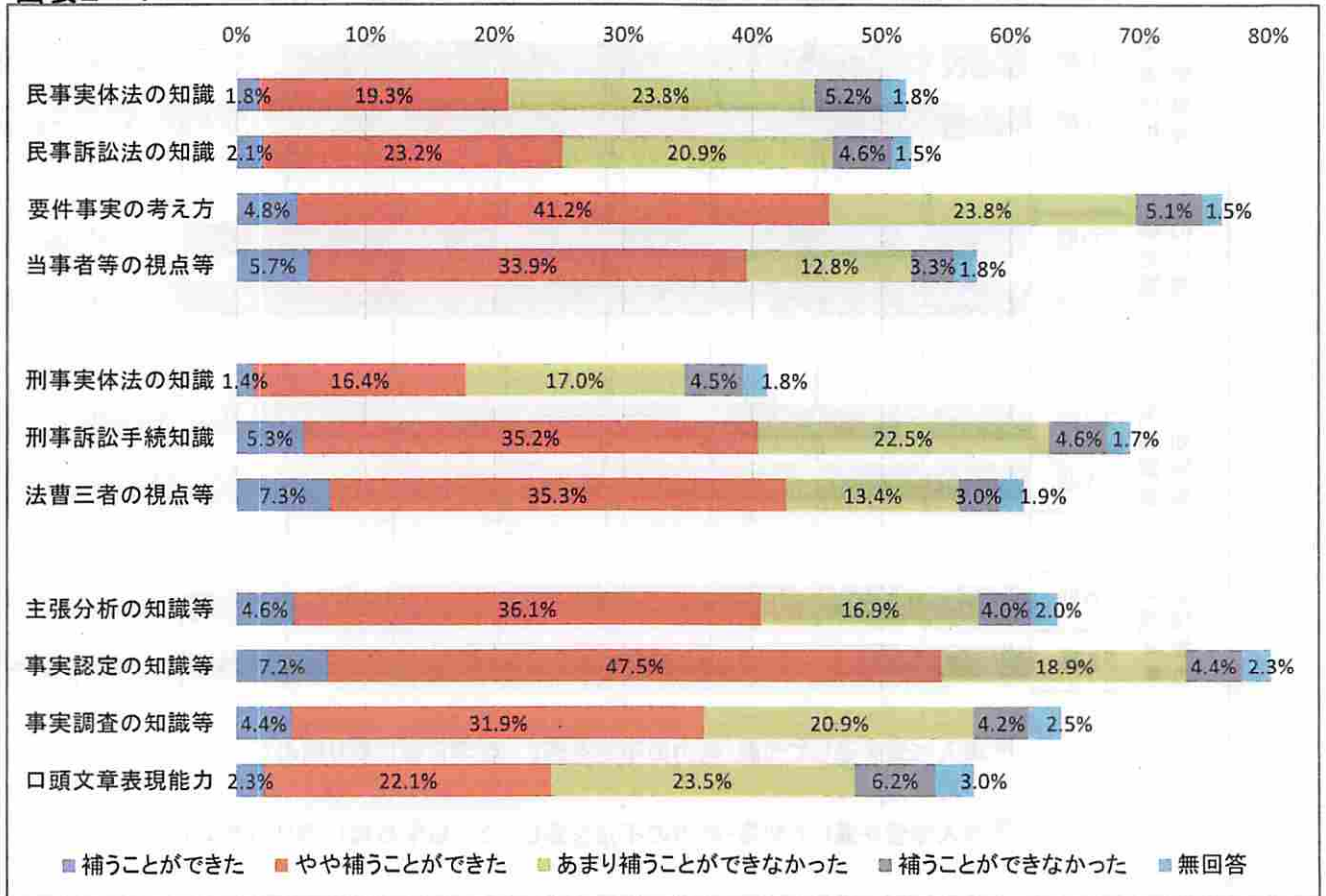


図表1-2-3(共通)



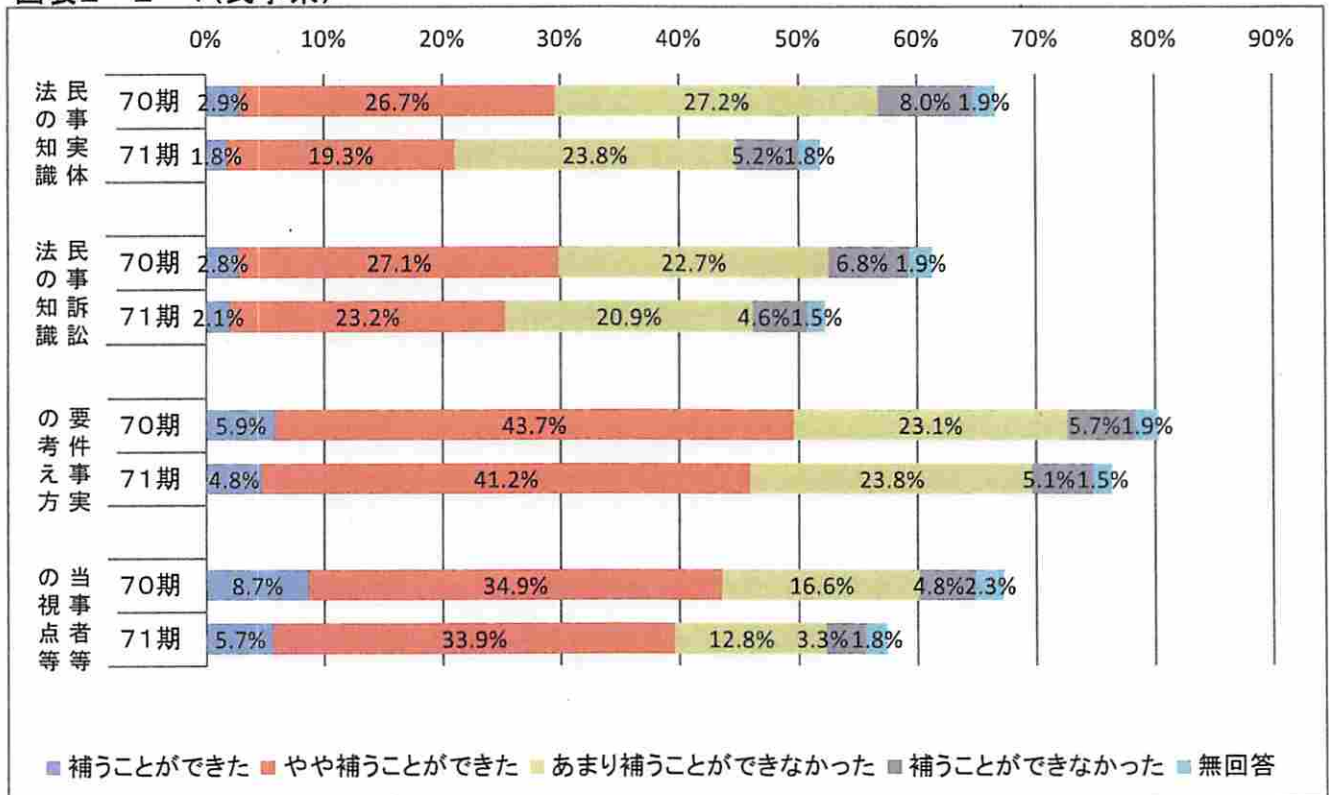
○ 導入修習を通じて不足していた知識・能力をどの程度補うことができたか(母数は回答者全員)

図表2-1



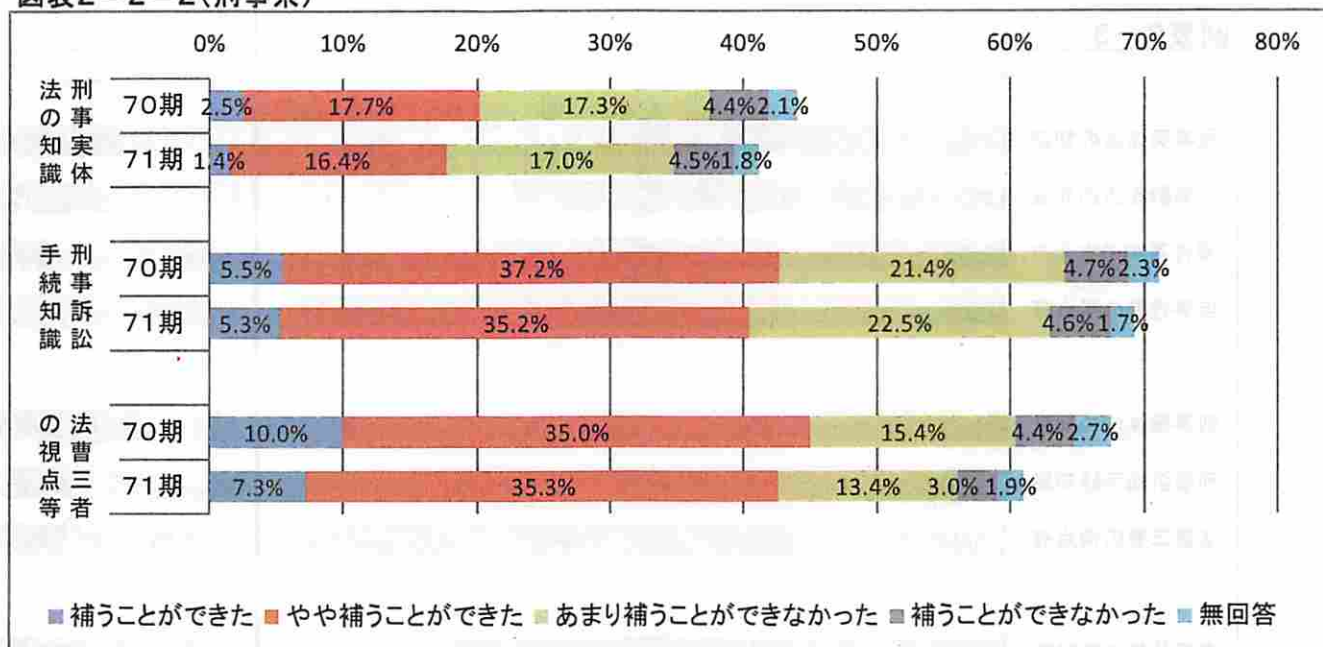
○ 70期との比較(母数は回答者全員)

図表2-2-1(民事系)

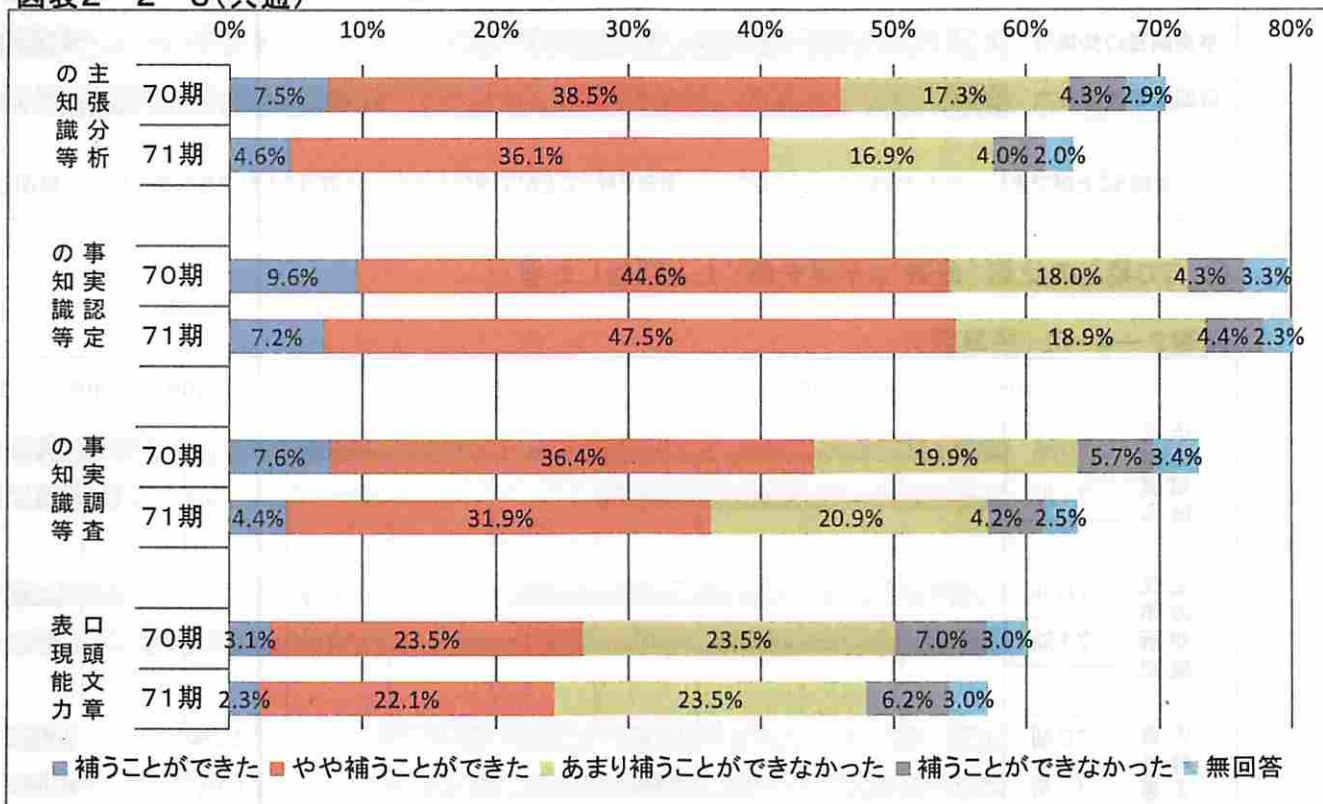




図表2-2-2(刑事系)



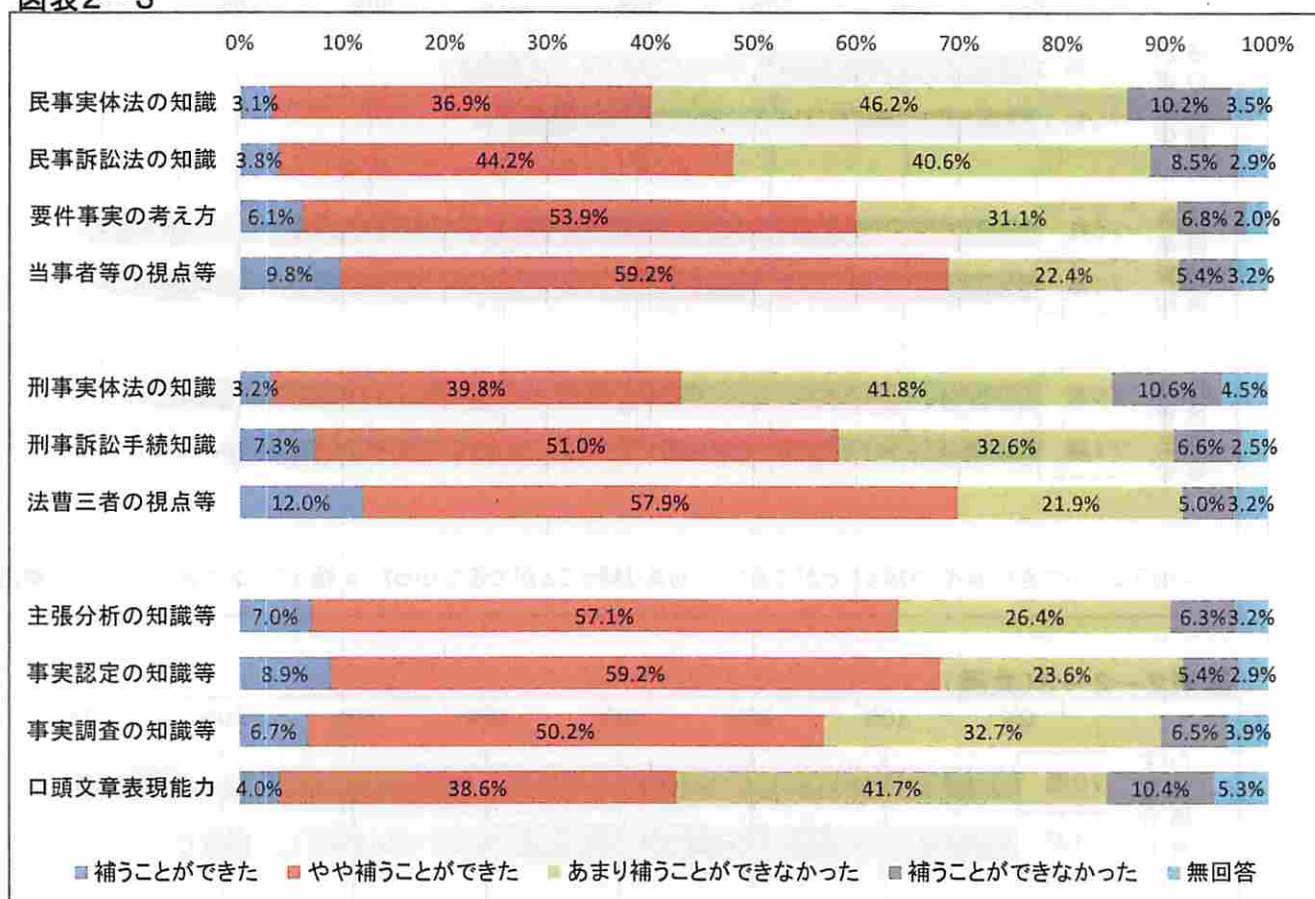
図表2-2-3(共通)





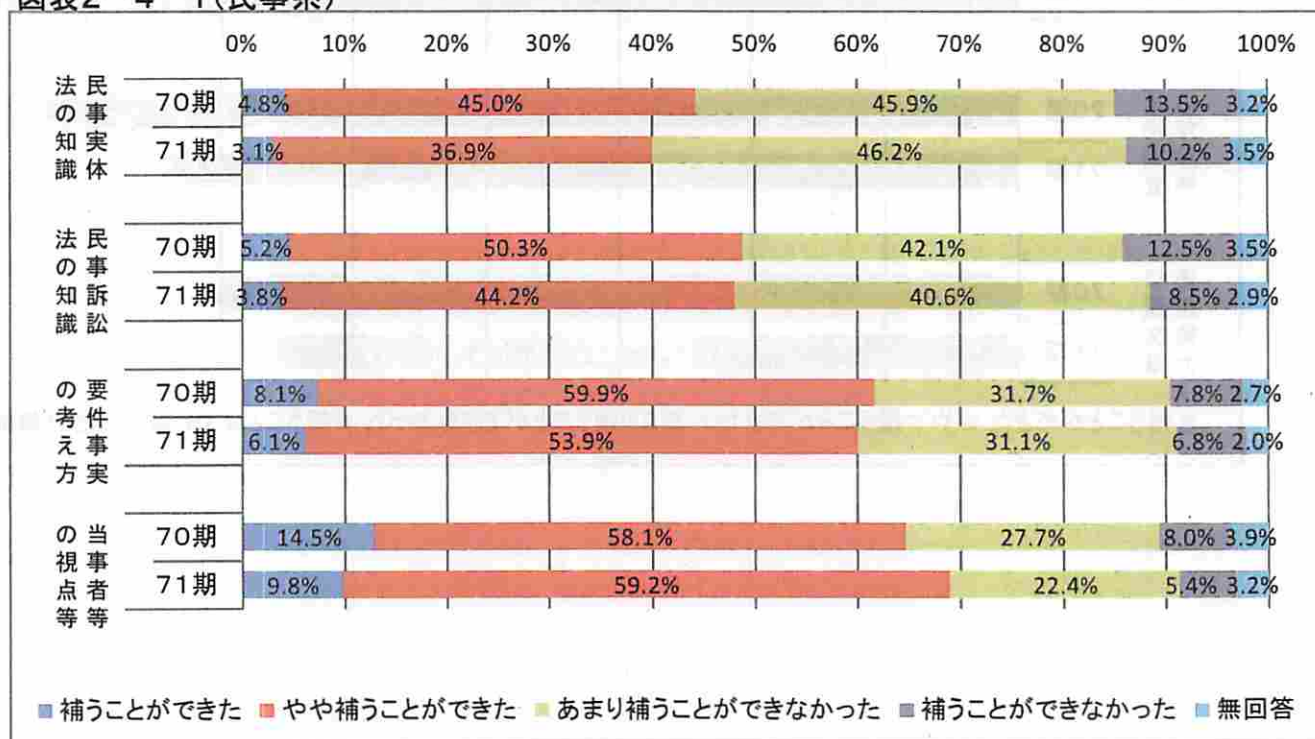
○ 導入修習を通じて不足していた知識・能力をどの程度補うことができたか(母数は不足を感じたと回答した者)

図表2-3

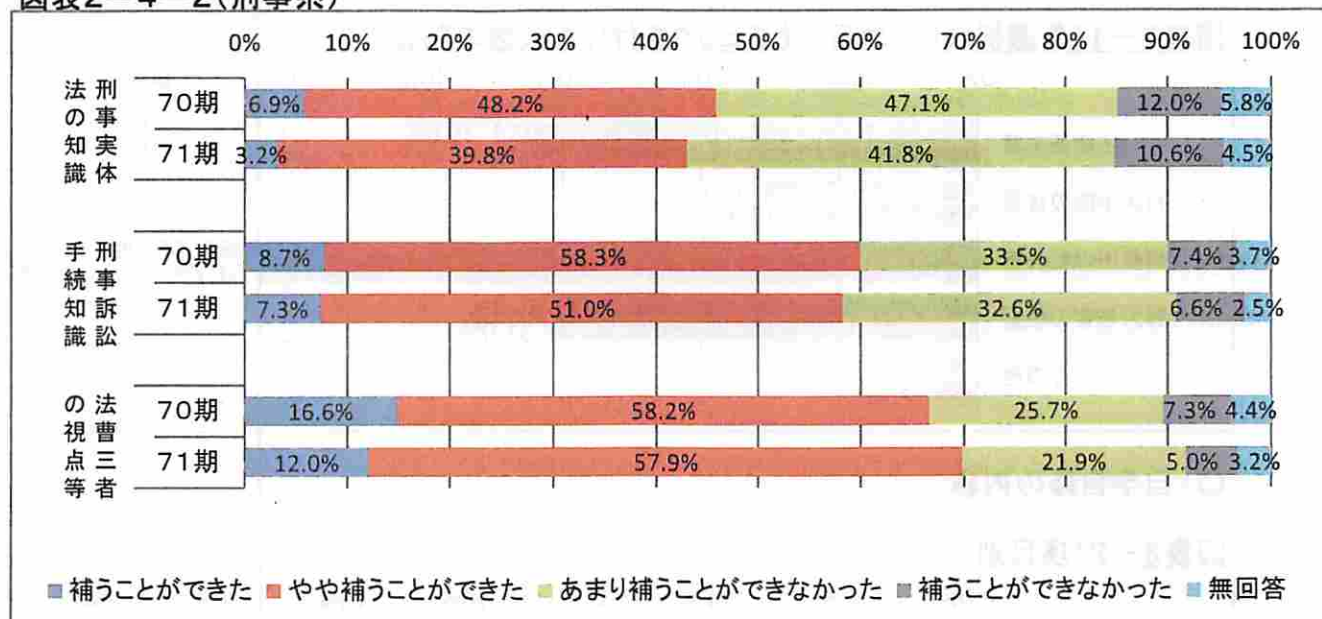


○ 70期との比較(母数は不足を感じたと回答した者)

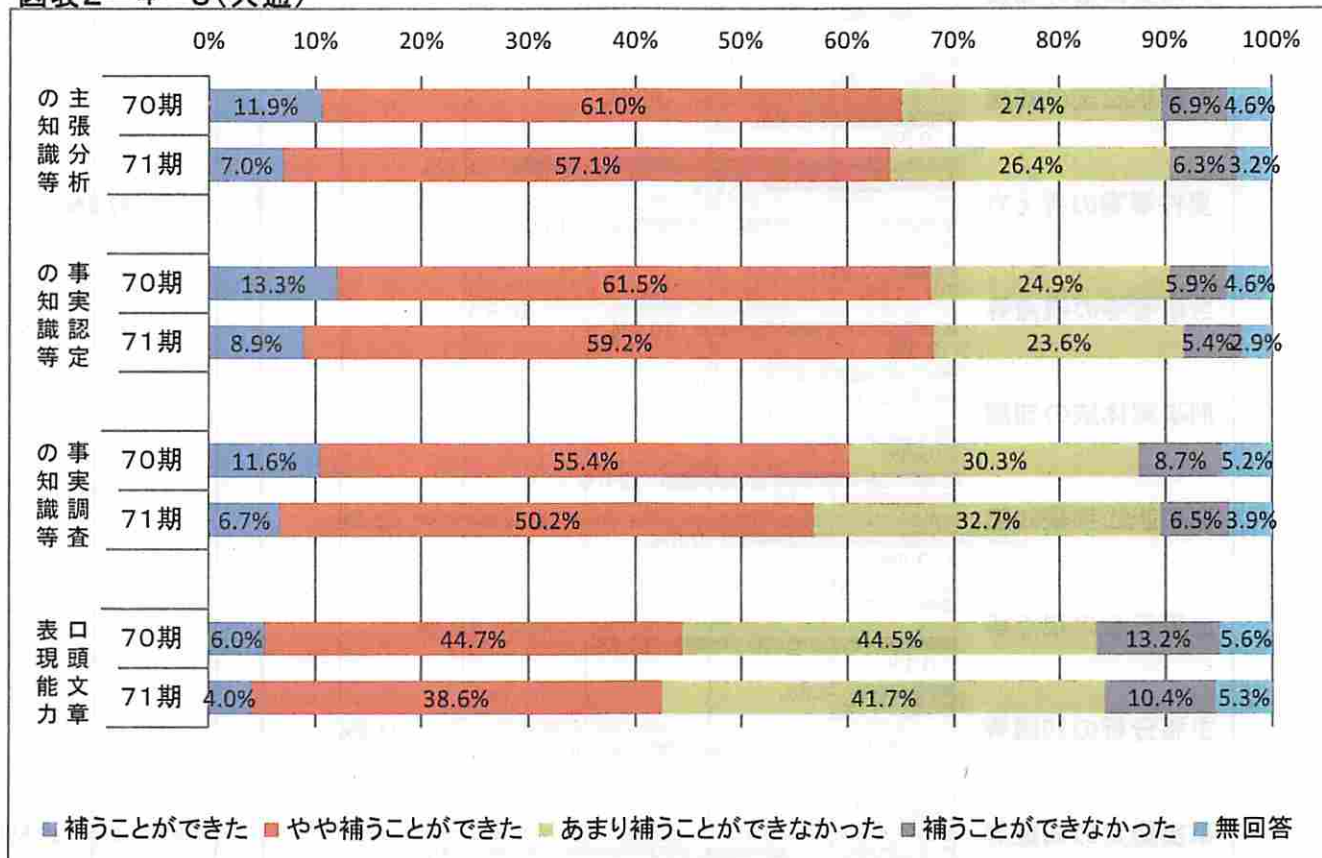
図表2-4-1(民事系)



図表2-4-2(刑事系)

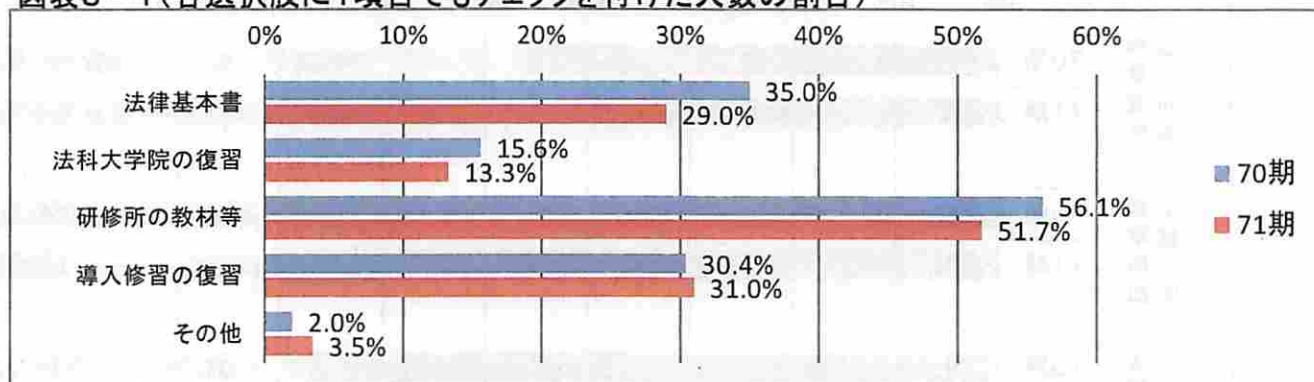


図表2-4-3(共通)



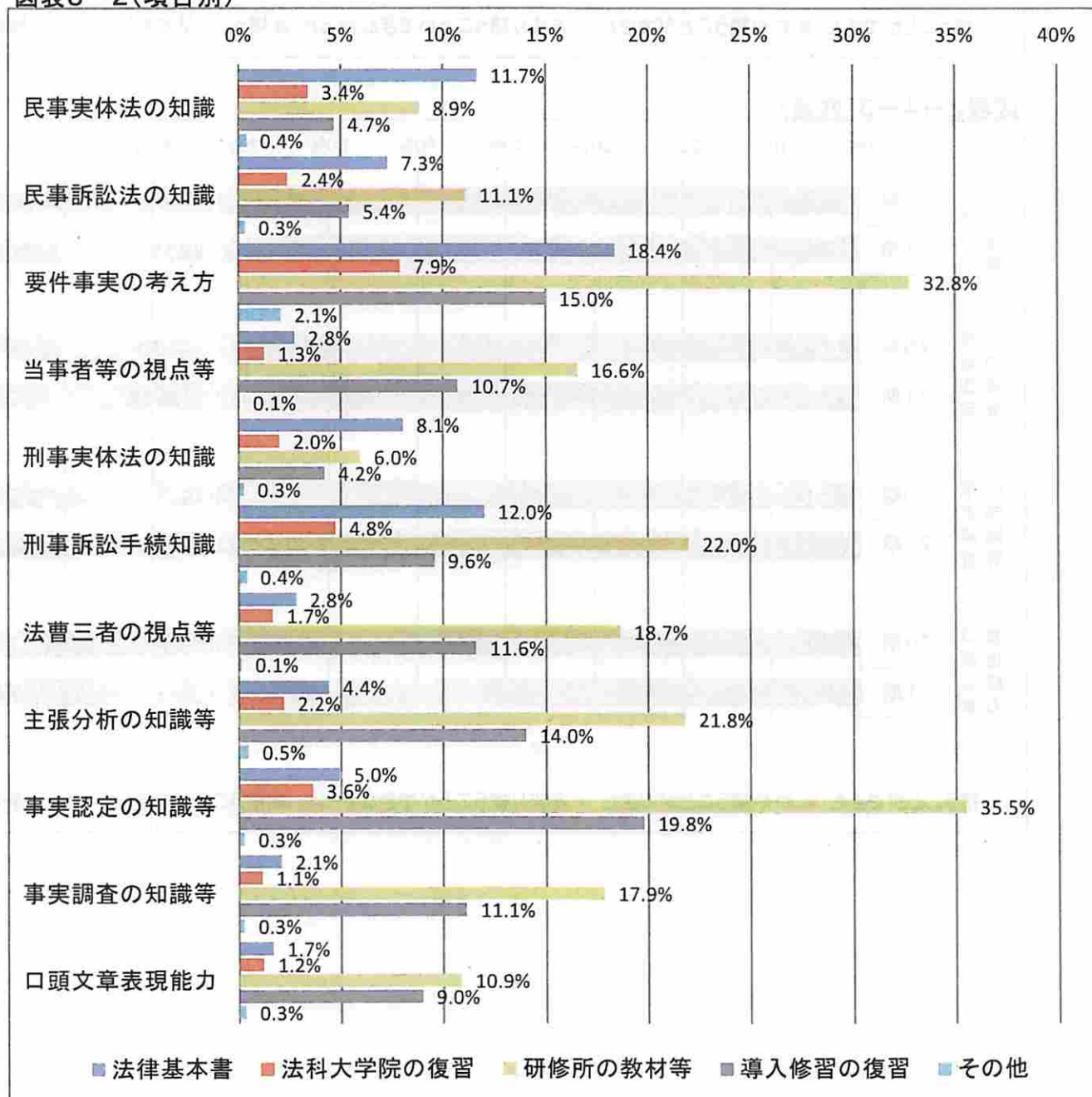
## ○ 自学自修の内容

図表3-1(各選択肢に1項目でもチェックを付けた人数の割合)



## ○ 自学自修の内容

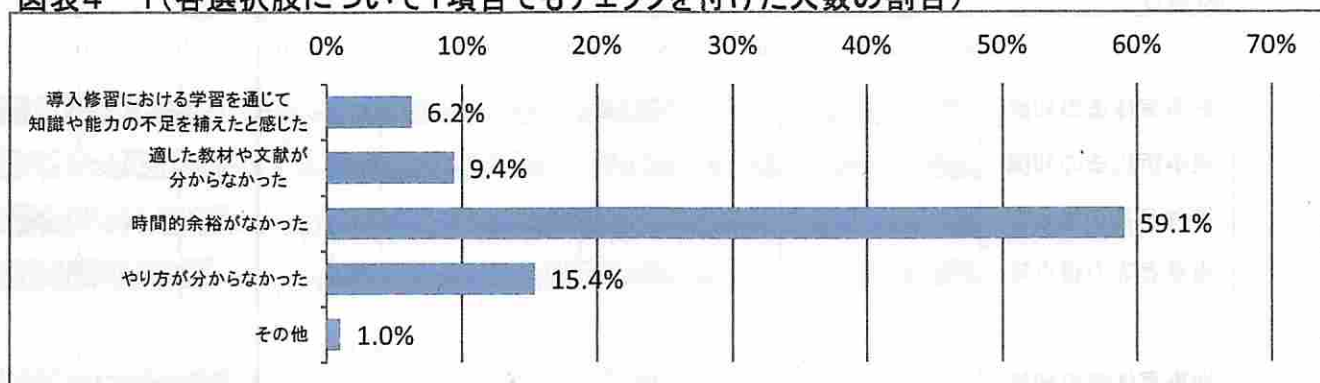
図表3-2(項目別)





○ 自学自修に取り組まなかった理由

図表4-1(各選択肢について1項目でもチェックを付けた人数の割合)



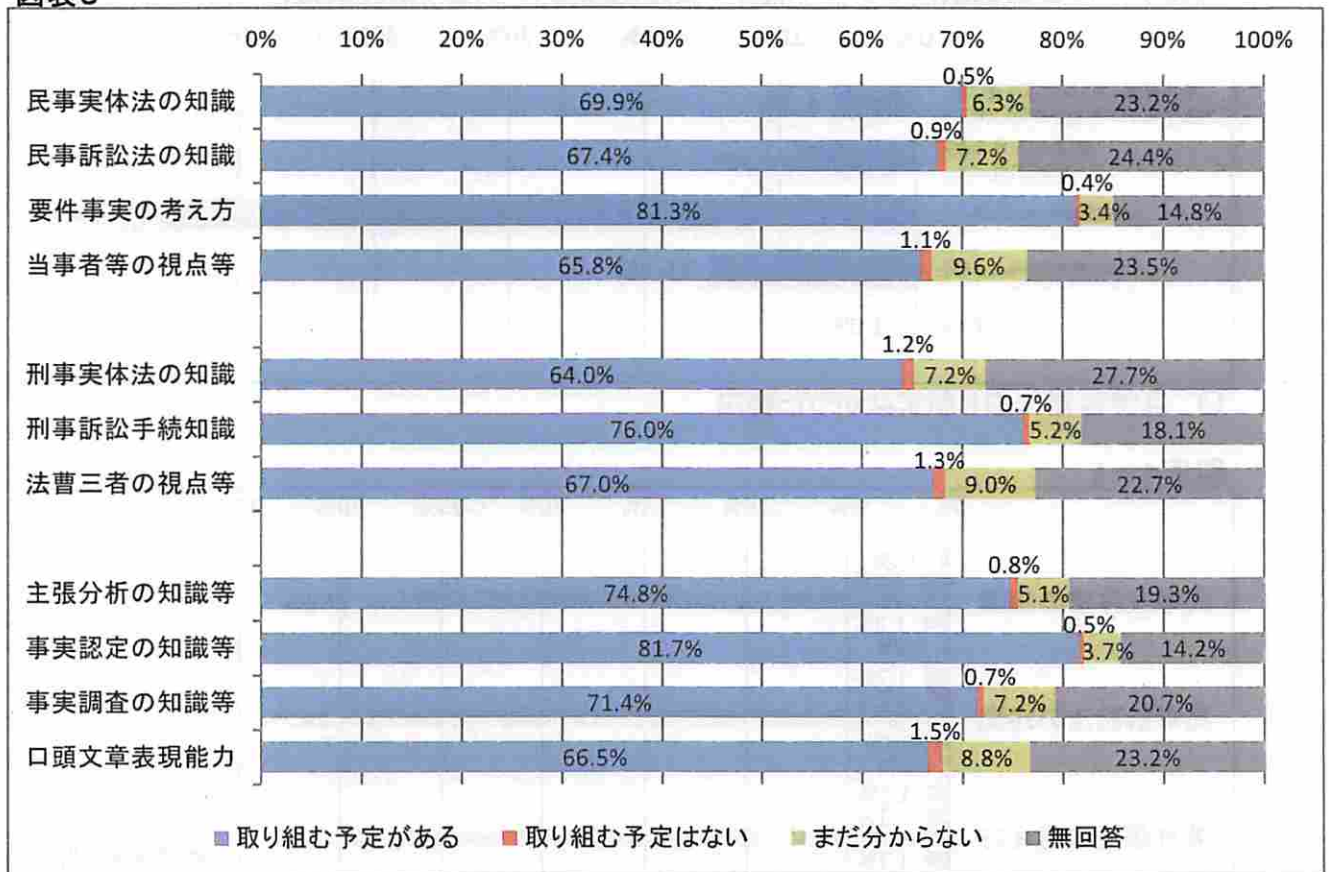
○ 自学自修に取り組まなかった理由

図表4-2



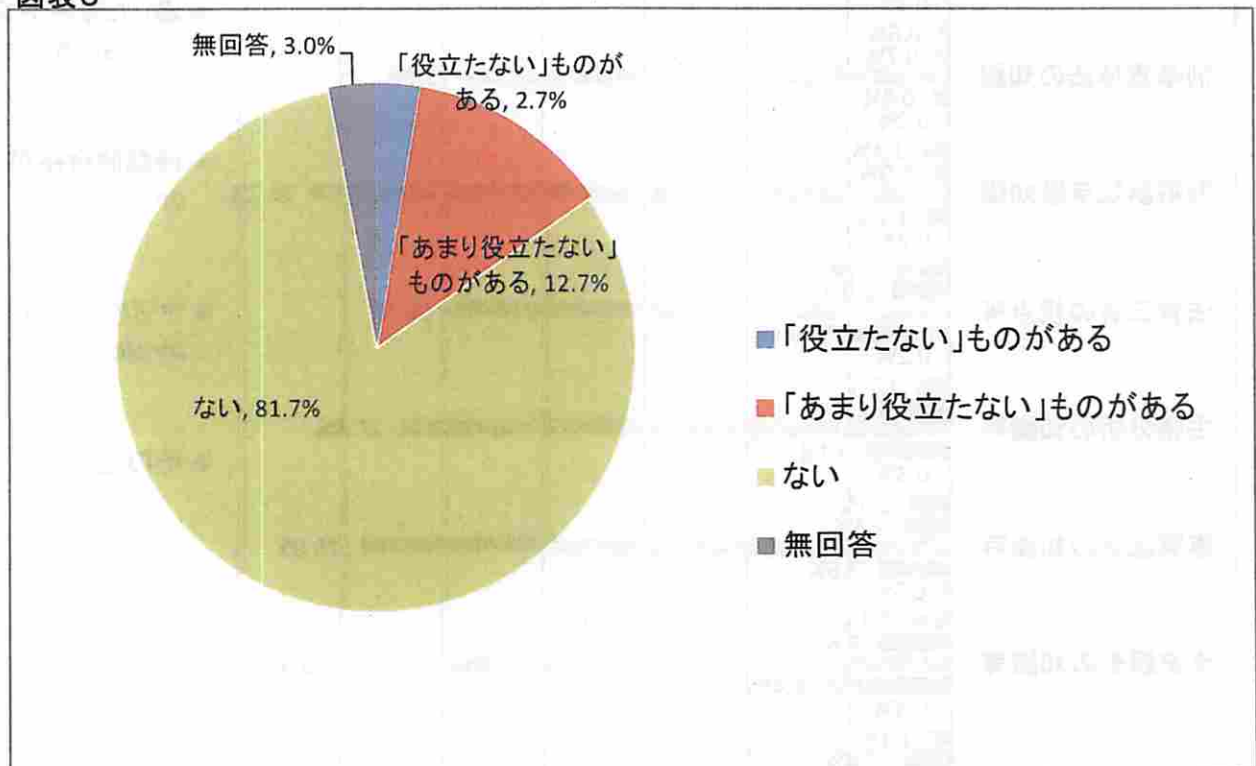
○ 実務修習中に自学自修に取り組む予定はあるか

図表5



○ 導入修習のカリキュラムの中に「役立たない」ものがあると答えた者の割合

図表6

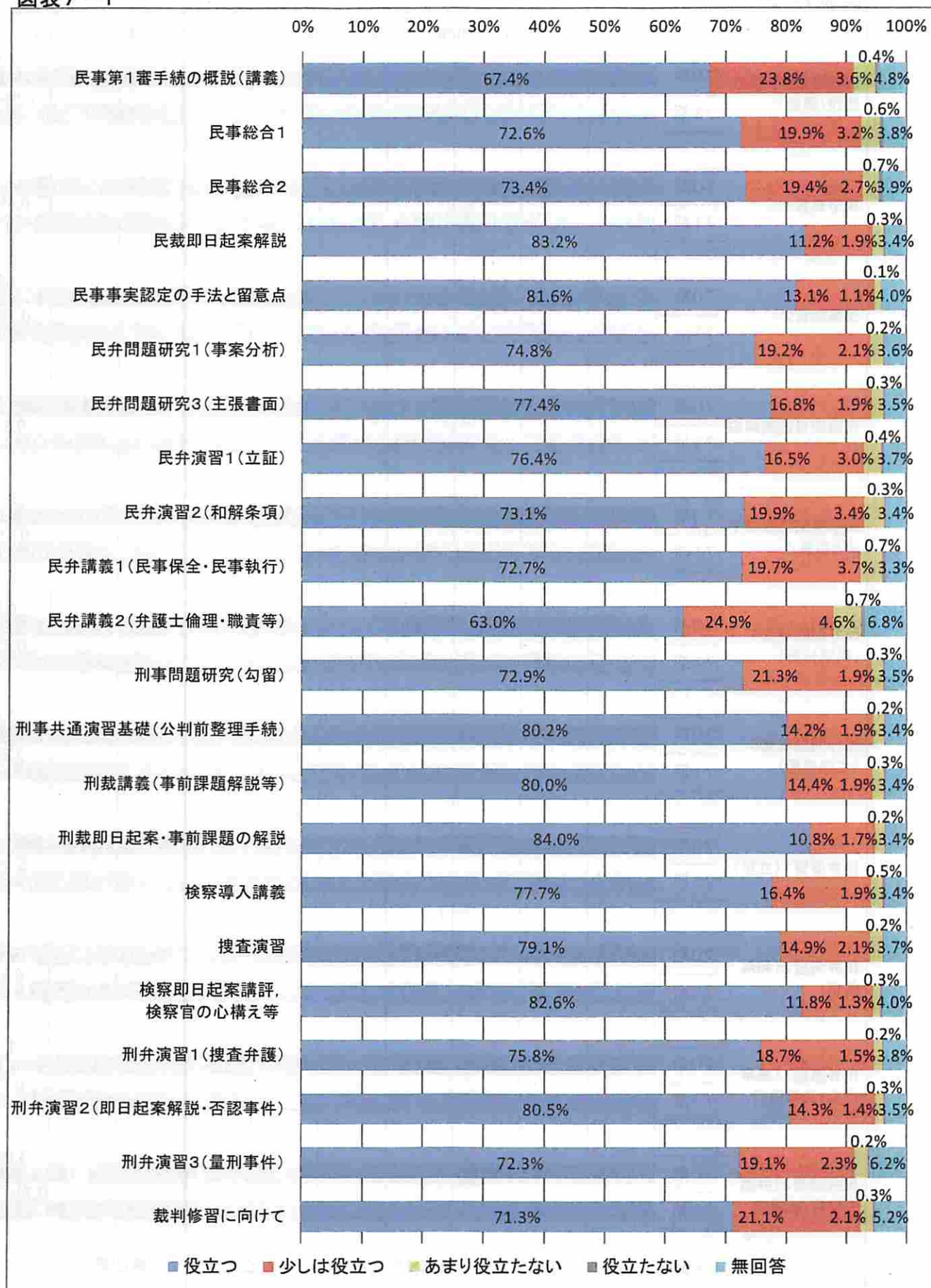


※『「役立たない」ものがある』は、一つでも「役立たない」を選択した者。

※『「あまり役立たない」ものがある』は、一つでも「あまり役立たない」を選択した者のうち、「役立たない」を選択した者を除く。

○ 導入修習の各カリキュラムはどの程度役立つと思うか

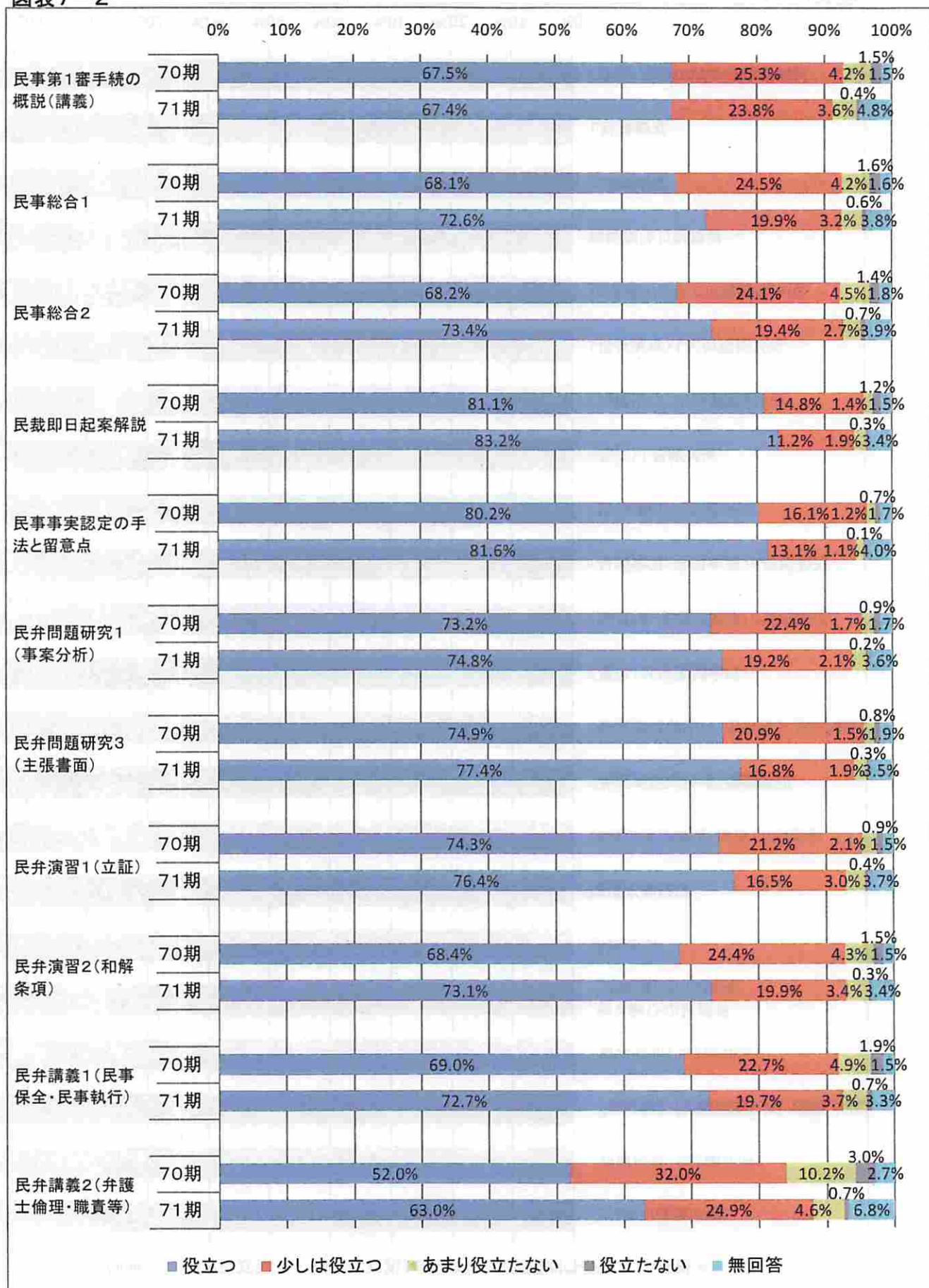
図表7-1



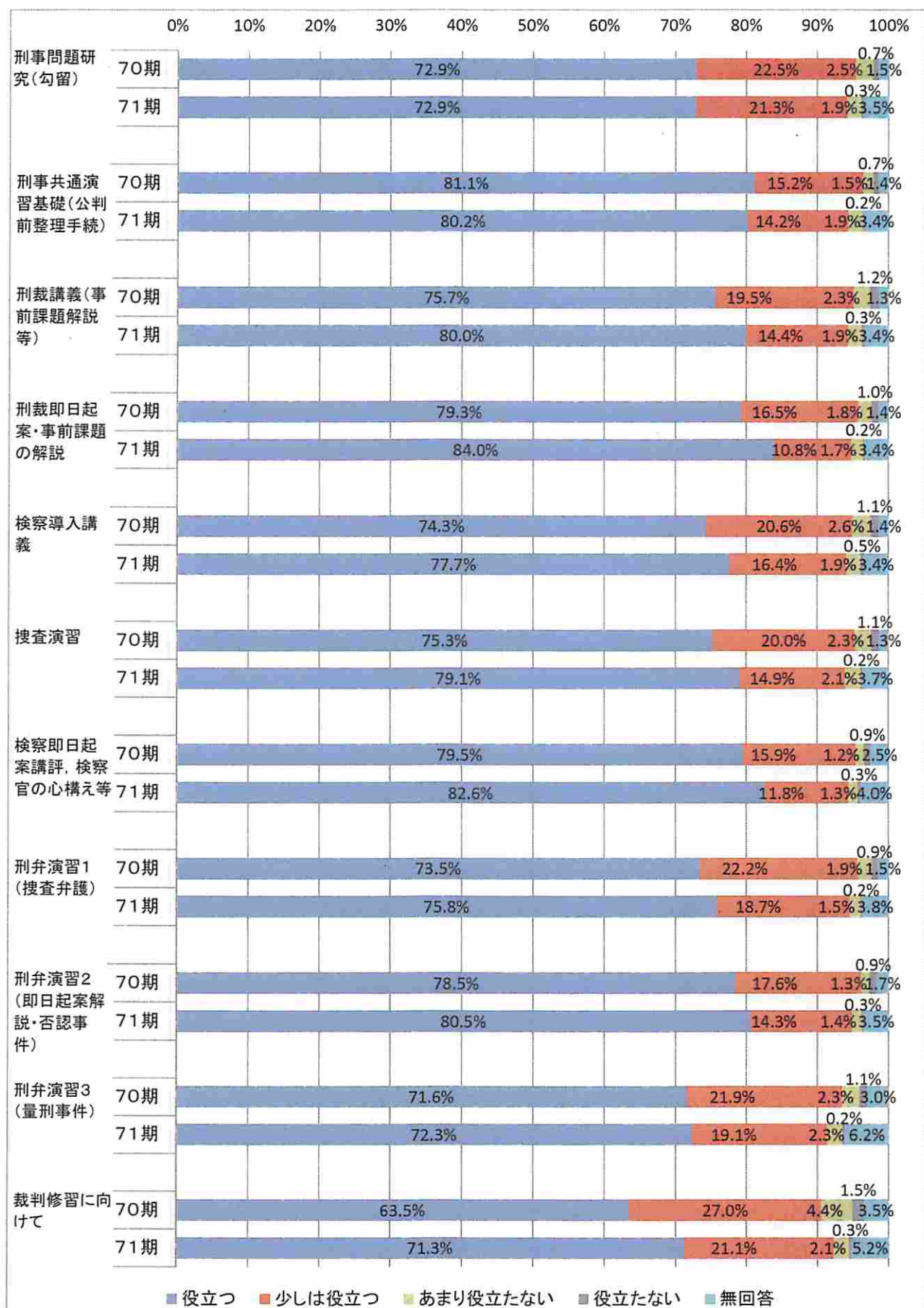


# ○ 70期との比較

図表7-2



※「民弁演習2(和解条項)」は70期では「民弁演習2(契約)」



「裁判修習に向けて」は70期では「裁判官の役割・職務等」





### 3 検察

(1) 検察について、課題を感じた知識・能力の項目にチェックを入れてください(複数選択可)。

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 刑事実体法の知識               | <input type="checkbox"/> 刑事訴訟手続の知識        |
| <input type="checkbox"/> 法曹三者の立場の違いに基づく視点・姿勢の理解 |   |
| <input type="checkbox"/> 主張分析に関する基礎的知識・理解       | <input type="checkbox"/> 事実認定に関する基礎的知識・理解 |
| <input type="checkbox"/> 事実調査に関する基礎的知識・理解       | <input type="checkbox"/> 口頭・文章表現能力        |
| <input type="checkbox"/> その他( )                 |   |

(2) どのような場面・理由で課題があると感じましたか(主な項目について記載してください。)

(3) 課題を感じた事項について、実務修習期間中、どのような方法で学修したいと考えていますか(前同)。

### 4 民事弁護

(1) 民事弁護について、課題を感じた知識・能力の項目にチェックを入れてください(複数選択可)。

- |  |   |                                   |
|--|---|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 民事実体法の知識                  | <input type="checkbox"/> 民事訴訟法の知識         | <input type="checkbox"/> 要件事実の考え方 |
| <input type="checkbox"/> 判断者・当事者の立場の違いに基づく視点・姿勢の理解 |   |                                   |
| <input type="checkbox"/> 主張分析に関する基礎的知識・理解          | <input type="checkbox"/> 事実認定に関する基礎的知識・理解 |                                   |
| <input type="checkbox"/> 事実調査に関する基礎的知識・理解          | <input type="checkbox"/> 口頭・文章表現能力        |                                   |
| <input type="checkbox"/> その他( )                    |   |                                   |

(2) どのような場面・理由で課題があると感じましたか(主な項目について記載してください。)

(3) 課題を感じた事項について、実務修習期間中、どのような方法で学修したいと考えていますか(前同)。

### 5 刑事弁護

(1) 刑事弁護について、課題を感じた知識・能力の項目にチェックを入れてください(複数選択可)。

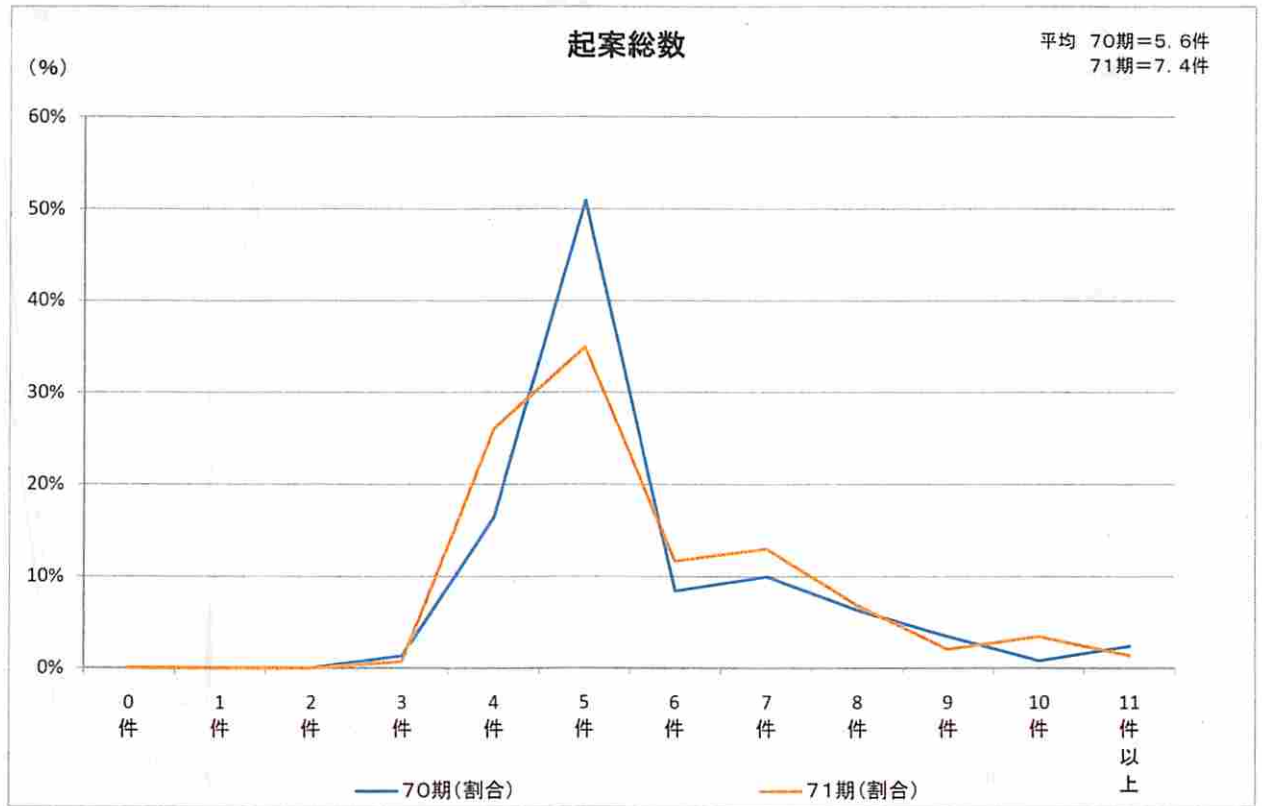
- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 刑事実体法の知識               | <input type="checkbox"/> 刑事訴訟手続の知識        |
| <input type="checkbox"/> 法曹三者の立場の違いに基づく視点・姿勢の理解 |   |
| <input type="checkbox"/> 主張分析に関する基礎的知識・理解       | <input type="checkbox"/> 事実認定に関する基礎的知識・理解 |
| <input type="checkbox"/> 事実調査に関する基礎的知識・理解       | <input type="checkbox"/> 口頭・文章表現能力        |
| <input type="checkbox"/> その他( )                 |   |

(2) どのような場面・理由で課題があると感じましたか(主な項目について記載してください。)

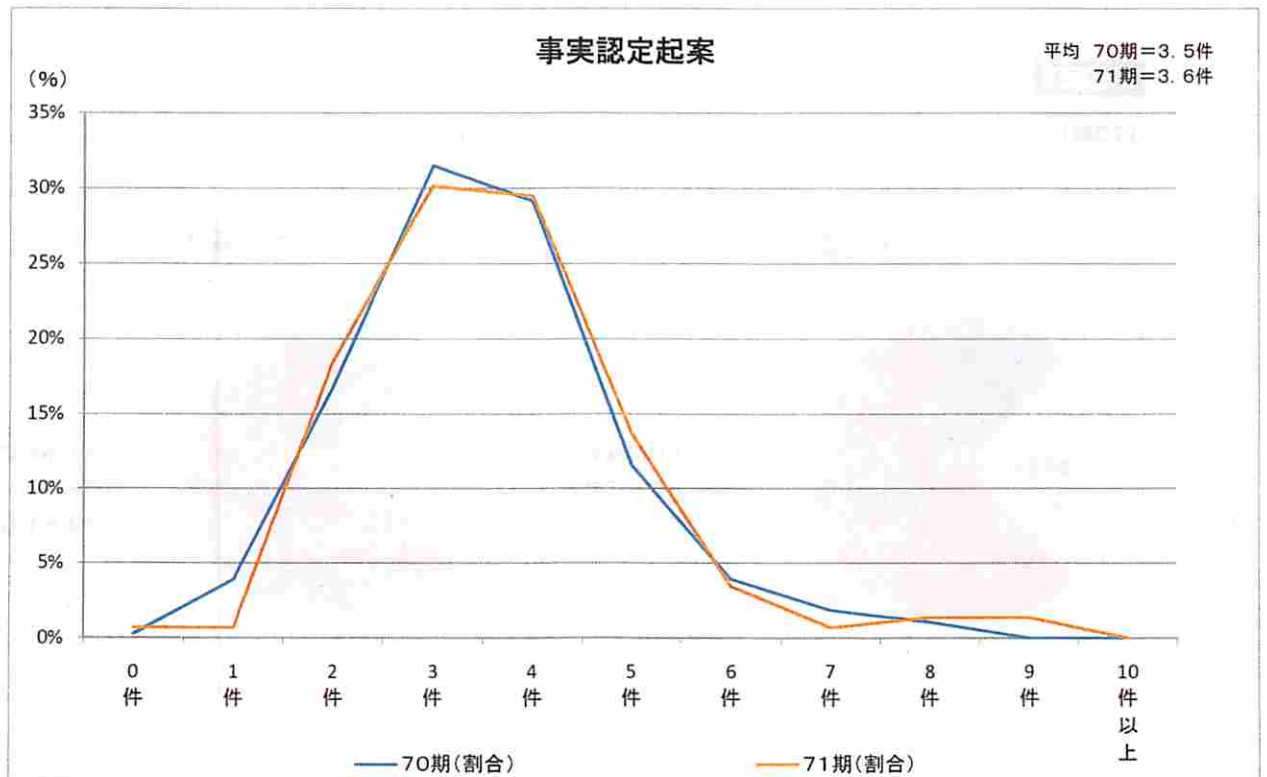
(3) 課題を感じた事項について、実務修習期間中、どのような方法で学修したいと考えていますか(前同)。

修習結果簿(第1クール:民事裁判修習)集計結果

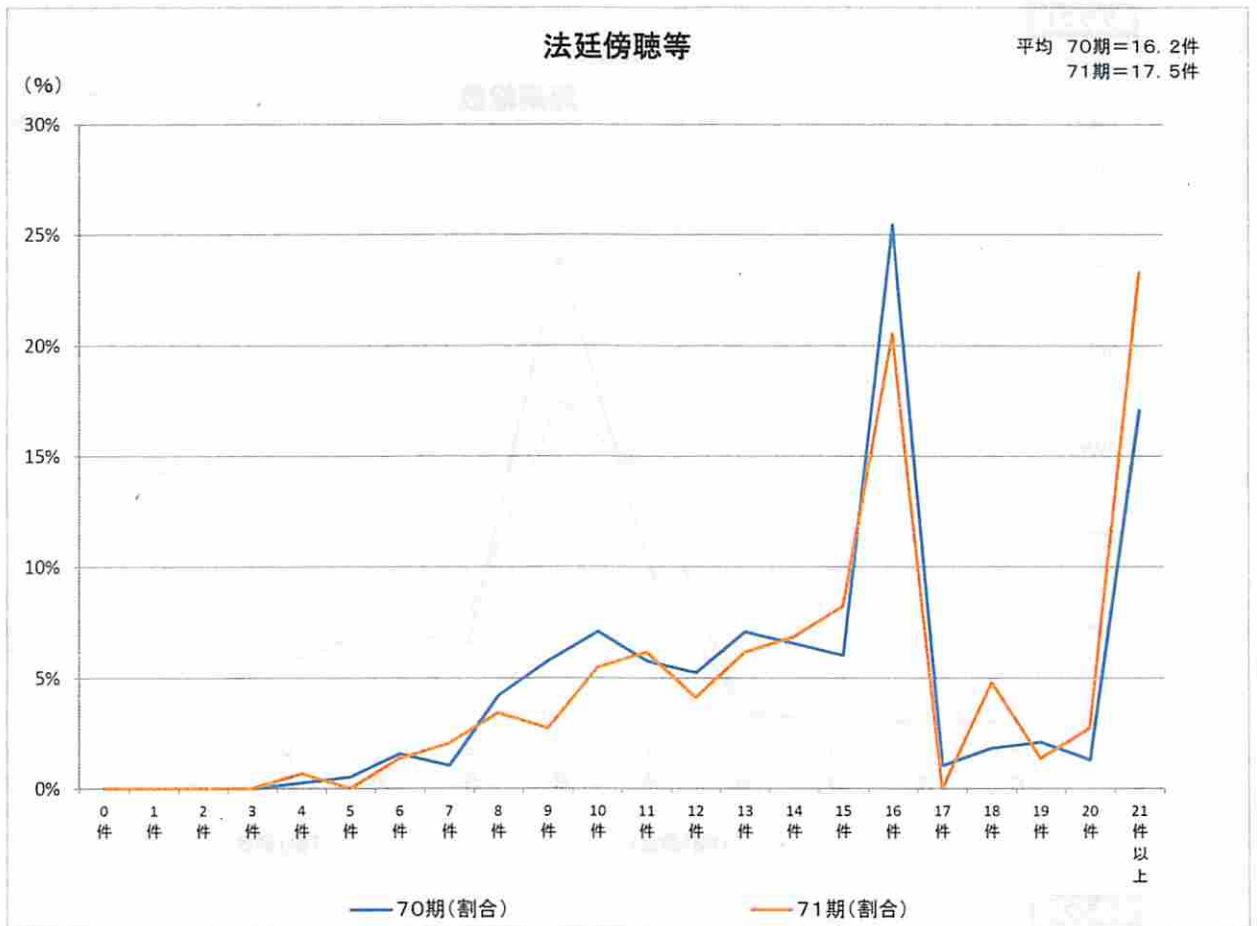
グラフ1



グラフ2

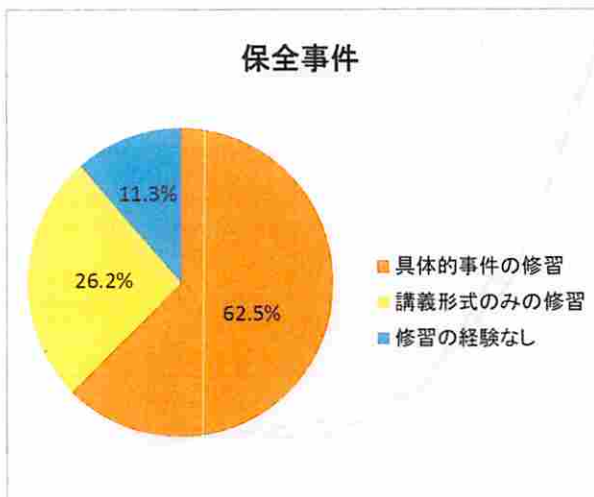


グラフ3

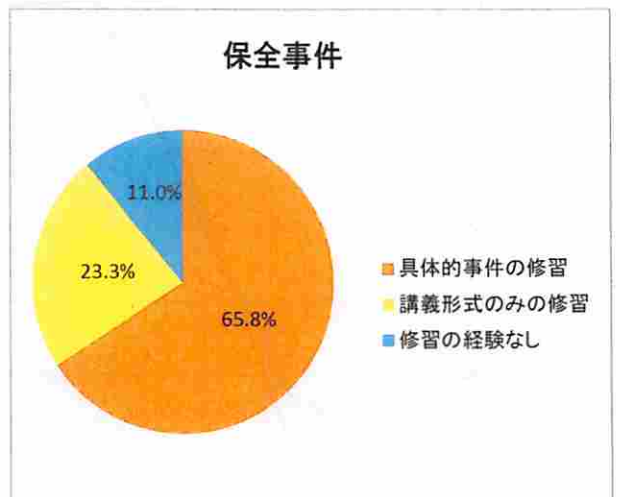


グラフ4

【70期】

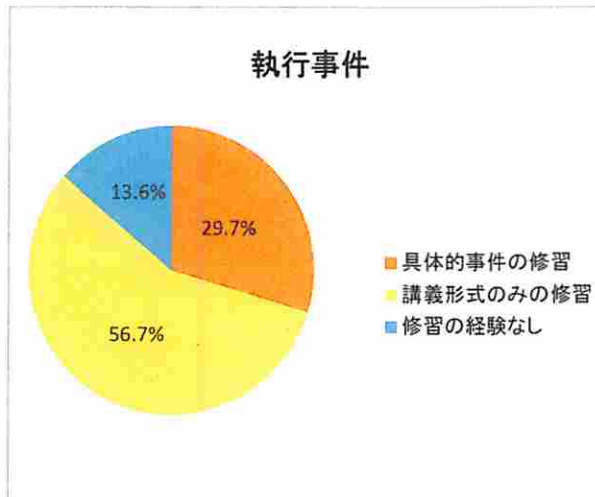


【71期】

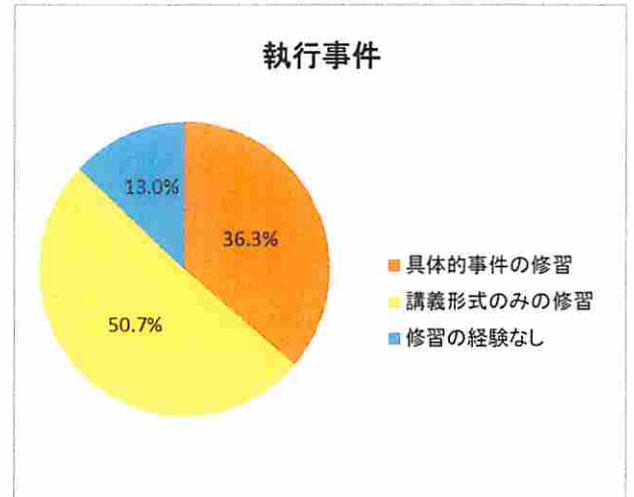


グラフ5

【70期】

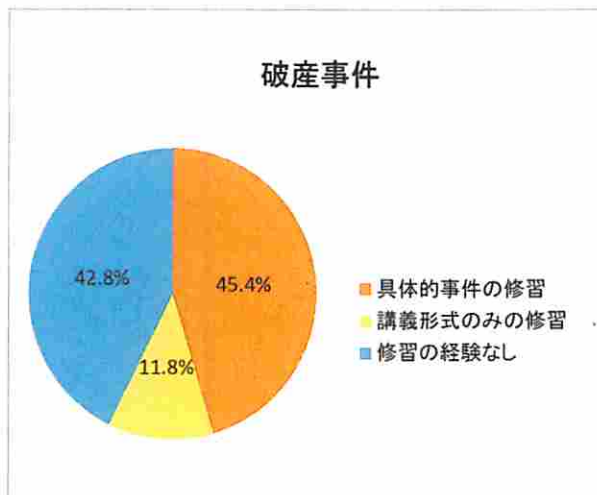


【71期】

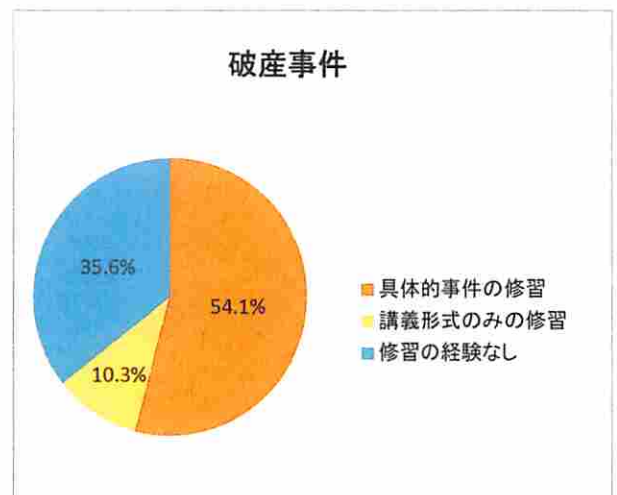


グラフ6

【70期】

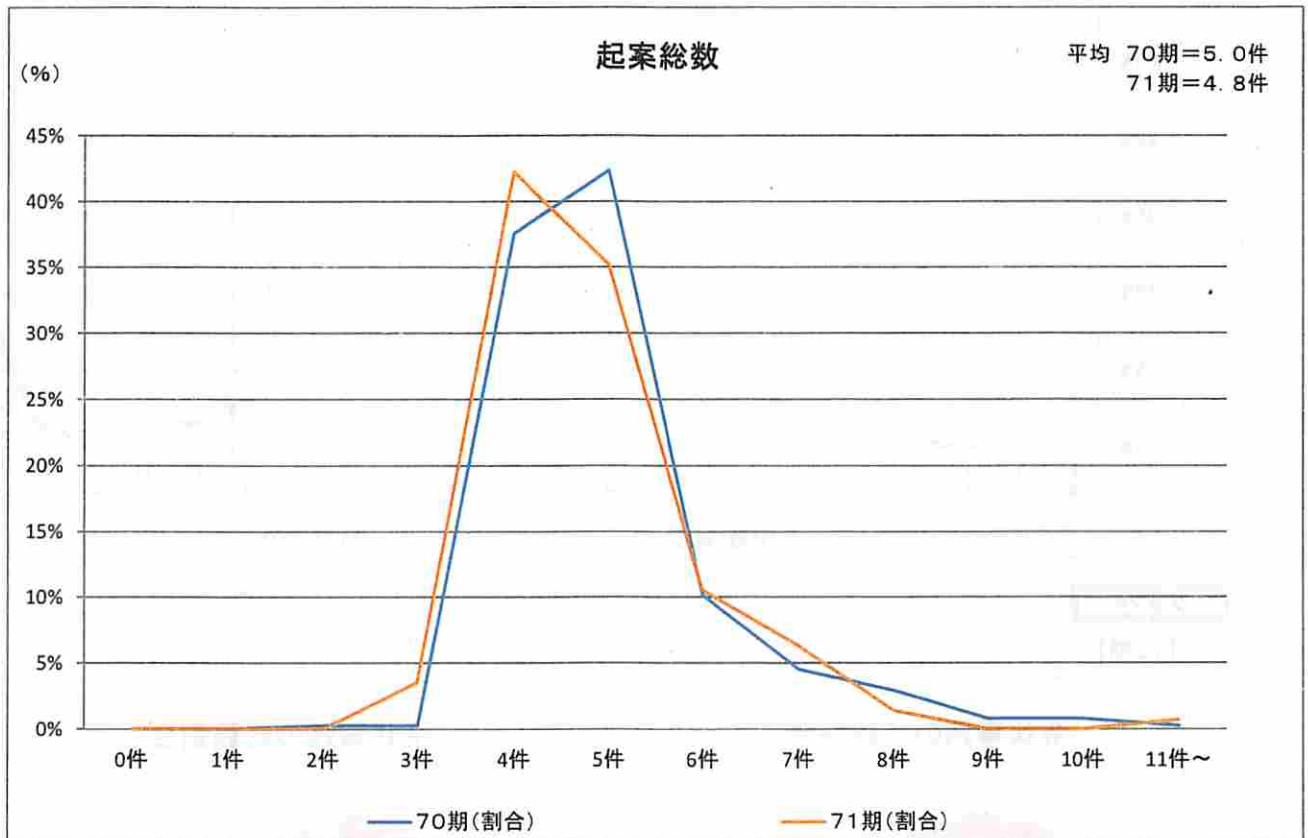


【71期】

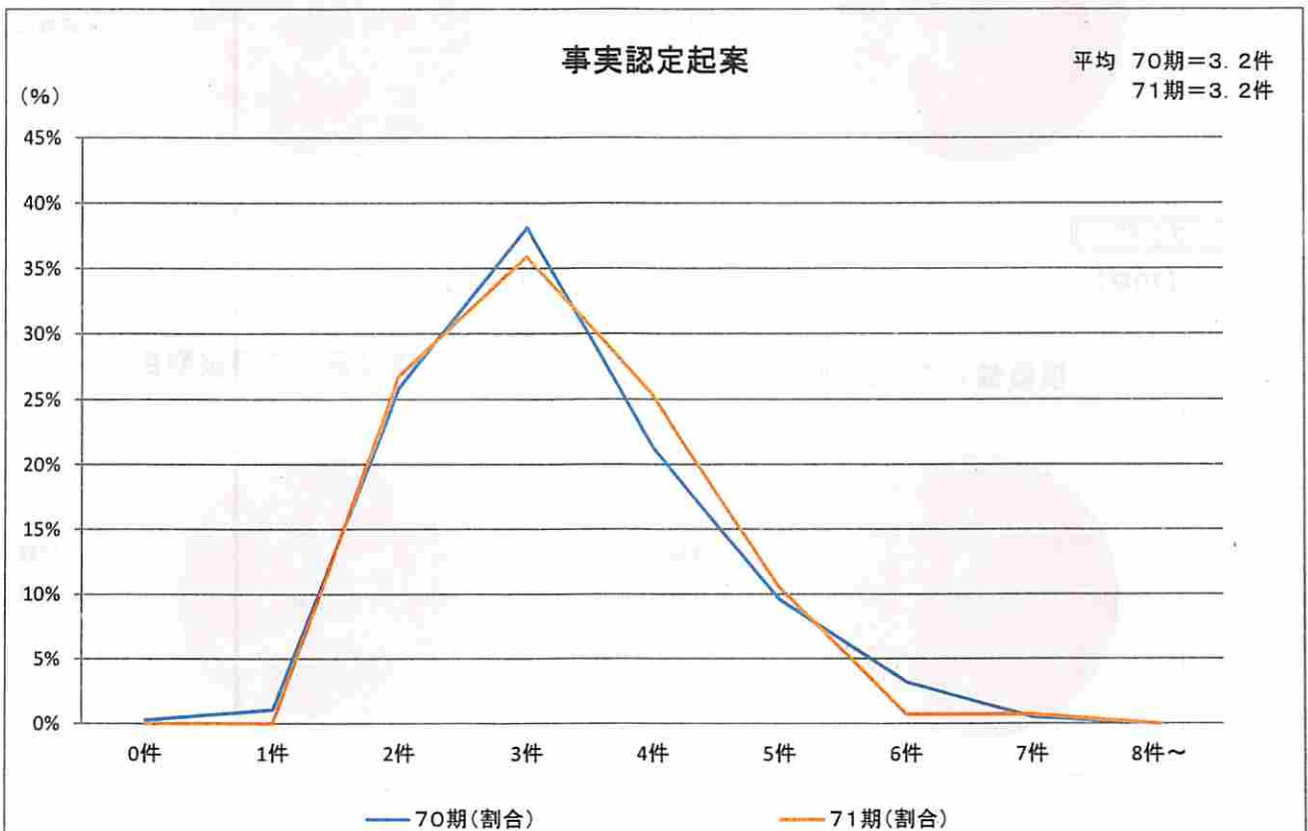


## 修習結果簿(第1クール:刑事裁判修習)集計結果

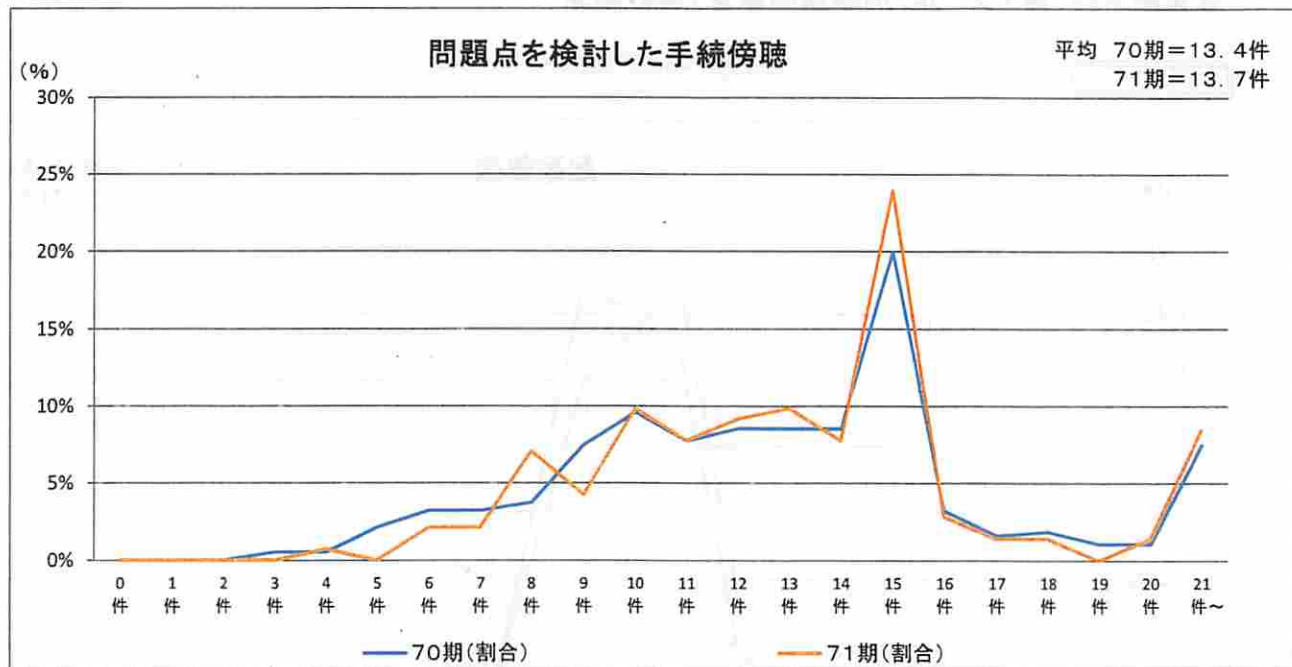
グラフ1



グラフ2

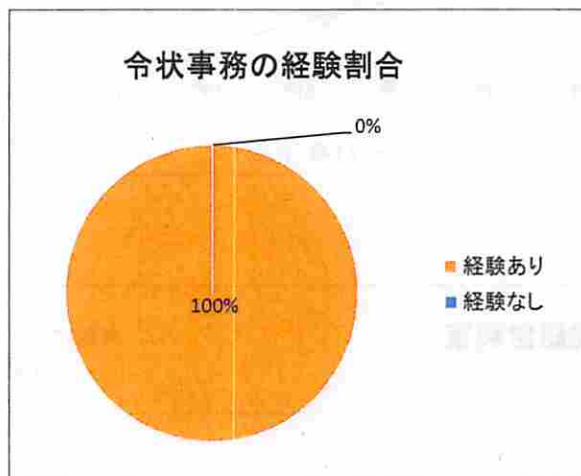


グラフ3

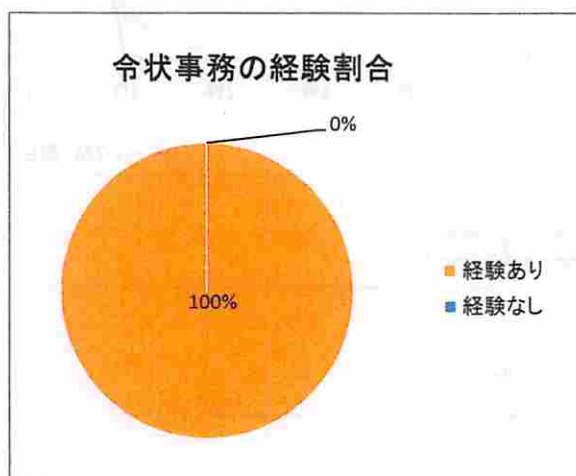


グラフ4

【70期】

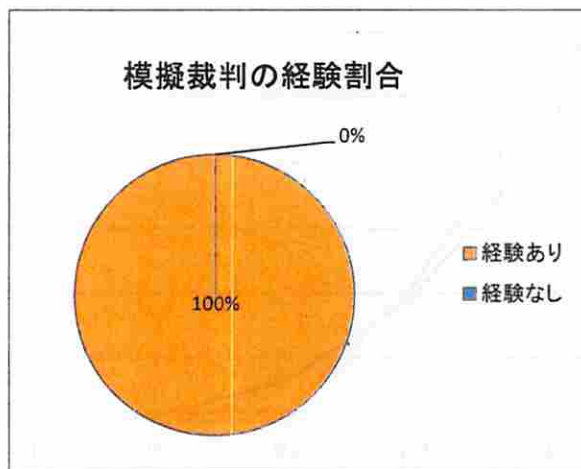


【71期】

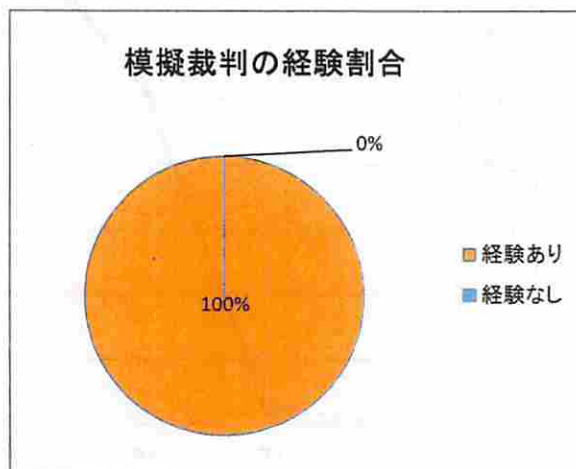


グラフ5

【70期】



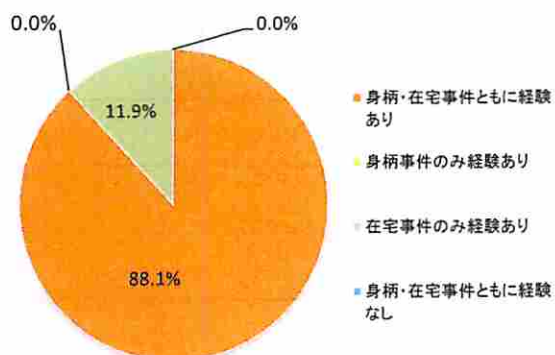
【71期】



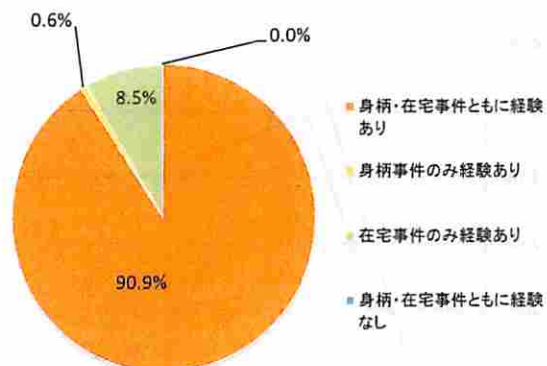
## 修習結果簿(第1クール:検察修習)集計結果

グラフ1 捜査実務修習(身柄・在宅事件の経験割合)

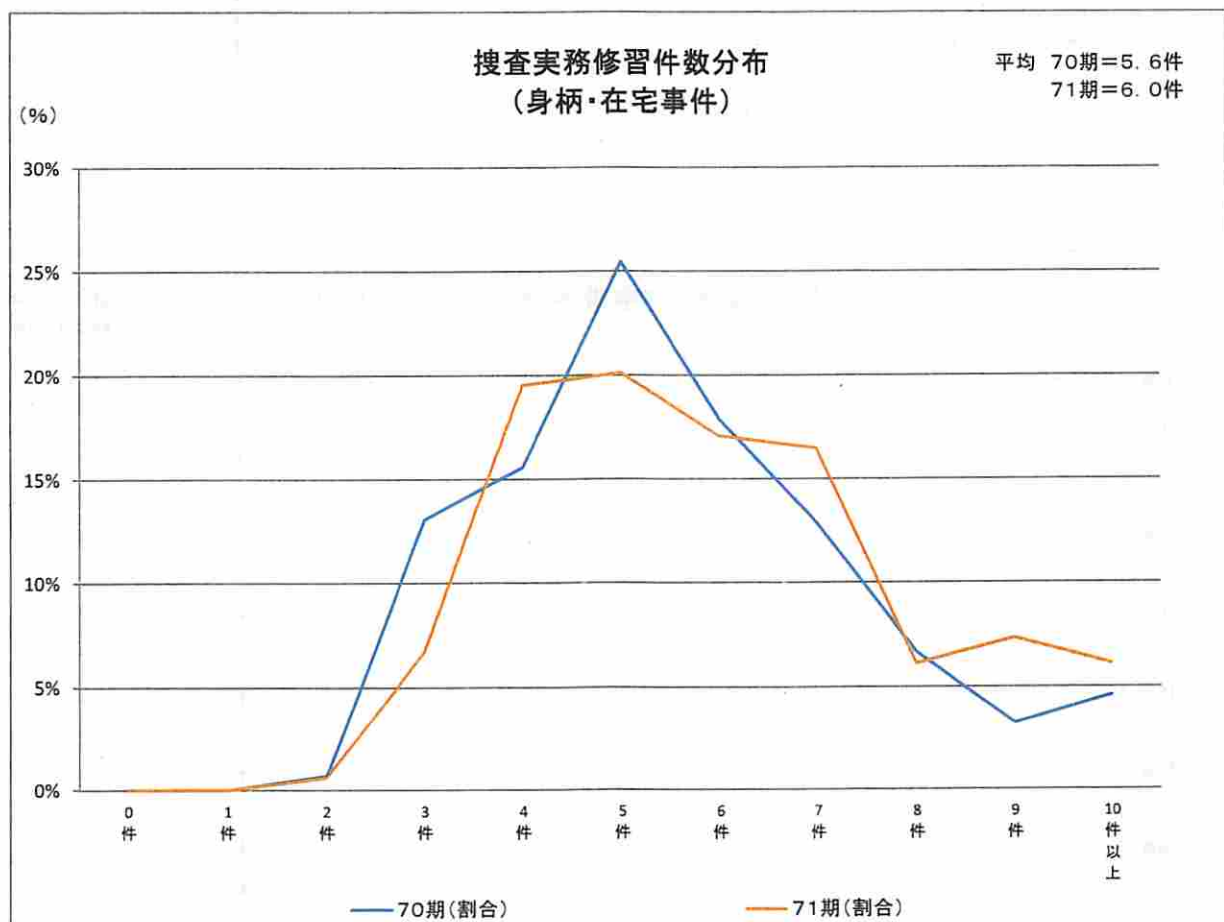
【70期】



【71期】

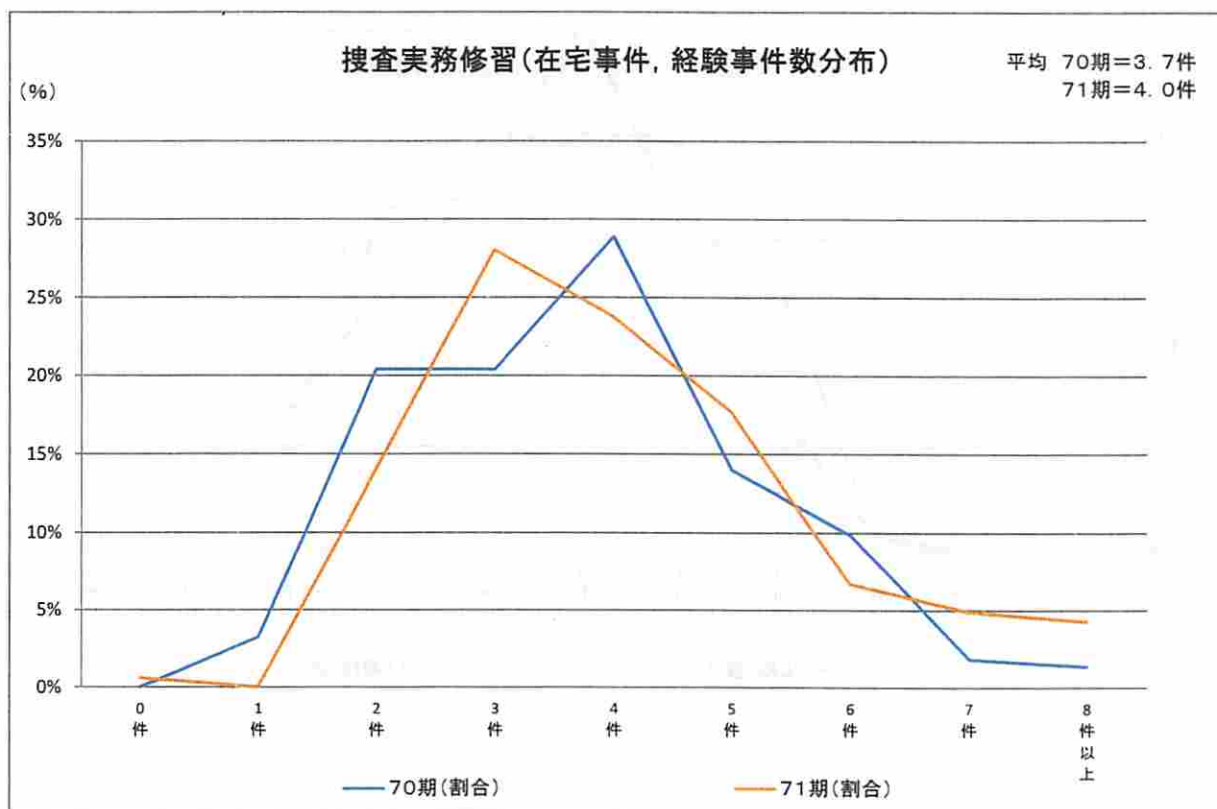
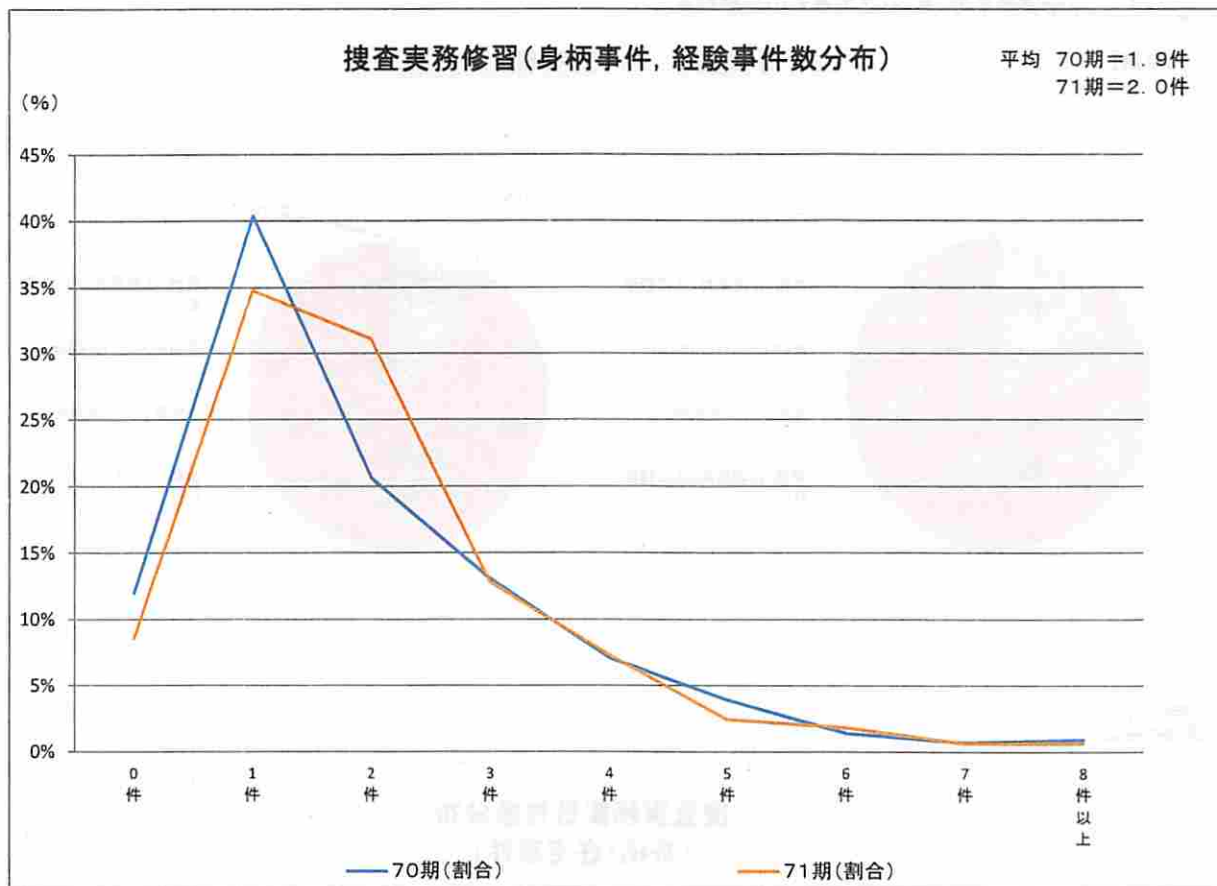


グラフ2



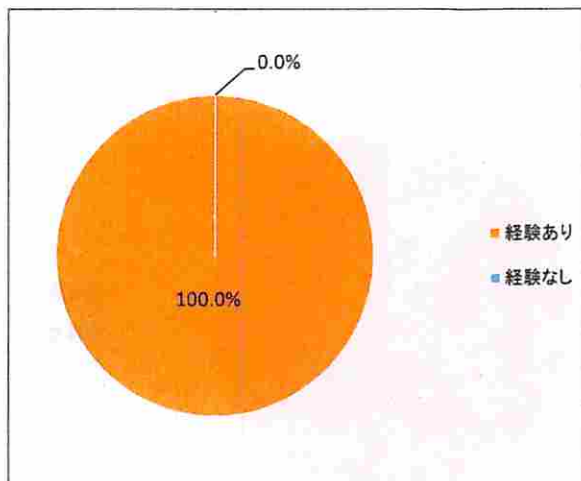


グラフ3

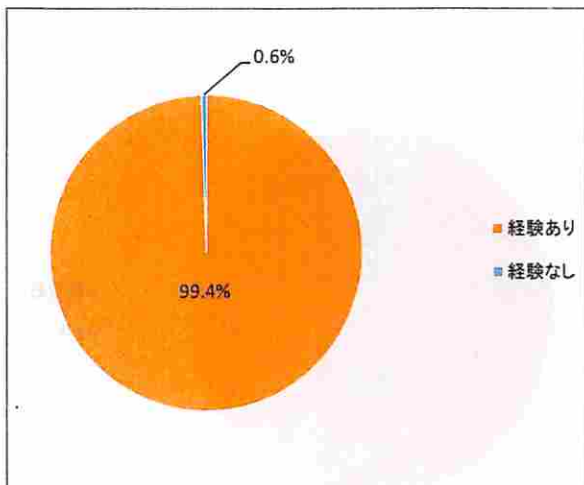


グラフ4 公判実務修習の経験

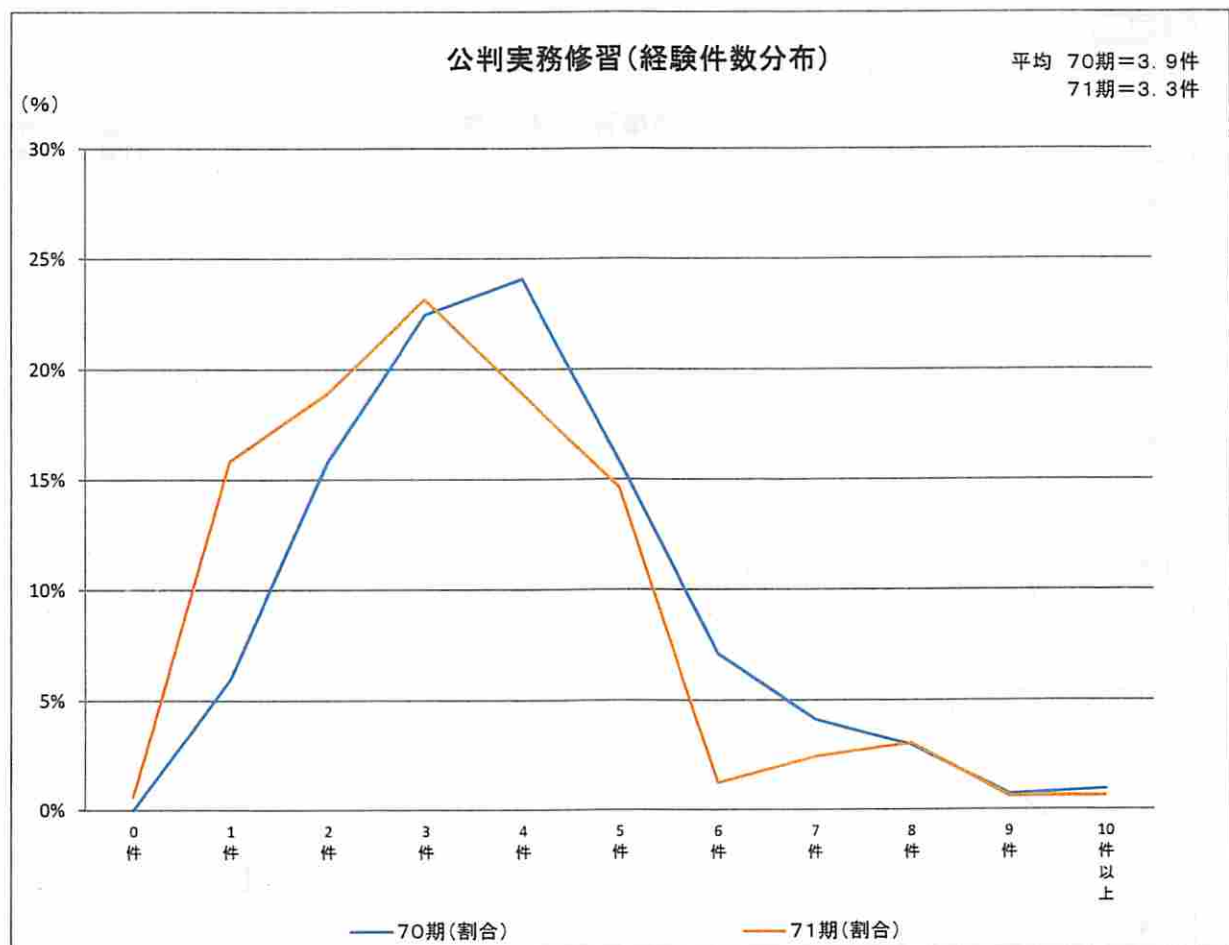
【70期】



【71期】

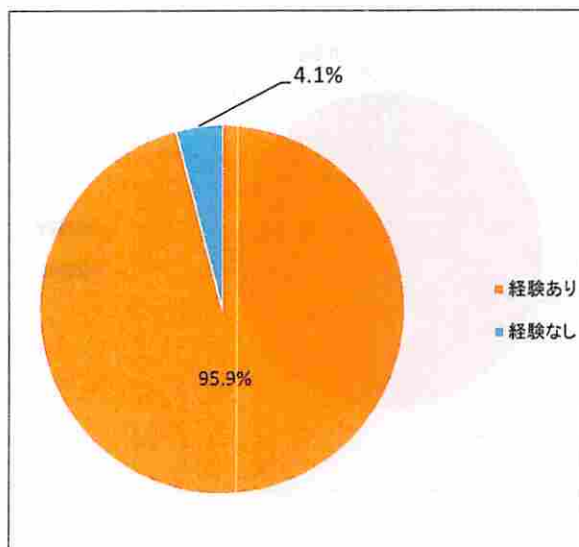


グラフ5

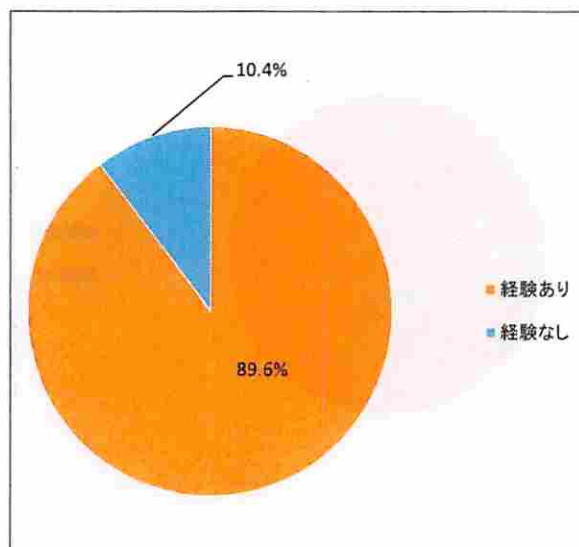


グラフ6 公判実務修習(起案の経験)

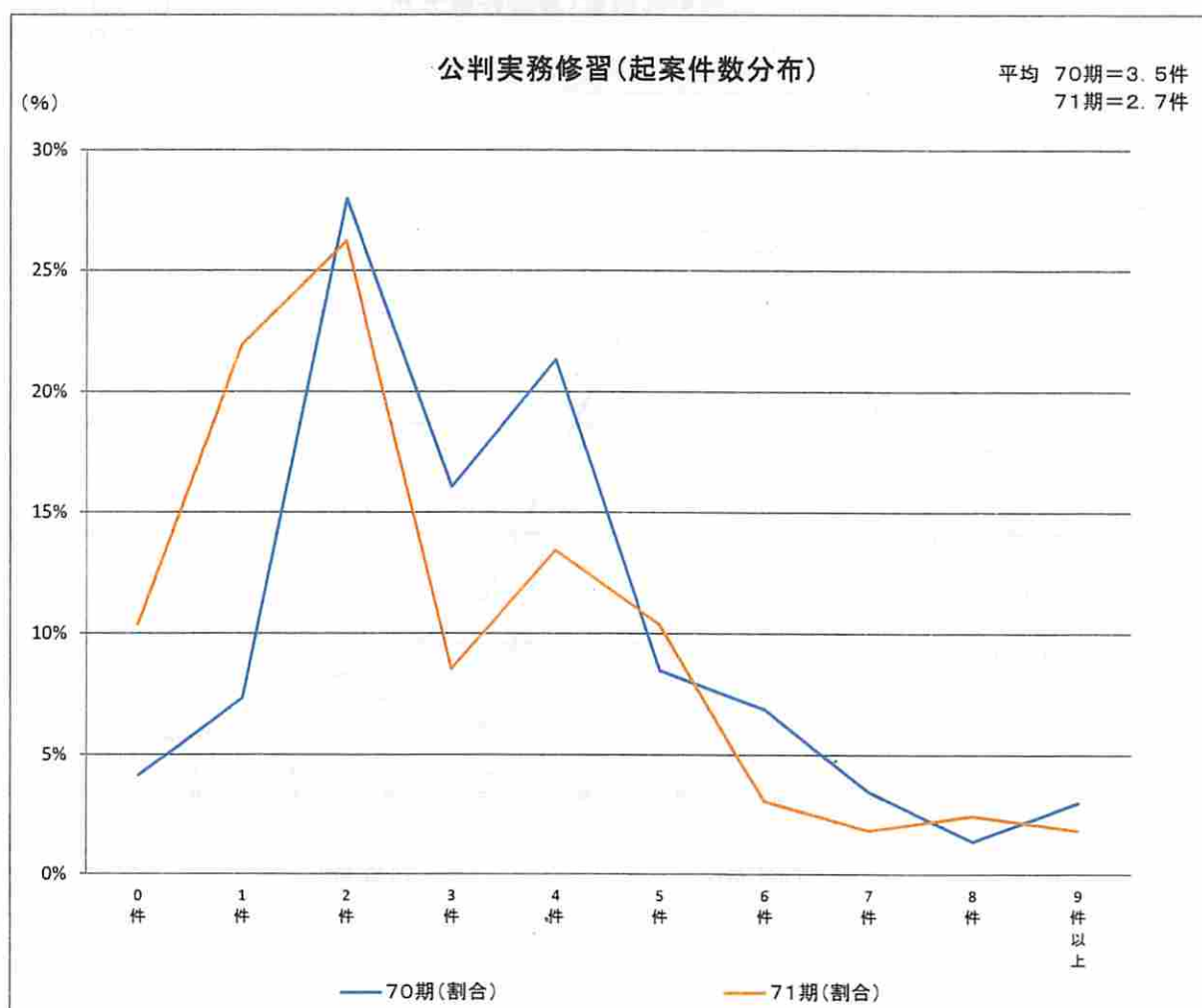
【70期】



【71期】

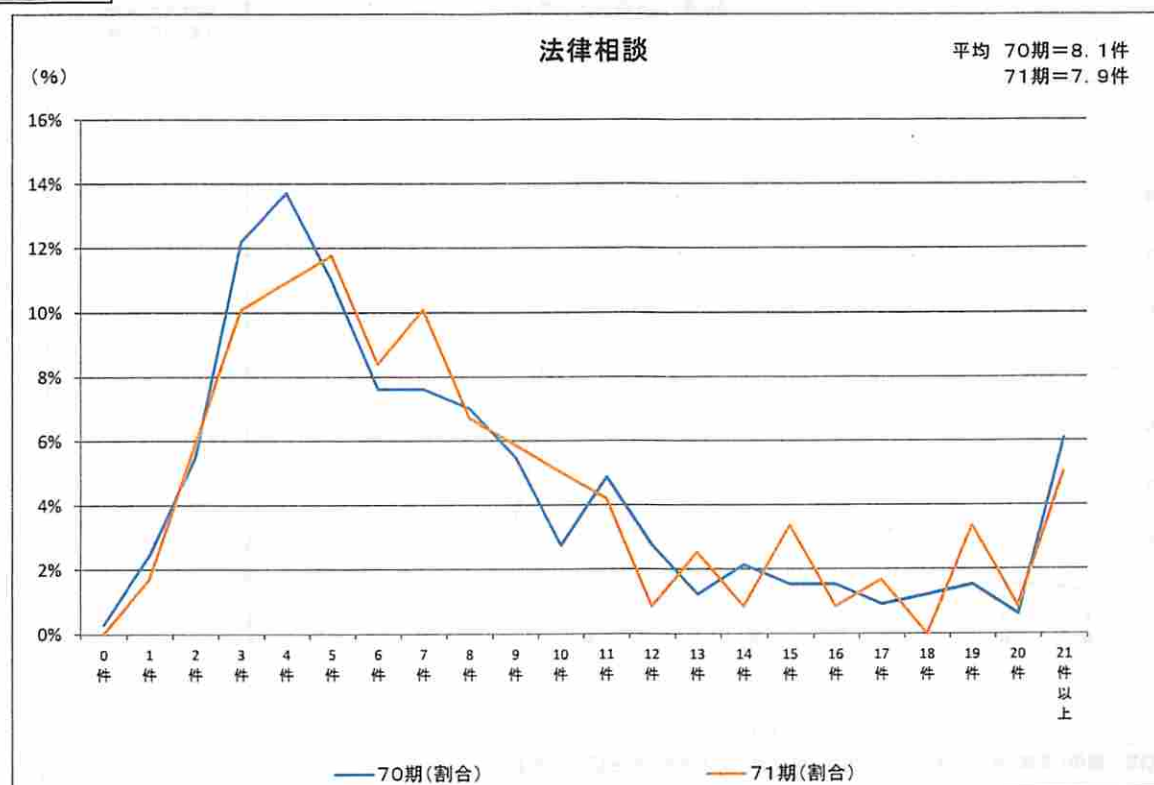


グラフ7



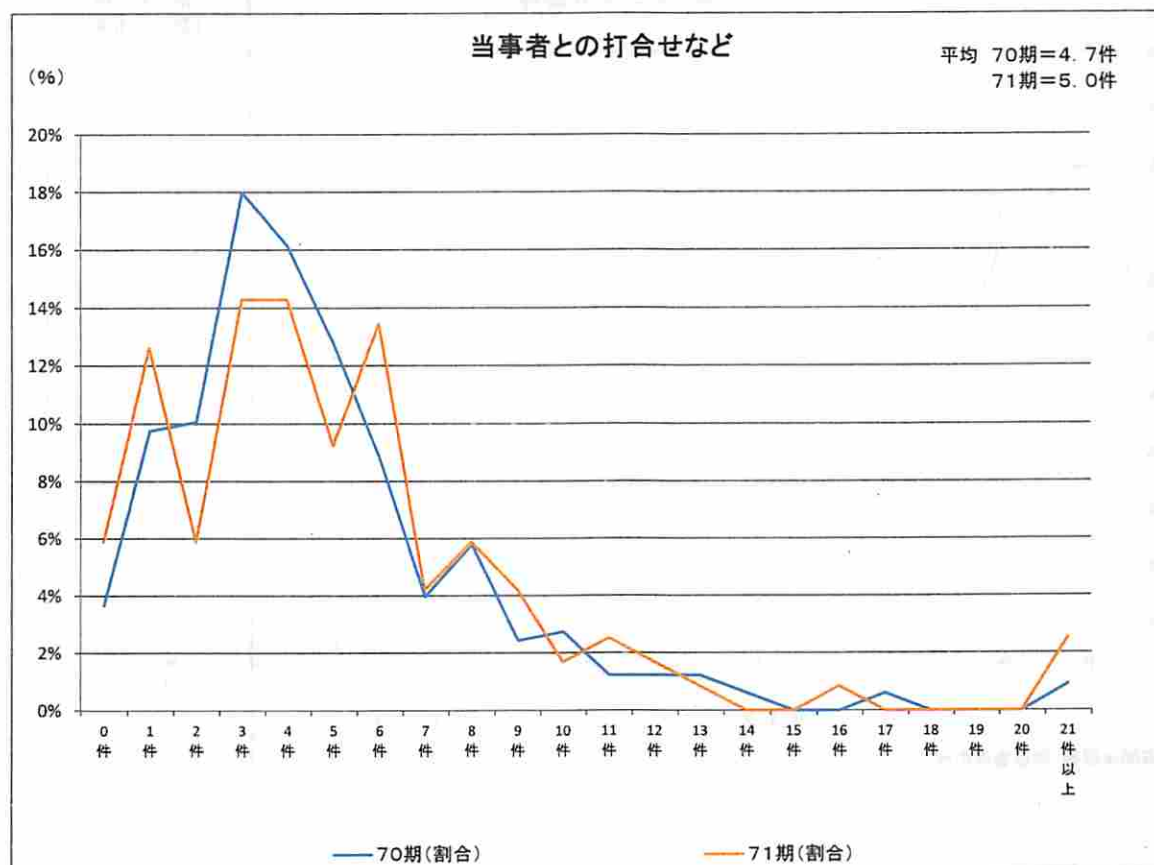
## 修習結果簿(第1クール:弁護修習)集計結果

グラフ1-1

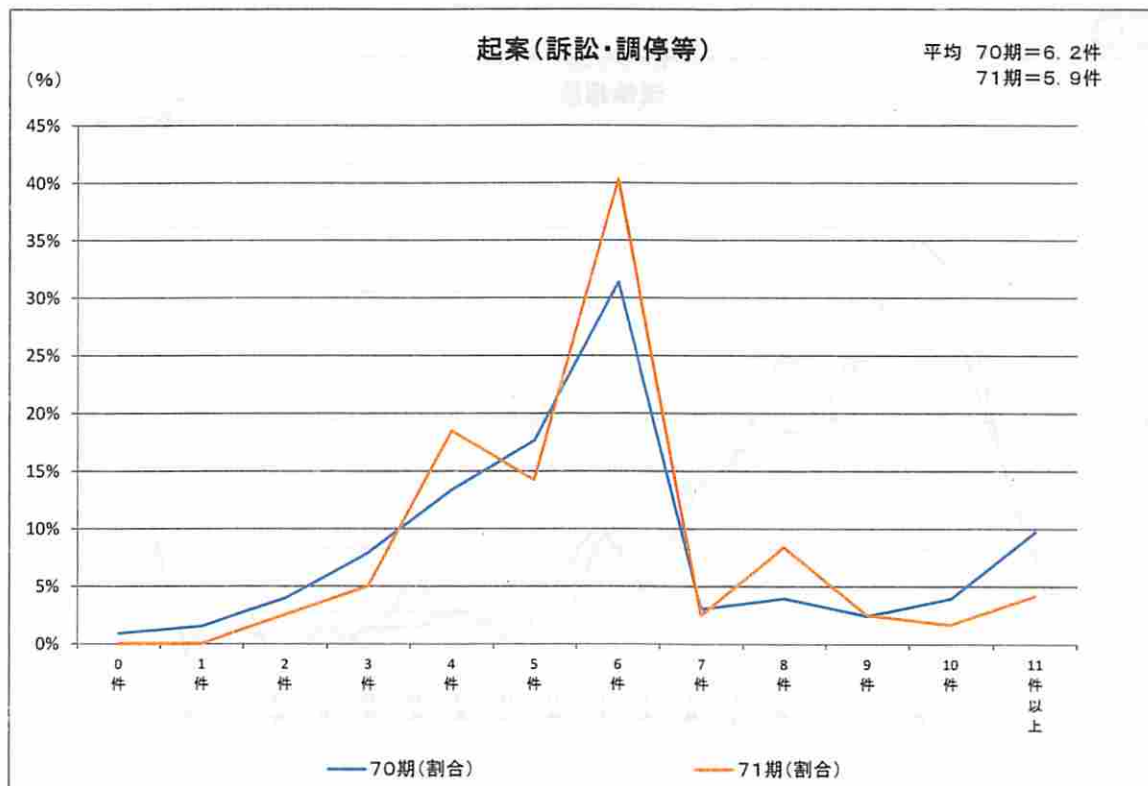


※ 法律相談(弁護士会、自治体及び事務所等におけるもの)、交渉、受任等の立会傍聴

グラフ1-2

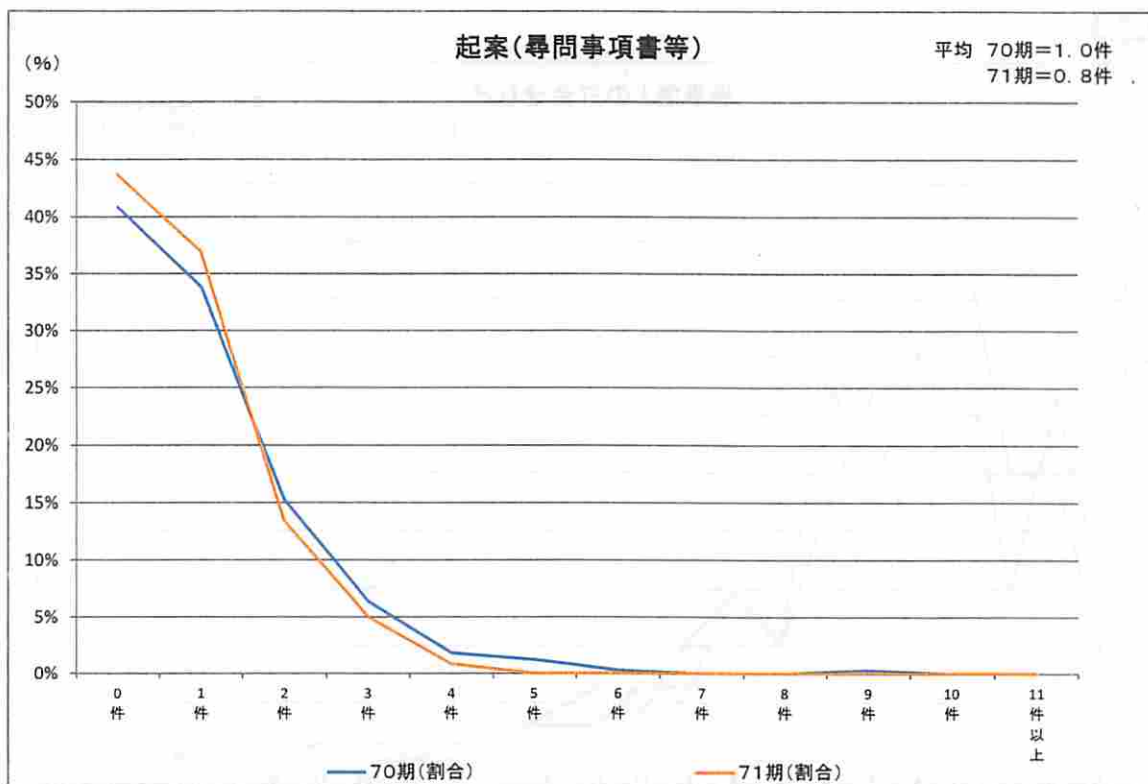


グラフ2-1



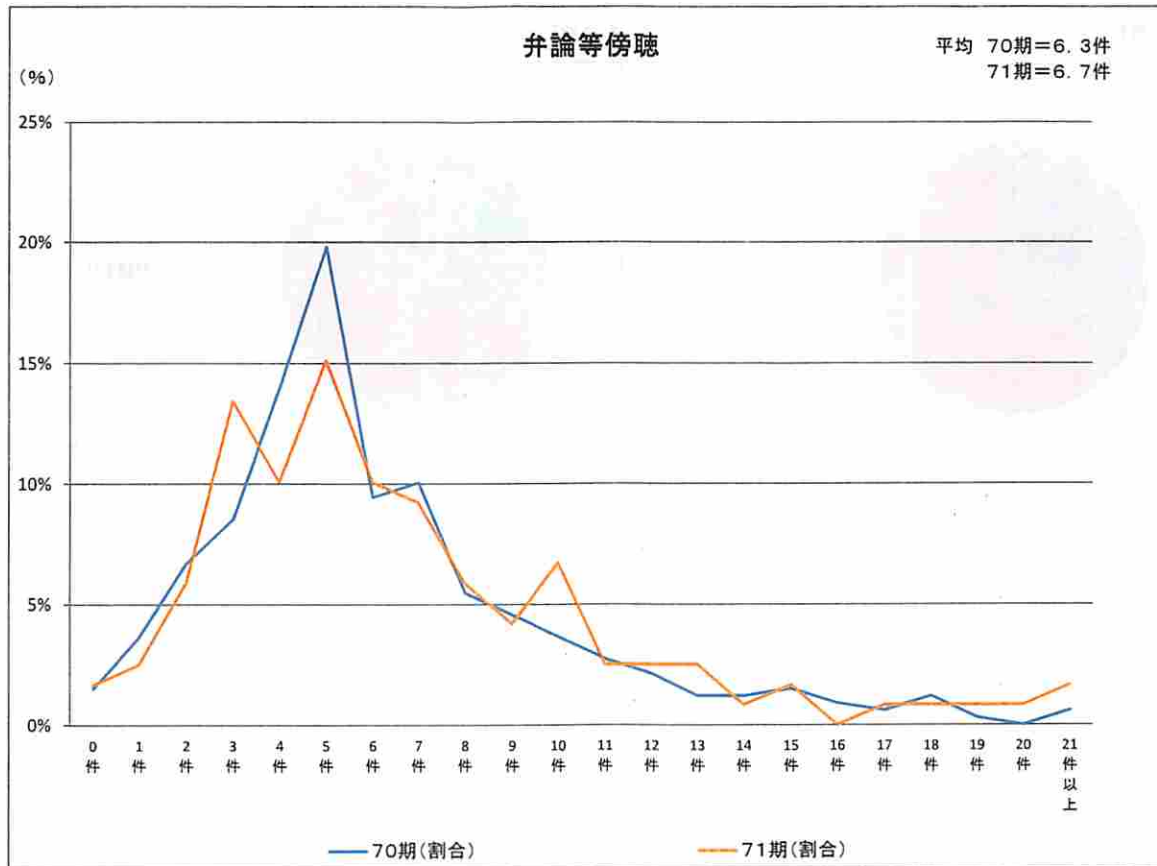
※ 訴訟, 調停[民事・家事], ADR等の訴状, 申立書, 準備書面, 内容証明等の起案

グラフ2-2



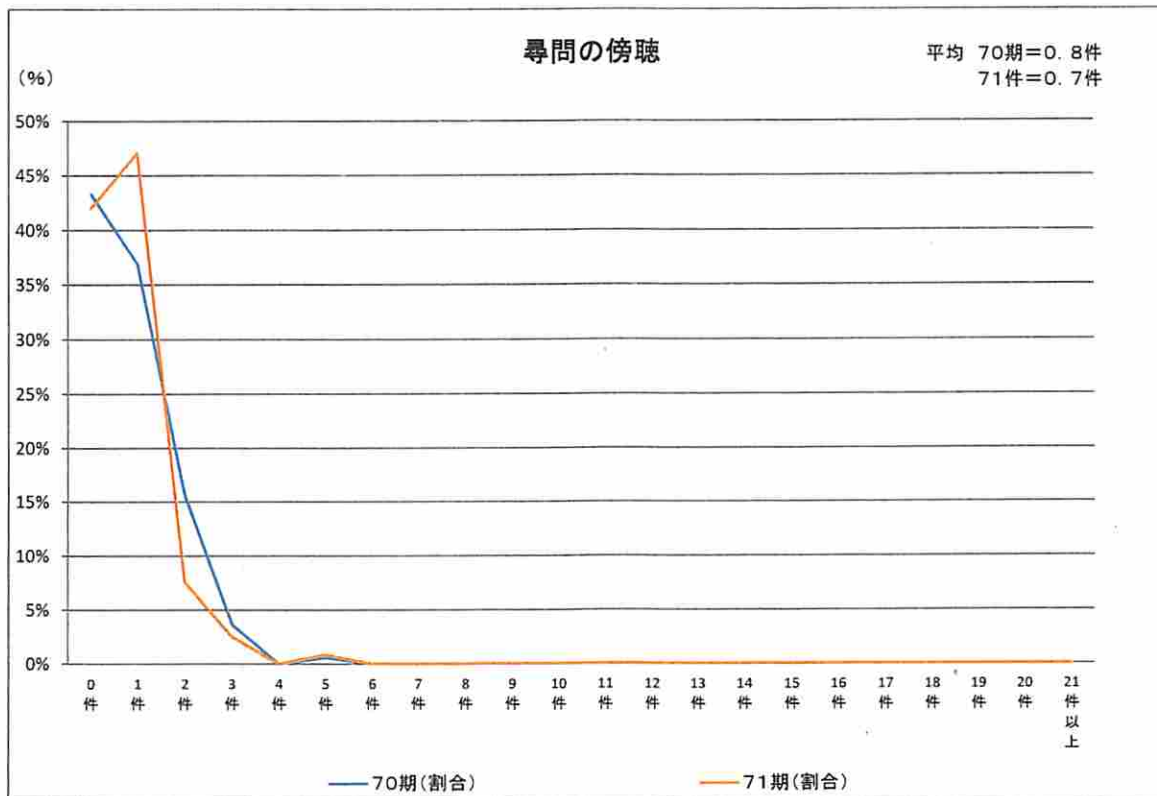
※ 尋問事項書・陳述書等の起案

グラフ3-1



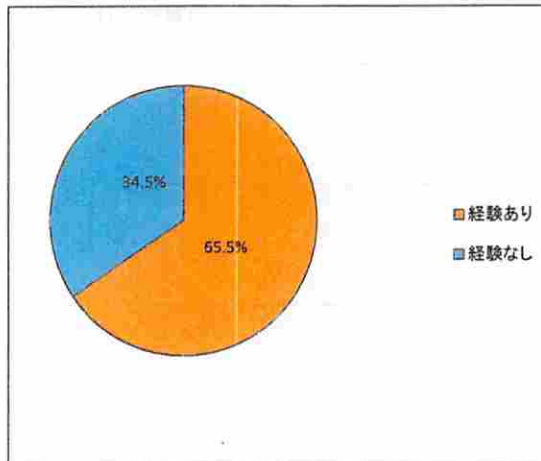
※ 口頭弁論, 弁論準備, 和解, 調停, 審判, 審尋, 裁判官面接等

グラフ3-2

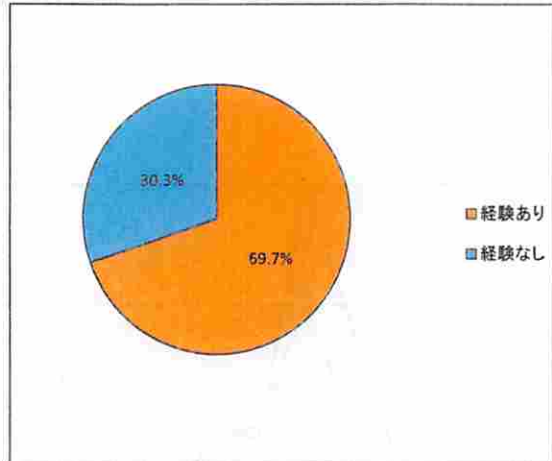


グラフ4 保全・執行の経験有無

【70期】



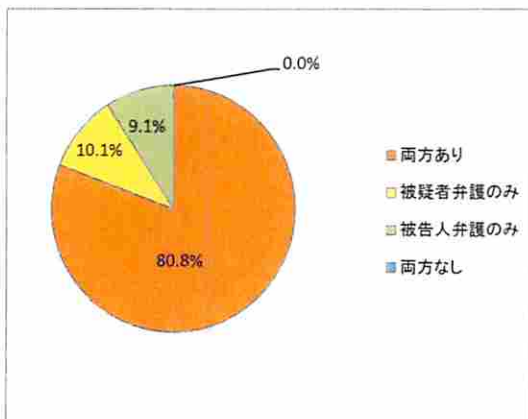
【71期】



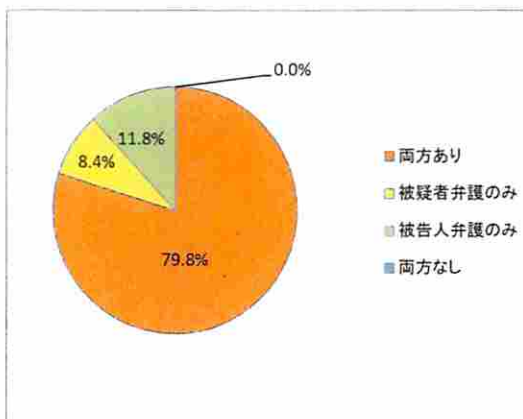


**グラフ5** 刑事弁護経験(被疑者・被告人弁護)の有無

【70期】

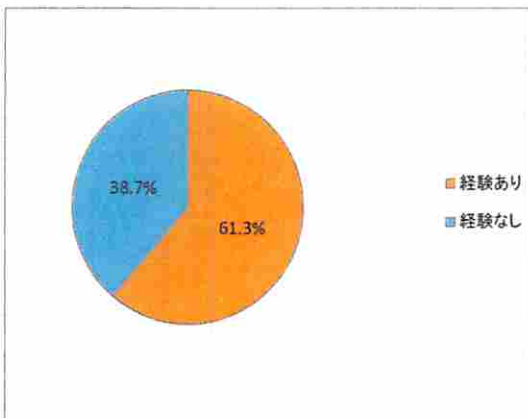


【71期】

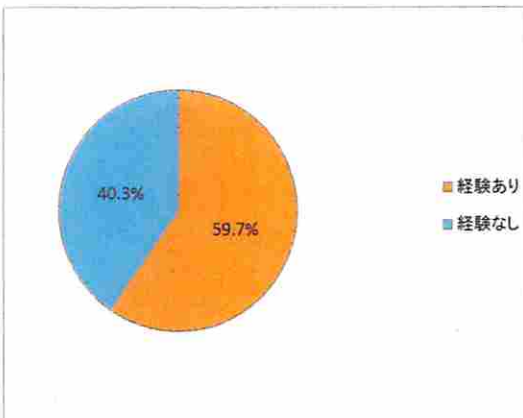


**グラフ6** 否認事件の経験の有無

【70期】

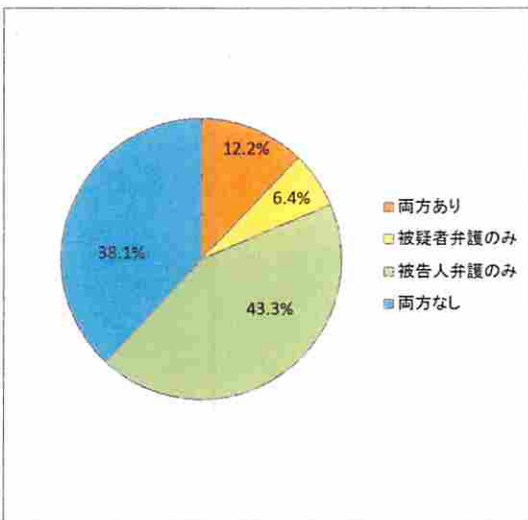


【71期】

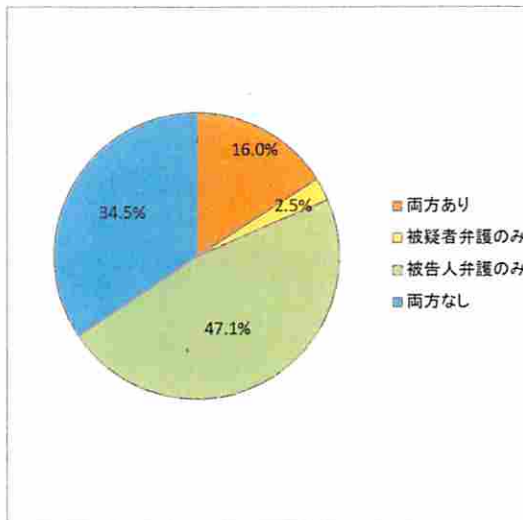


**グラフ7** 刑事起案経験(被疑者・被告人弁護)の有無

【70期】



【71期】





選択型実務修習 全国プログラム集計(第70期)

	庁 会	実施庁会	プログラム名	プログラム数	募集人数	応募人数
既存プログラム	裁判所	東京地裁	知 財	4	80	59
		大阪地裁	知 財	4	32	18
	検察庁	法務省	法務行政	2	70	136
	弁護士会	東京三会	大規模事務所	6	15	9
			渉 外	7	7	14
			知 財	2	4	1
			企業法務	2	2	3
		大 阪	渉 外	22	33	17
			知 財	10	11	2
	法テラス			69	111	166
	外務省			1	1	8
	UNHCR			2	2	12
	IOM			1	1	2
	JICA			2	4	22
	ILO			2	2	8
	日弁連国際室			2	2	7
	計				138	377

新規プログラム	国			3	6	22
	地方自治体			6	7	24
	福祉機関			9	12	34
	民間企業			15	16	221
	公設事務所等			9	9	35
	計			42	50	336

合計				180	427	820
----	--	--	--	-----	-----	-----

[注]人数はA班とB班の合計

選択型実務修習 全国プログラム集計(第71期)

既存プログラム	庁 会	実施庁会	プログラム名	プログラム数	募集人数	応募人数
	裁判所	東京地裁	知 財	4	80	62
		大阪地裁	知 財	4	32	32
	検察庁	法務省	法務行政	2	70	151
	弁護士会	東京三会	大規模事務所	7	20	14
			渉 外	1	1	0
			知 財	2	4	4
			企業法務	2	2	4
		大 阪	渉 外	20	31	23
			知 財	6	7	5
	法テラス			66	106	121
	外務省			1	1	12
	UNHCR			2	2	6
	IOM			1	1	4
	JICA			2	4	11
	ILO			2	2	7
	日弁連国際室			2	2	9
計			124	365	465	

新規プログラム	国			5	14	52
	地方自治体			5	5	30
	福祉機関			13	15	64
	民間企業			16	23	235
	公設事務所等			9	9	38
	計			48	66	419

合計				172	431	884
----	--	--	--	-----	-----	-----

[注]人数はA班とB班の合計

日弁連法1第70号

2018年（平成30年）5月18日

弁護士会会長 殿

日本弁護士連合会

事務総長 菰田 優

（公印省略）

司法修習生が取り扱う弁護修習関連の情報セキュリティ  
に関するルールの改正について（依頼）

日頃より、当連合会の活動に御理解をいただき、誠にありがとうございます。

近時の情報セキュリティを巡る諸情勢や個人情報保護に係る厳しい社会的要請に鑑み、当連合会では、司法修習生が取り扱う弁護修習関連の情報に関し、必要な情報セキュリティを確保するための対策として、2016年（平成28年）8月8日付けで「司法修習生が取り扱う弁護修習関連の情報のセキュリティに関するルール」を策定しました。なお、裁判修習においては既に同様のルール化と取組が図られております。

昨年11月、裁判修習における情報セキュリティに関するルールが改正されたため、今回、「司法修習生が取り扱う弁護修習関連の情報のセキュリティに関するルール」も同様の改正を行いました。貴会に配属された司法修習生に対して、別添1及び

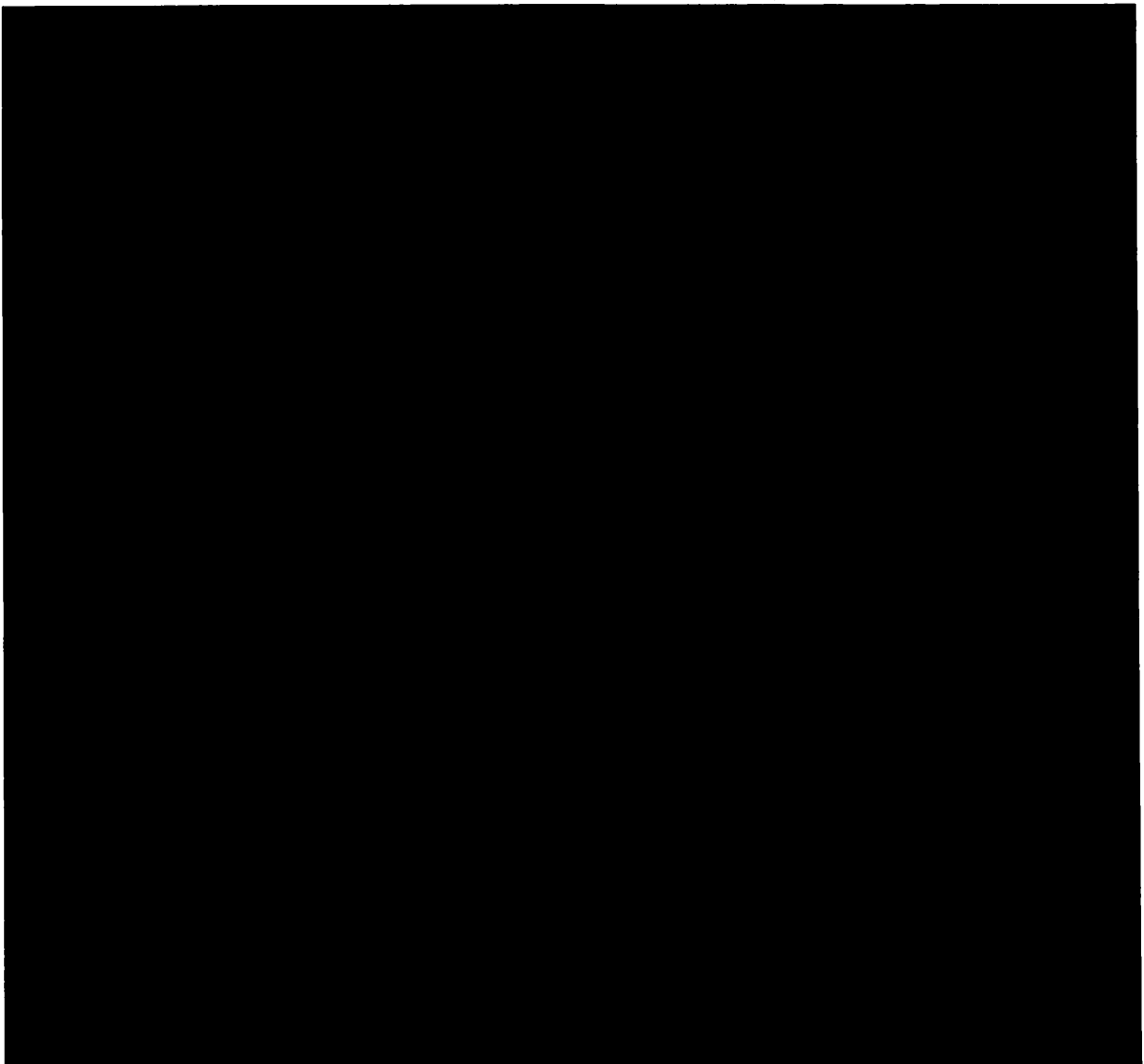
を配布いただくとともに、別紙様式の申請書兼誓約書を提出させるなどの適宜の方法により、所要の措置を講じていただくようお願いいたします。また、貴会の司法修習委員会委員長、個別指導担当弁護士及び選択型実務修習におけるプログラム担当弁護士・外部担当者に対しても、情報セキュリティ確保の重要性や個人情報保護の観点から、本ルールを周知いただきますようお願い申し上げます。

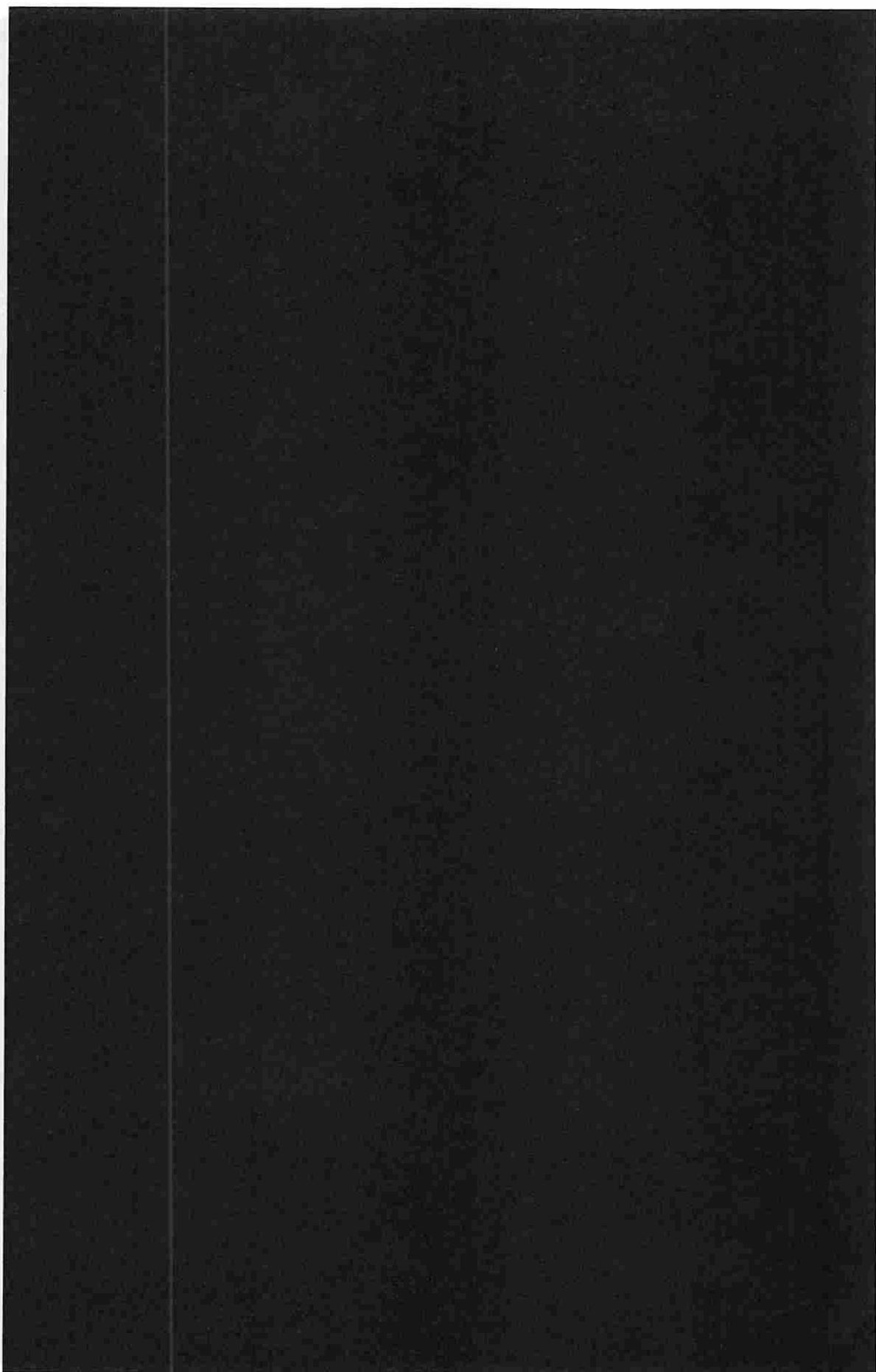
## 添付資料

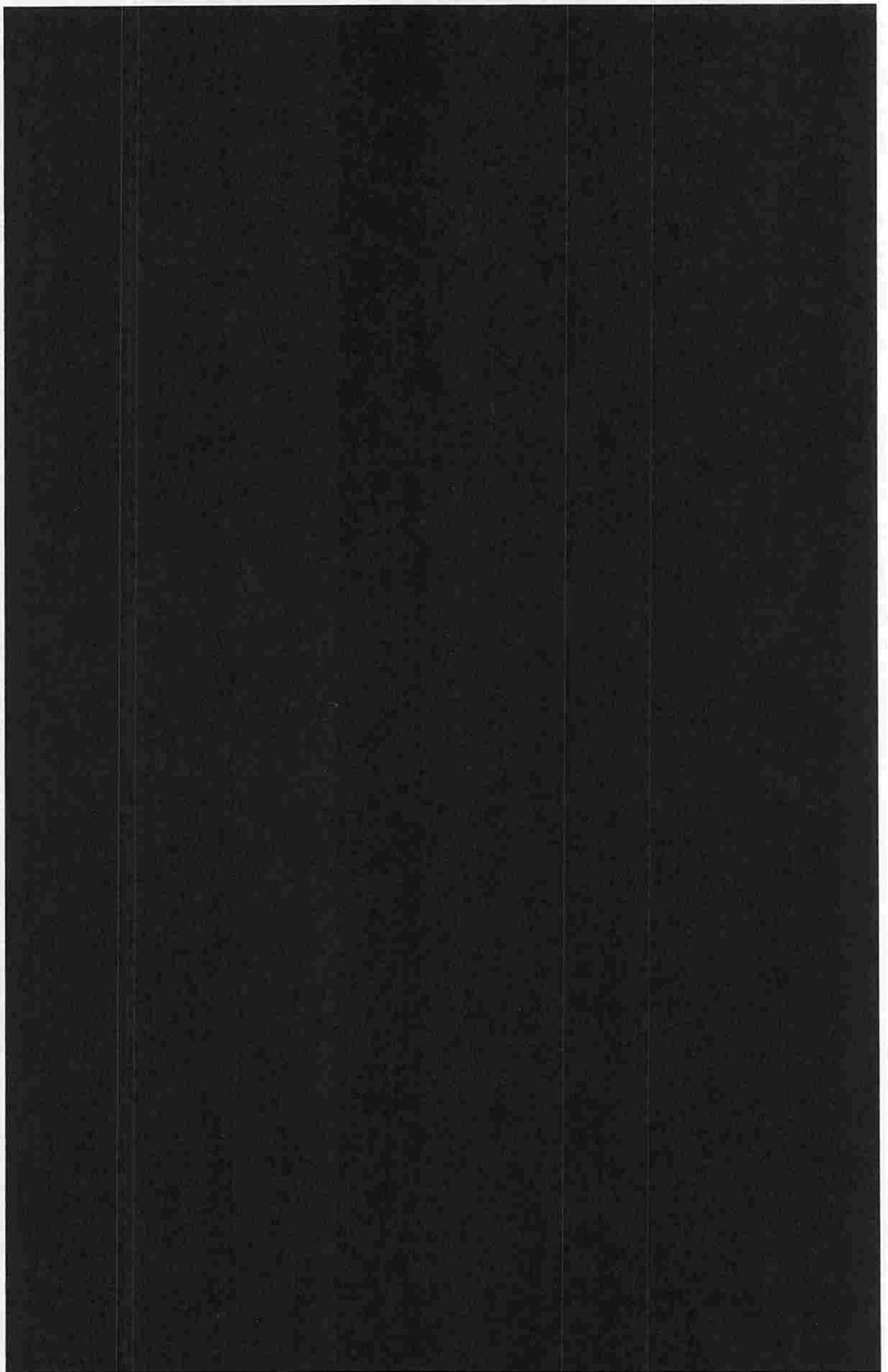
別添1 司法修習生が取り扱う弁護修習関連の情報のセキュリティに関するルール

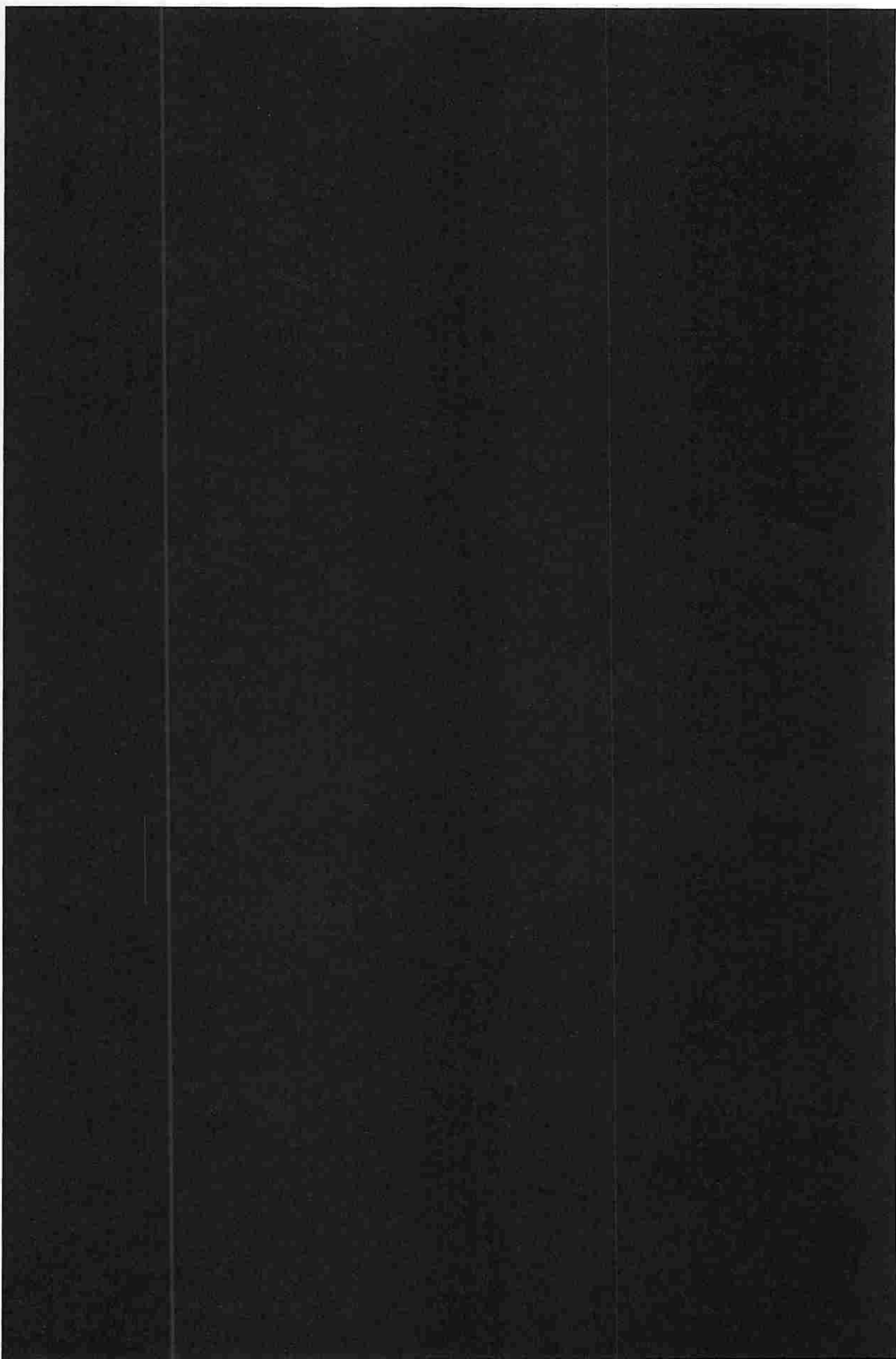
## 司法修習生が取り扱う弁護修習関連の情報のセキュリティに関するルール

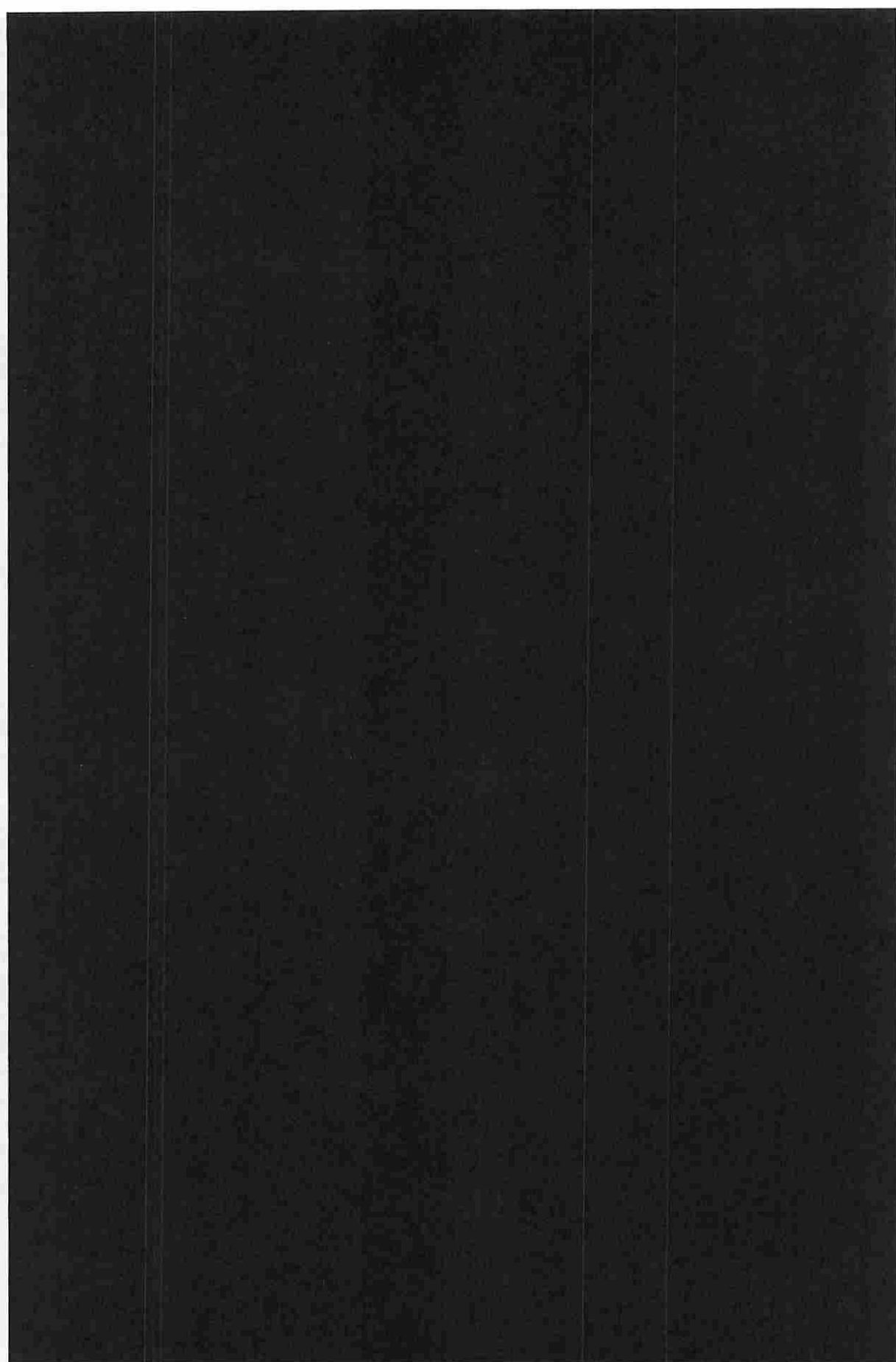
近時、情報化社会の進展に伴う情報セキュリティを巡る諸情勢や個人情報保護に係る厳しい社会的要請に鑑みると、司法修習生が取り扱う弁護修習に関する情報についてセキュリティ対策を講じる必要がある。殊に、弁護修習中、司法修習生は個別指導担当弁護士などが取り扱う生の事件に関する情報に接することとなるが、このような情報が流出・漏洩した場合には、事件の当事者等の関係者に取り返しのつかない損害を与えることとなることはもちろん、当該司法修習生や個別指導担当弁護士にとどまらず、弁護士会や司法研修所の責任が問われることとなり、ひいては、司法に対する国民の信頼も損なわれることとなりかねない。そこで、司法修習生が弁護修習中に取り扱う情報、特に生の事件に関する情報について、その流出・漏洩を防止するとともに、将来法曹となる司法修習生に情報セキュリティの重要性に関する自覚を促すため、以下のとおりルールを定めるものとする。

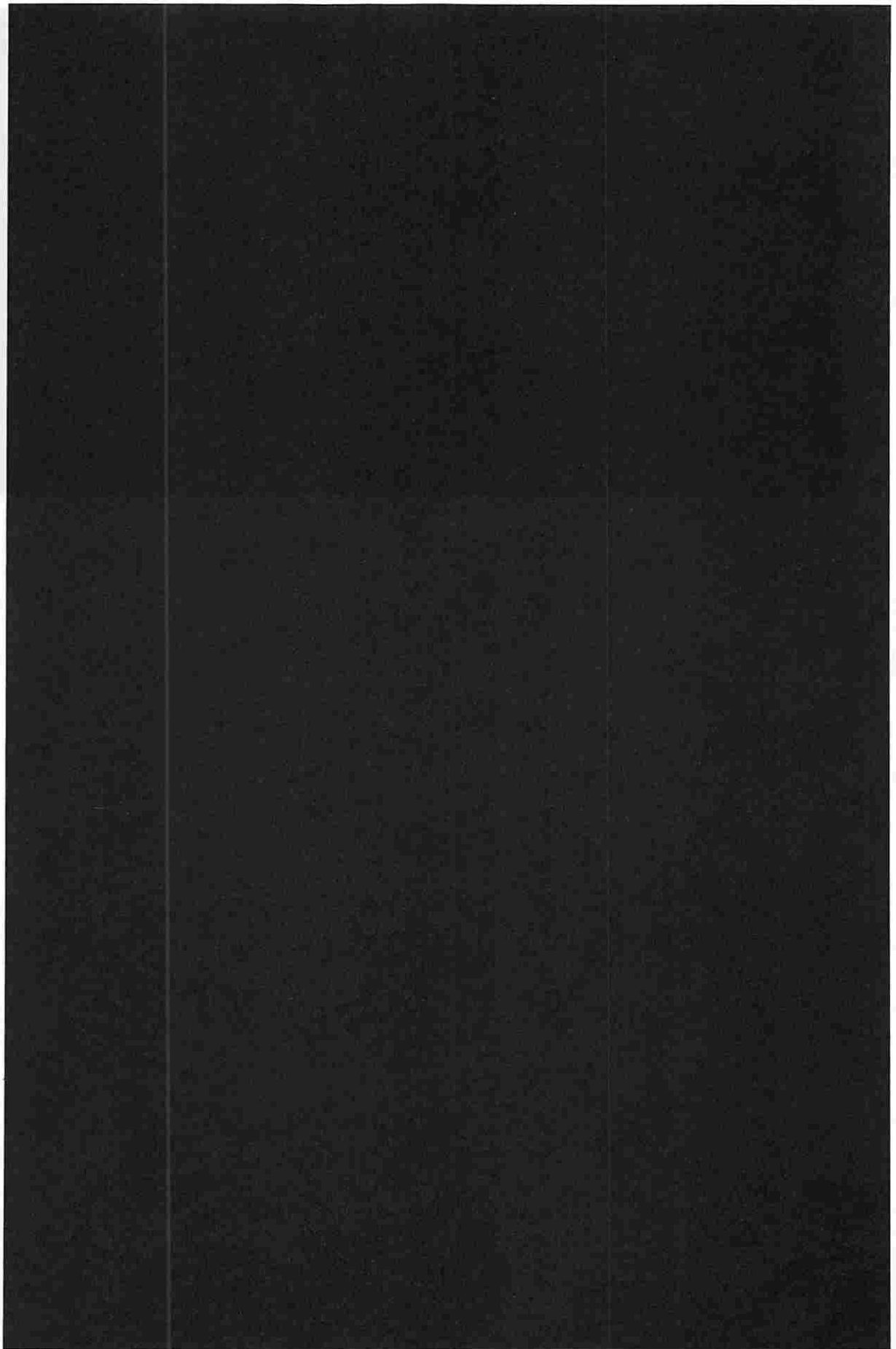




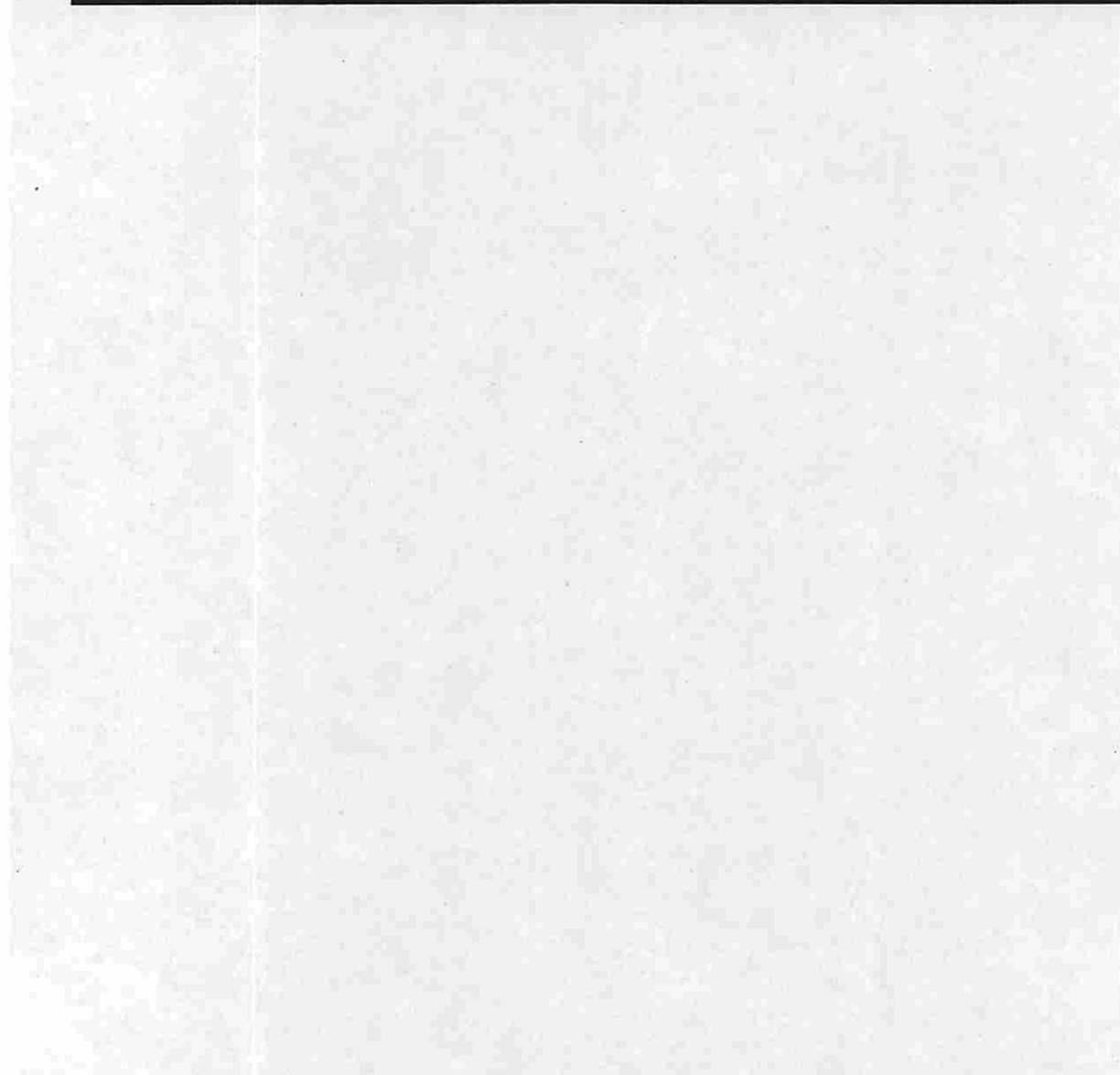


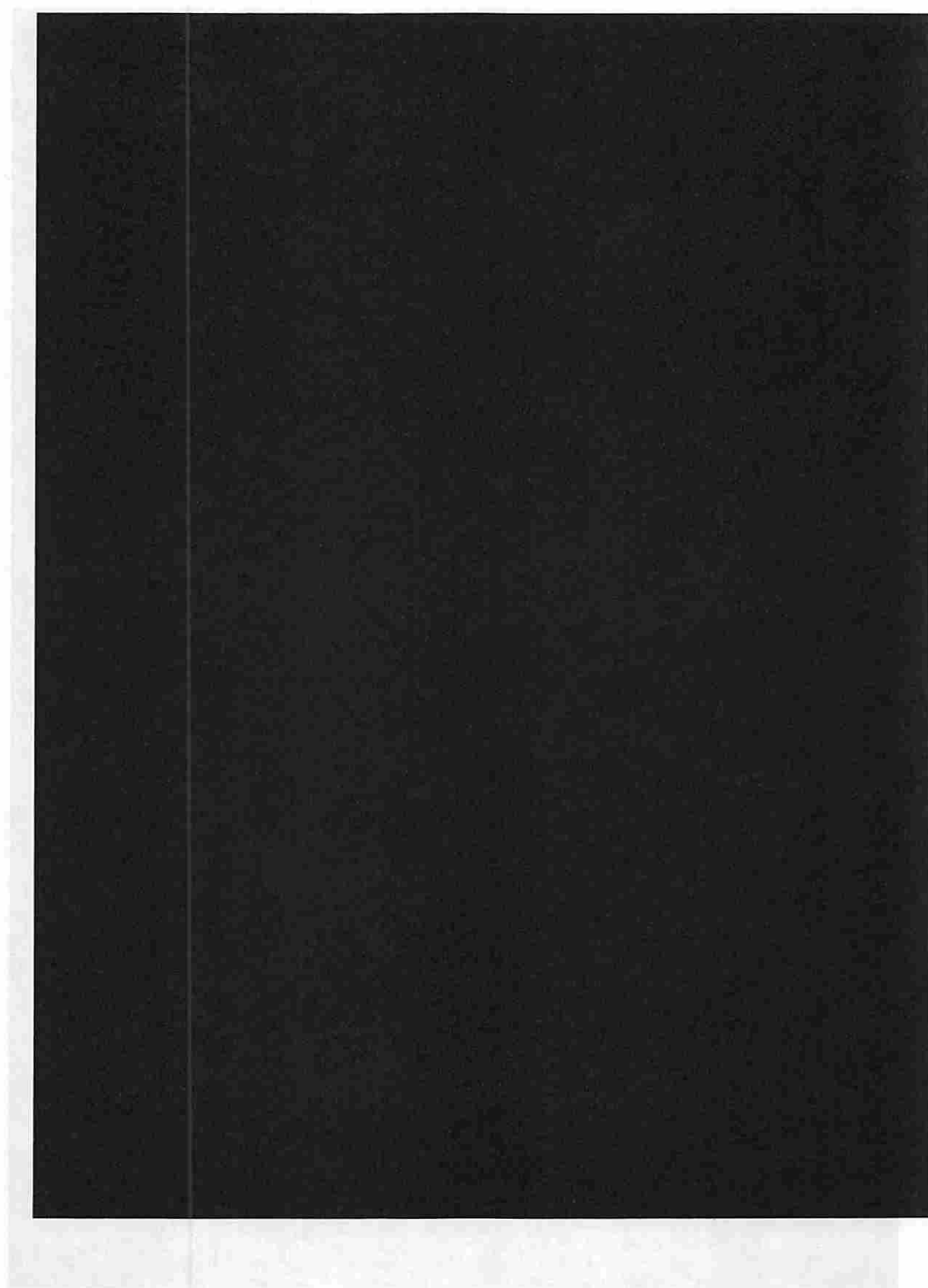


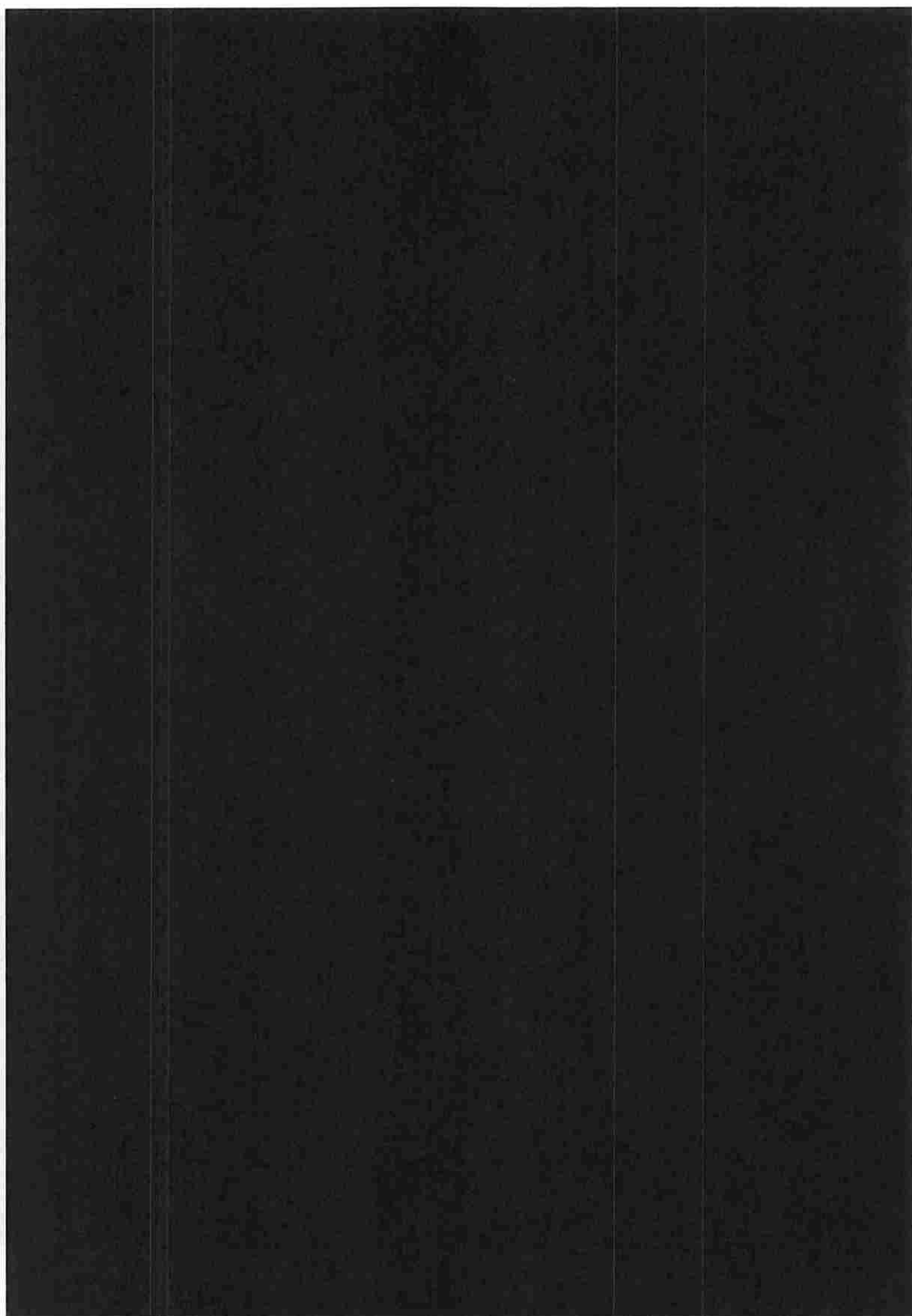


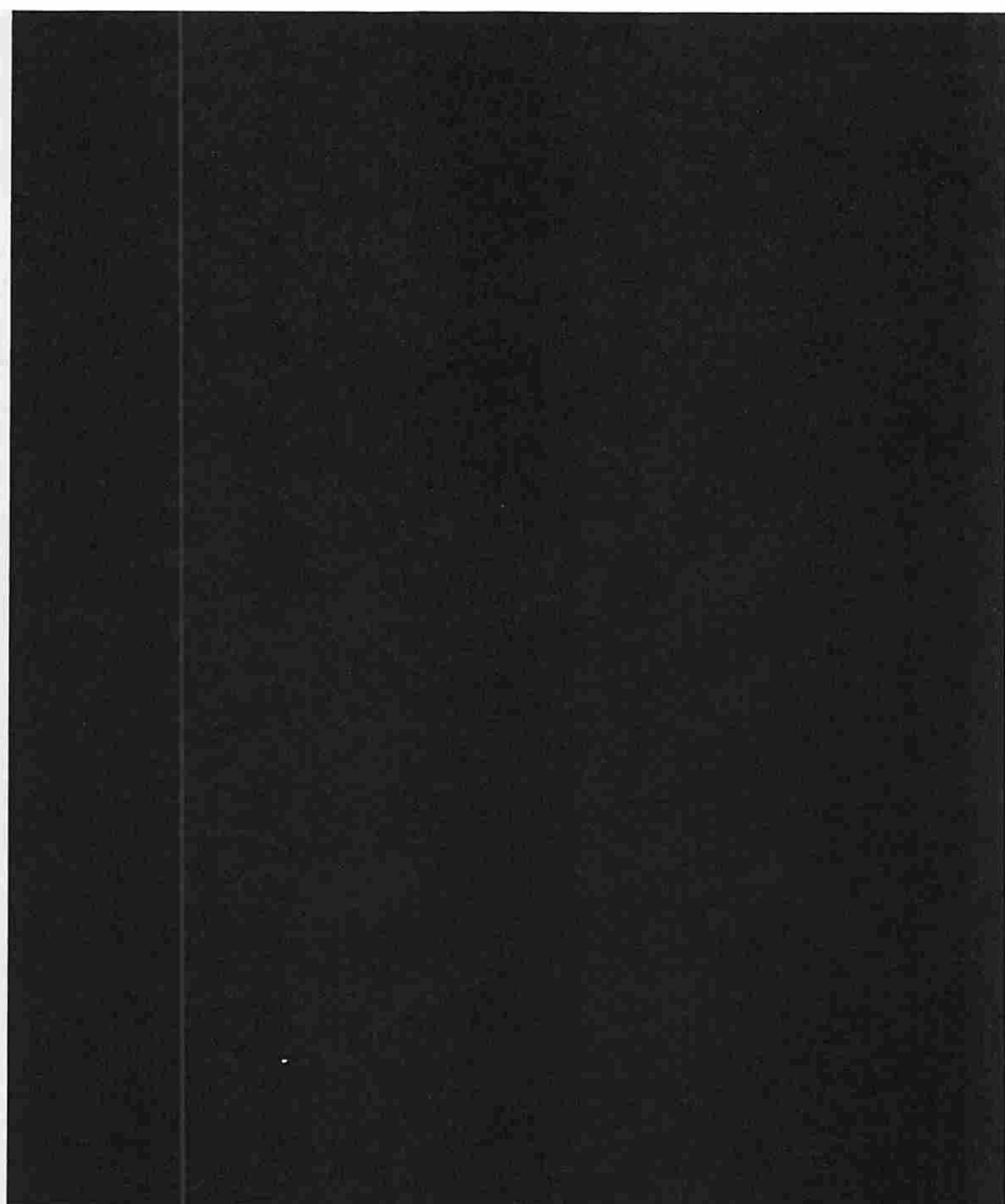


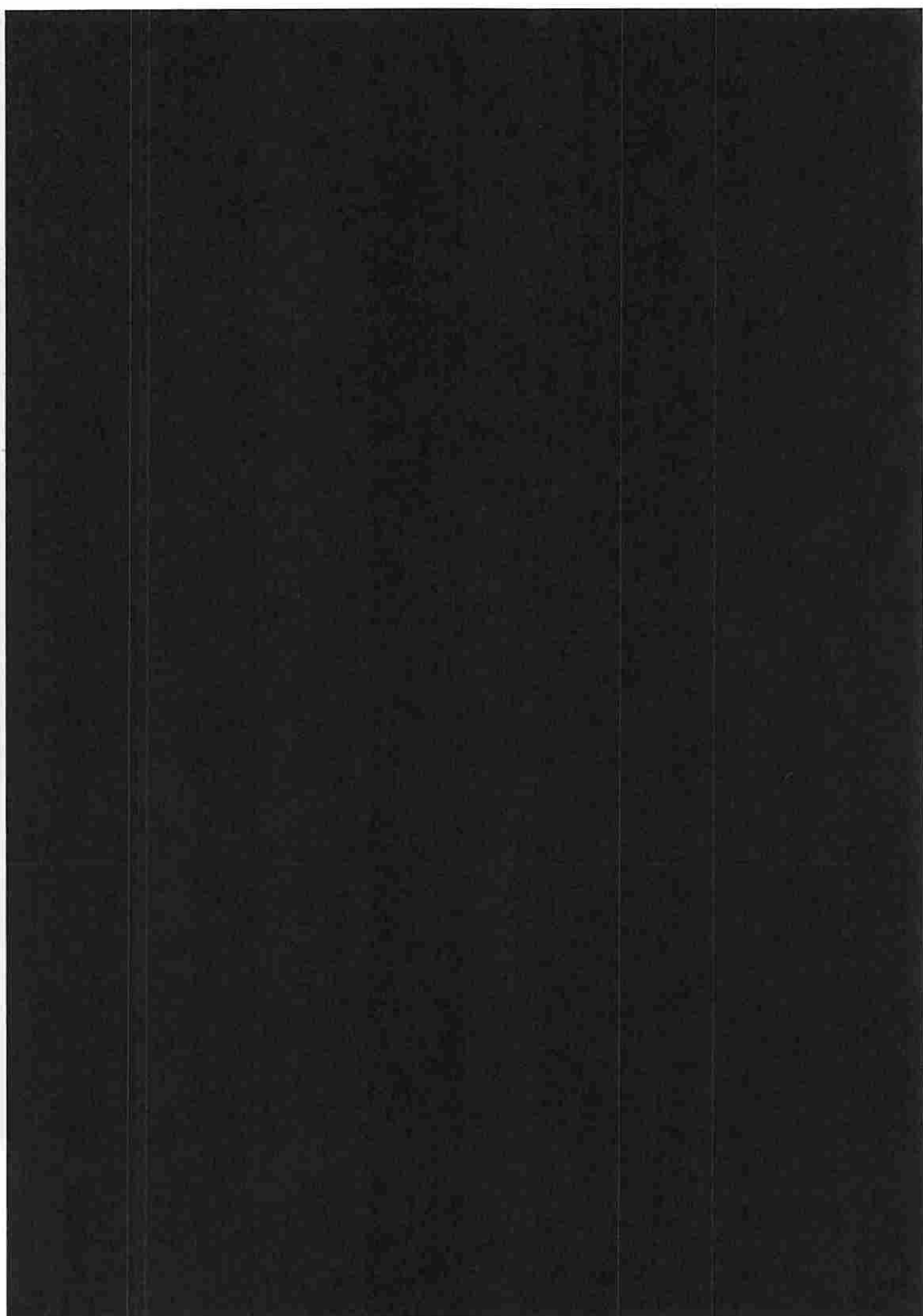






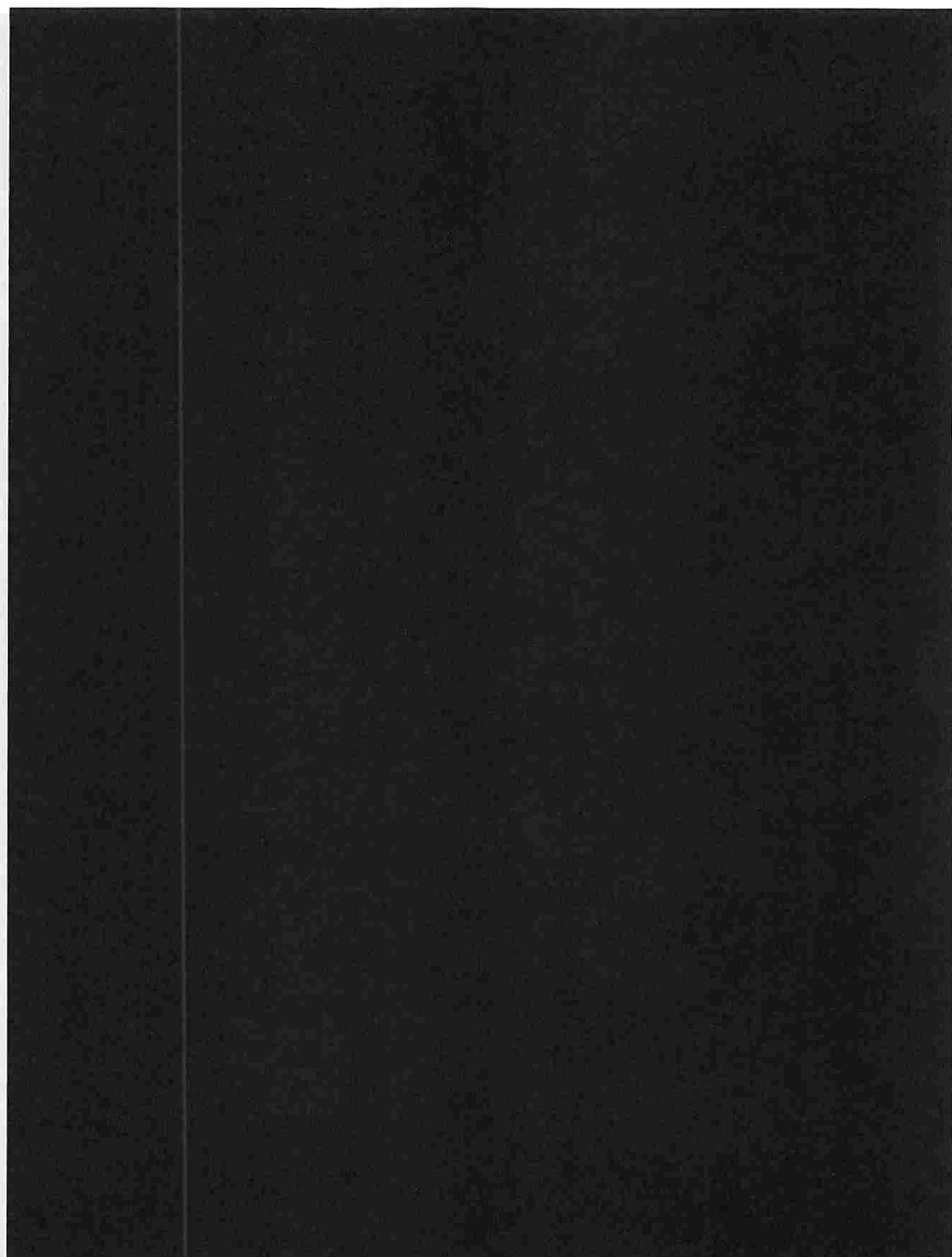




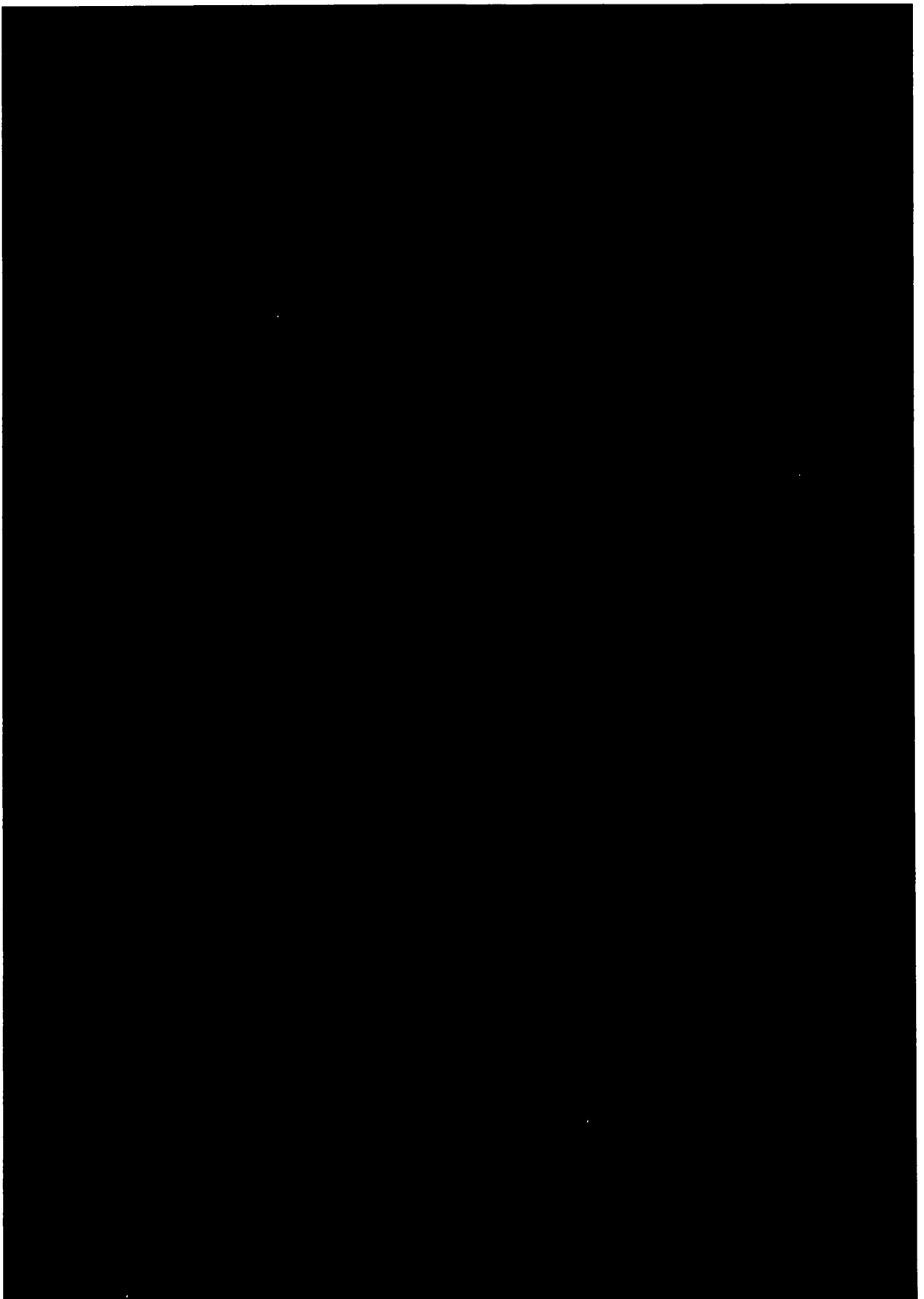


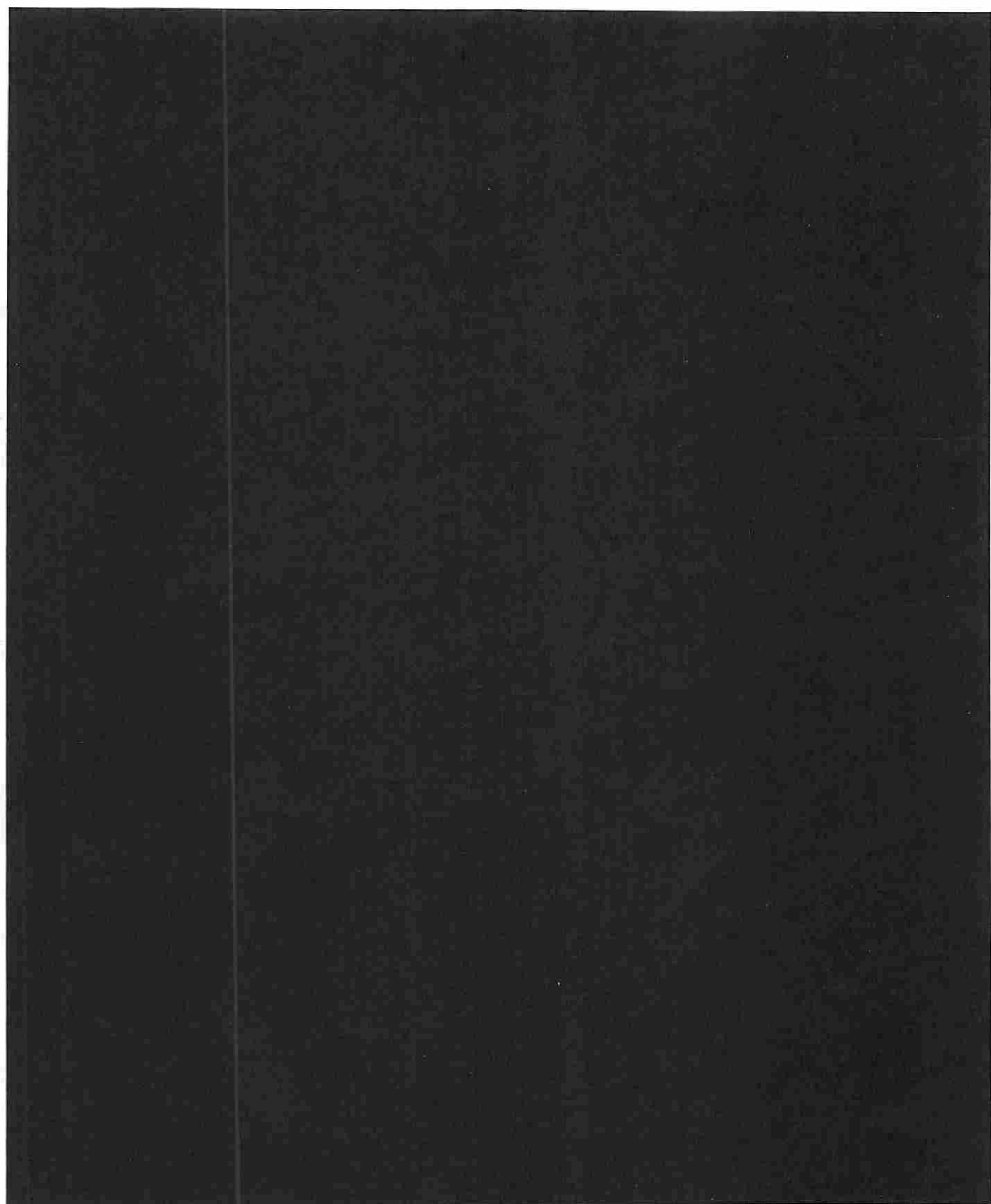












平成30年5月23日

司法修習生 各位

司法研修所事務局長 染谷 武 宣

司法修習生の情報セキュリティ対策について（事務連絡）

最近、司法修習生が、

などの不適切な事例が続けて発生しました。

裁判実務修習においては、平成29年11月27日付け司研企二第1074号司法研修所長通知「司法修習生が取り扱う裁判修習関連の情報等のセキュリティ対策について」によって、

と定められており、弁護実務修習においても、同様のルールが定められているところ、上記の事例はこうしたルールに違反するものであって、これらの行為があった場合には、非違行為として罷免、修習の停止又は戒告の処分や注意の措置を受けることがあります。

国民の信頼に依拠し、個人の高度なプライバシーを取り扱う司法修習において、情報流出があってはならないことは言うまでもなく、そのような事態を発生させないよう、修習関連の情報の取扱いには極めて慎重な配慮が必要となります。

ついては、上記通知等において定められた情報セキュリティルールを改めて確認し、上記で取り上げたもの以外のルールも改めて確認した上で、修習関連の情報の慎重な取扱い及び情報セキュリティ対策を徹底してください。